

(平成 23 年 6 月実施)

## 第 38 回

# 市民アンケート調査報告書

—— あなたと市政を結ぶ ——



浜 松 市

# 目 次

## I 調査概要

1	調査目的	1
2	調査事項	1
3	調査実施概要	1
4	回収状況	1
5	報告書内のデータ記述について	1
6	回答者の属性	2

## II 調査結果

1	あなたをご存知ですか？	5
2	市民の地震への備えについて	13
3	ユニバーサルデザインについて	18
4	都心のまちづくりについて	24
5	家庭の情報化について	28
6	広報はままつについて	33
7	地球・自然環境について	34
8	子育て支援について	40
9	市政の満足度評価について	47
10	市政への要望について	53

## 付録 調査票

# I 調査概要

---

## 1 調査目的

本調査は、昭和 45 年度から始まり、48 年度、50 年度と行った後、52 年度以降は毎年実施し、本年度で 38 回目になる。社会情勢の変化に伴う市民の生活意識や市政に対する関心やニーズなどを把握するため、毎年各部署から提出された希望調査項目を精査した後、調査項目を決定し、属性などにより集計した調査結果を詳細に分析し、今後の施策の方向性や事業展開などの行政のさまざまな施策の基礎資料として活用しているものである。

## 2 調査事項

- |   |  |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> あなたはご存知ですか？    | <input type="checkbox"/> 市民の地震への備えについて |
| <input type="checkbox"/> ユニバーサルデザインについて | <input type="checkbox"/> 都心のまちづくりについて  |
| <input type="checkbox"/> 家庭の情報化について     | <input type="checkbox"/> 広報はままつについて    |
| <input type="checkbox"/> 地球・自然環境について    | <input type="checkbox"/> 子育て支援について     |
| <input type="checkbox"/> 市政の満足度評価について   | <input type="checkbox"/> 市政への要望について    |

## 3 調査実施概要

- (1) 調査地域 浜松市全域
- (2) 調査対象 満 20 歳以上の男女 3,000 人
- (3) 抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出
- (4) 調査方法 質問紙郵送法
- (5) 調査期間 平成 23 年 6 月 15 日～30 日
- (6) 調査機関 株式会社 誠和企画

## 4 回収状況

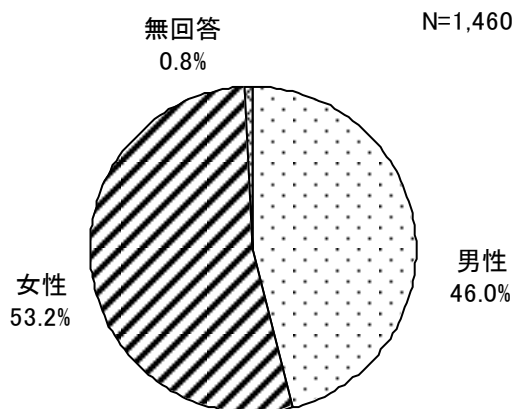
発送数	有効回収数	有効回収率
3,000 件	1,460 件	48.70%

## 5 報告書内のデータ記述について

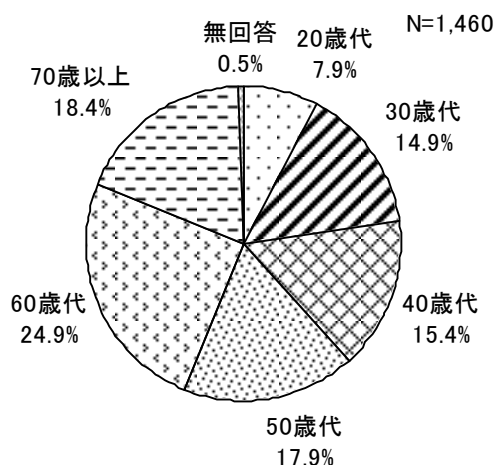
- (1) 比率はすべて百分率で表し、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出した。そのために、比率の合計が 100%にならないことがある。
- (2) 基数とすべき実数は、図表中に「N」として記載した。比率はこの基数を 100%として算出している。
- (3) 質問の選択肢から複数回答を認めている場合、比率の合計は通常 100%を超えている。
- (4) 図表中の回答選択肢が長文の場合、コンピューター処理の都合上、省略している箇所がある。

## 6 回答者の属性

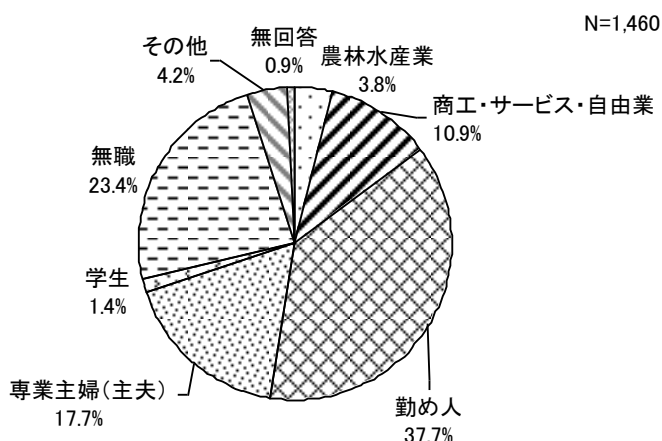
(1) 性別



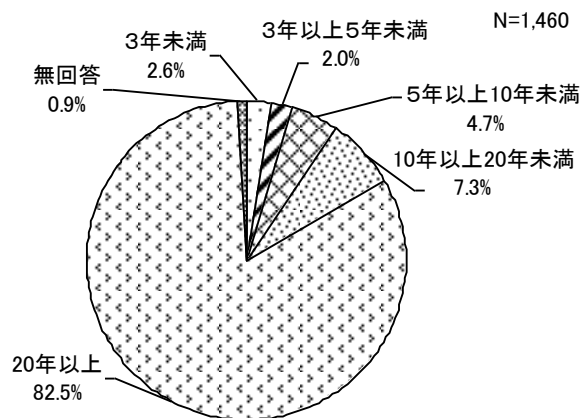
(2) 年代



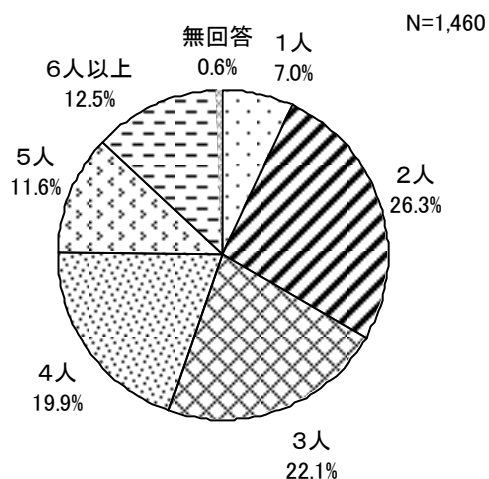
(3) 職業



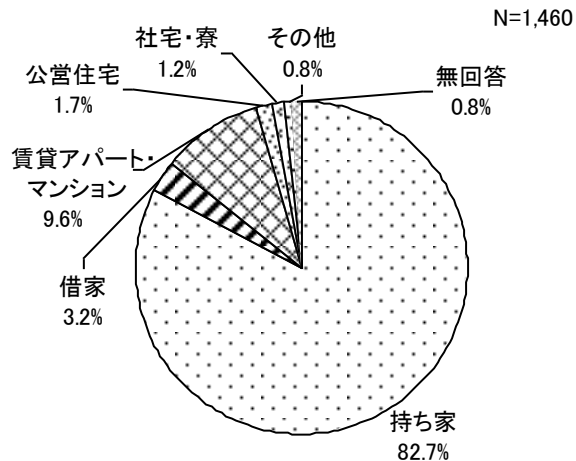
(4) 居住年数



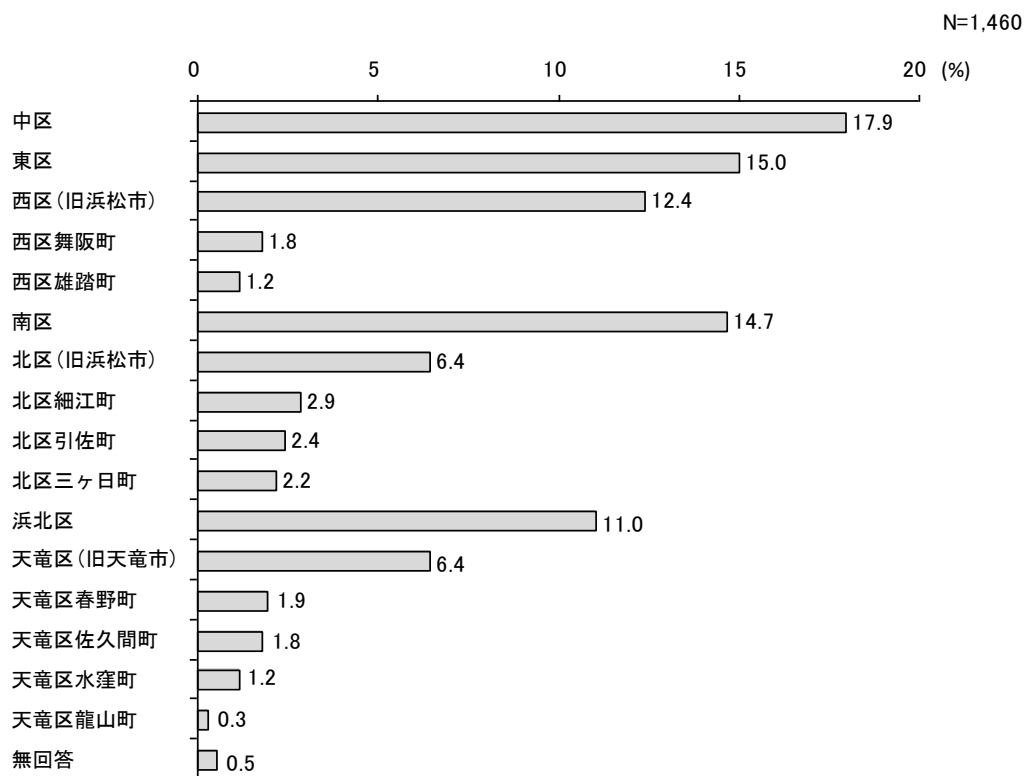
(5) 家族数



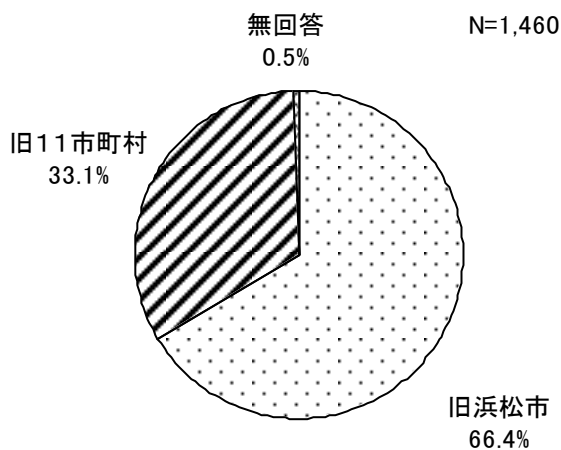
(6) 居住形態



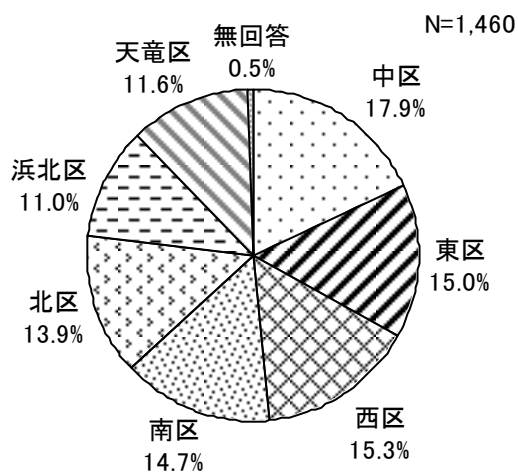
(7) 住居地区



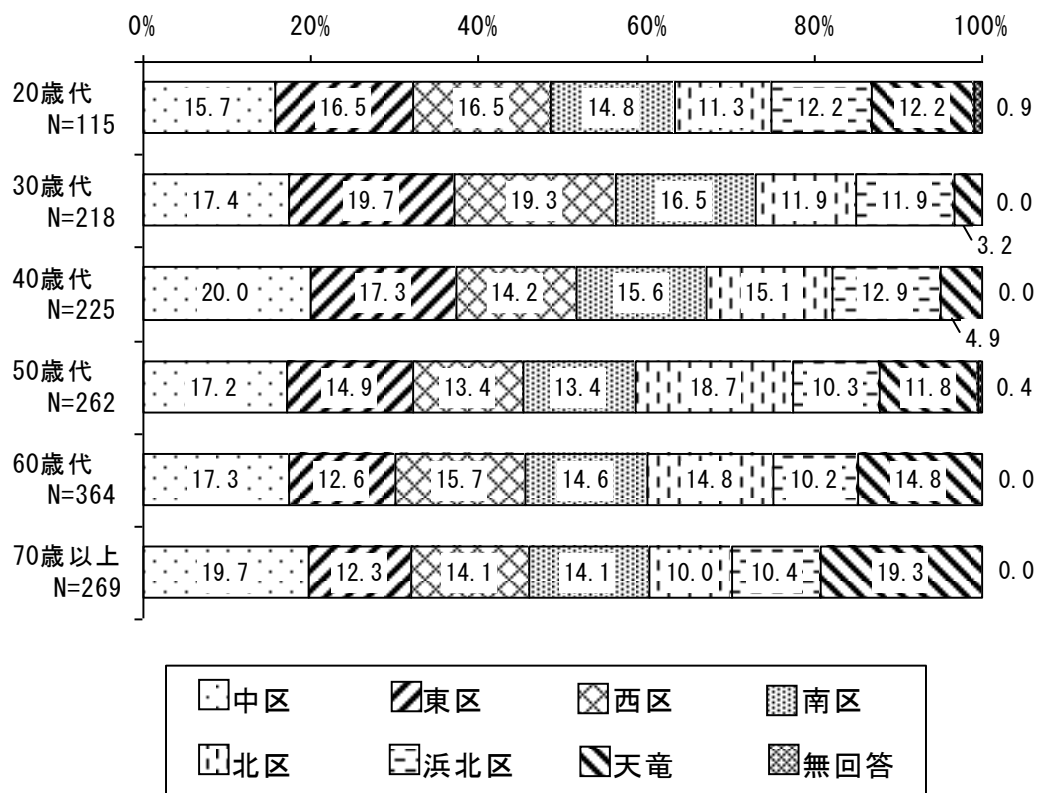
(8) 旧浜松市と旧11市町村



(9) 行政区



(10) 年代別行政区



## II 調査結果

---



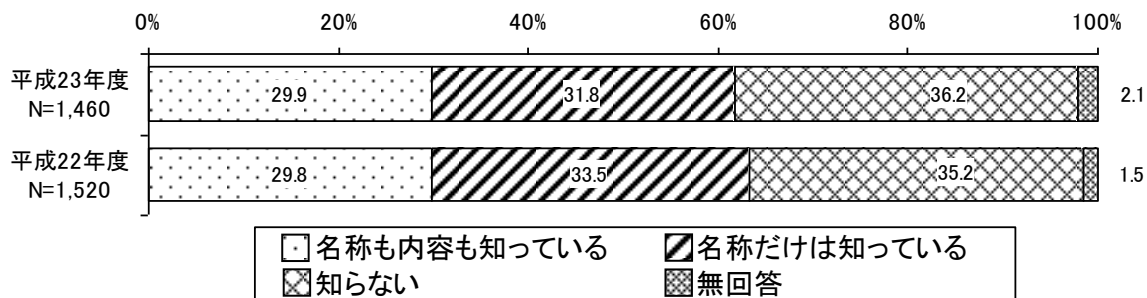
# 1 あなたはご存知ですか？

## (1) 市の条例や施策などの認知度

問1 次の項目について、あなたをご存知ですか？  
1～3のうちから1つ選んで○を付けてください。

### ① 浜松市快適で良好な生活環境を確保する条例（通称：マナー条例）

※歩きタバコ・ごみのポイ捨て・落書きの禁止や、飼い犬・ねこのふんの適正な処理、身体障害者用駐車場の適正な利用を定めた条例。

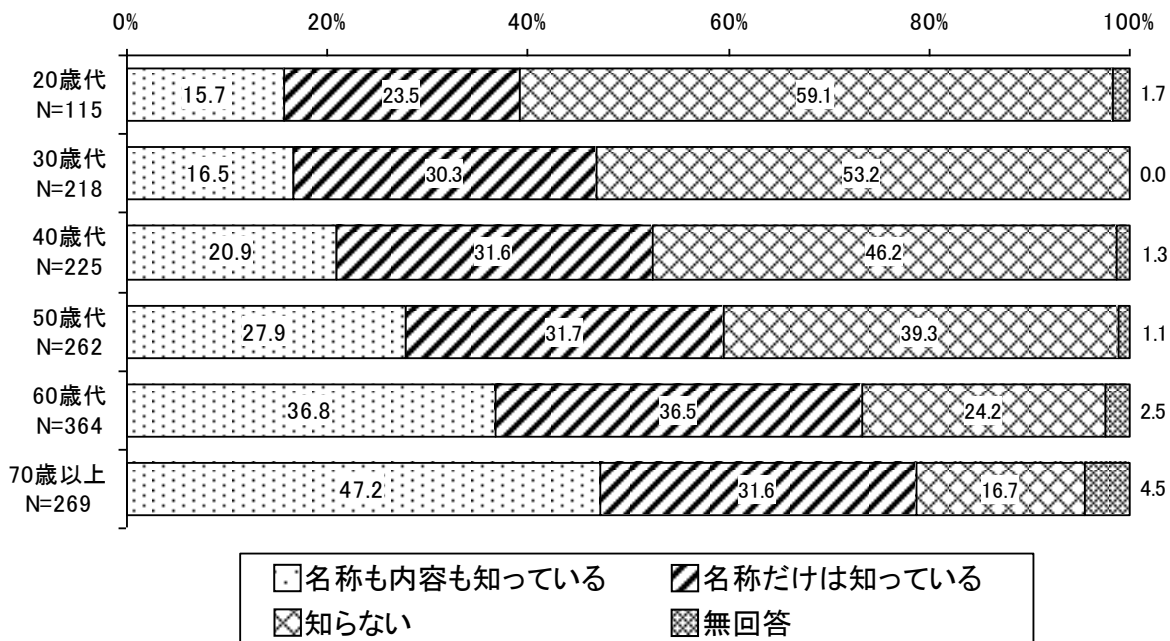


「名称も内容も知っている」が29.9%、「名称だけは知っている」が31.8%、「知らない」が36.2%になっている。「名称も内容も知っている」と「名称だけは知っている」を合わせた『認知度』は61.7%となっており、前年度調査の63.3%に対して1.6ポイント減少している。

年代別でみると、20歳代は39.2%で他の年代と比較して低い結果となっている。

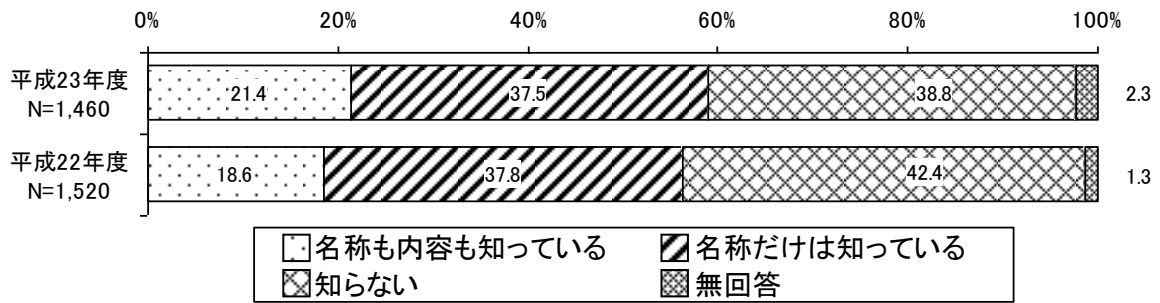
今年度は、路面告知シートの設置やごみ収集車によるPR等以外にも、歩行喫煙率の高い若年層への呼びかけについて特に取り組んでいく必要がある。

### 【年代別】



## ② 浜松市川や湖を守る条例

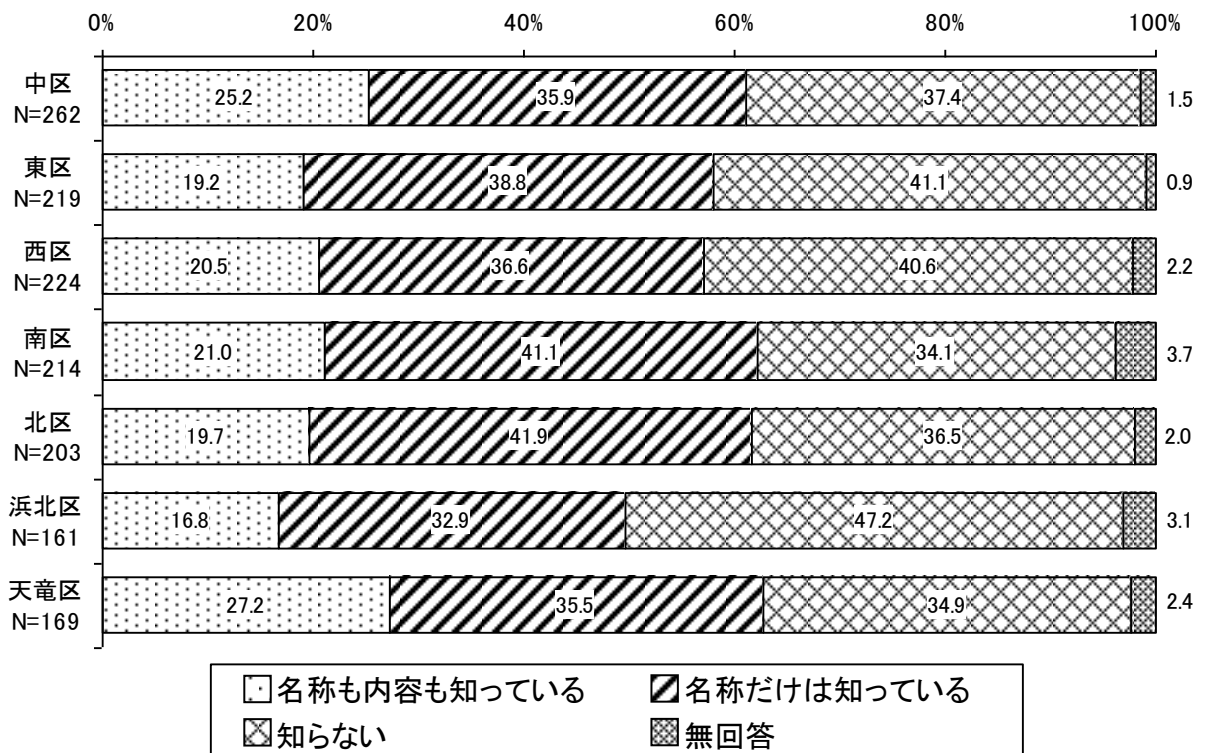
※市内にある天竜川や浜名湖など、美しく豊かな川や湖を次世代に継承するために、市民や事業者が守るべきこと、しなければならないことを定めた条例。



「名称も内容も知っている」が21.4%、「名称だけは知っている」が37.5%、「知らない」が38.8%になっている。「名称も内容も知っている」と「名称だけは知っている」を合わせた『認知度』は58.9%となっており、前年度調査の56.4%に対して2.5ポイント増加している。

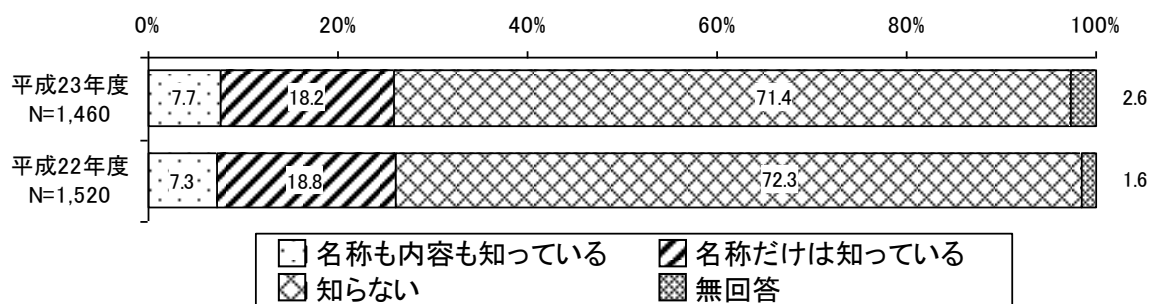
昨年度から、観光協会や漁業組合の関連施設、ショッピングセンターなどを利用して、レジャー利用者に対するチラシ配布等の広報に努めている効果が表れたといえる。行政区別で見ると、天竜区が62.7%で最も高くなっている。一方、浜北区は49.7%と最も低く、天竜区とは13ポイントもの差がみられた。

### 【行政区別】



### ③ 浜松市音・かおり・光環境創造条例

※人に潤いや安らぎを与えてくれる音・かおり・光資源を保全するとともに、自らも人に不快感や嫌悪感を与える騒音、悪臭および光害の防止に取り組み、快適な生活環境創造のための条例。



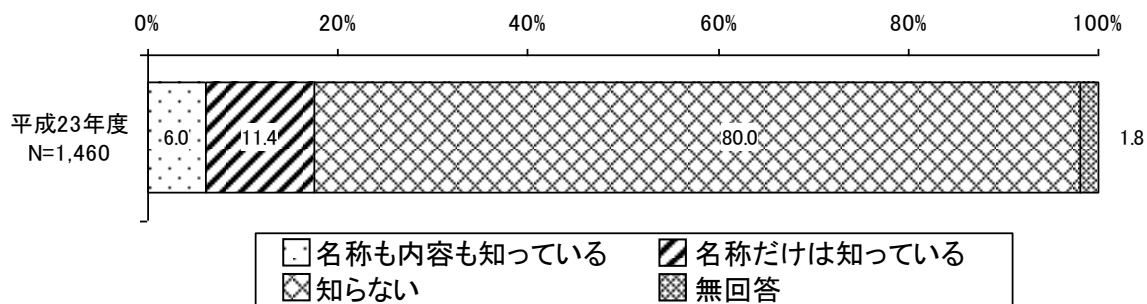
「名称も内容も知っている」が7.7%、「名称だけは知っている」が18.2%、「知らない」が71.4%になっている。「名称も内容も知っている」と「名称だけは知っている」を合わせた『認知度』は25.9%であり、前年度調査の26.1%に対して0.2ポイント減少している。また、「知らない」は71.4%であり、前年度調査の72.3%に対して0.9ポイント減少している。

浜松駅前での啓発活動や、「音・かおり・光資源百選」の案内板設置などの取り組みを実施してきたが、認知度の上昇には至っていない。

今後は、啓発活動場所や実施時間などを見直し、市民へのより一層の周知を図っていくことが必要といえる。

④ 11月11日は「ひとりひとりにいい声掛けデー」

※浜松市では11月11日を全市統一の「ひとりひとりにいい声掛けデー」として、青少年へのあいさつ・声掛けを行っている。



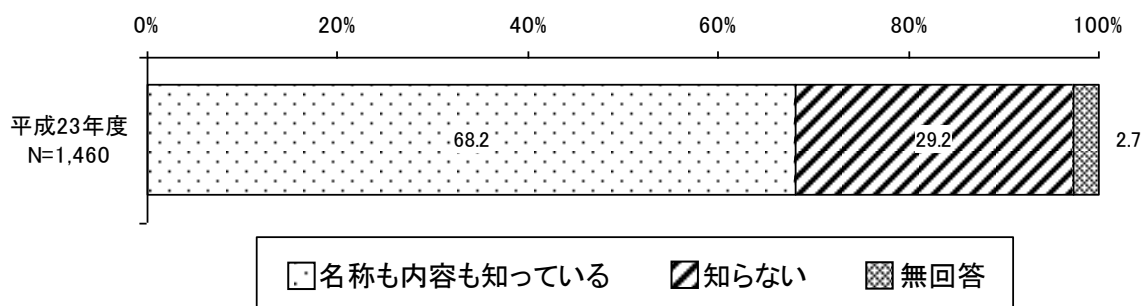
本年度で4年目となる活動であるが、今回初めての調査を行った。「名称も内容も知っている」が6.0%、「名称だけは知っている」が11.4%、「知らない」が80.0%になっている。「名称も内容も知っている」と「名称だけは知っている」を合わせた『認知度』は17.4%という結果となった。

市立各幼稚園、小学校、中学校を通しての保護者宛案内ちらし配布のほか、「広報はままつ」や浜松市役所庁内モニター等で広報活動を行ってきたが、まだまだ市民の『認知度』は低いということが分かった。今後は、保護者のみならず地域全体に向けての新たな広報活動を模索していく必要がある。

また、さらなる認知度の向上のために、今以上に工夫のある啓発活動を行い、「地域の青少年は、地域で見守り、育てる」ことへの理解を促して本活動の参加者を増やしていく必要があるといえる。

### ⑤ 浜松市制 100 周年

※1911 年（明治 44 年）7 月 1 日市制が施行され、今年で 100 周年を迎える。その節目の年をお祝いするために、さまざまな記念事業を実施している。

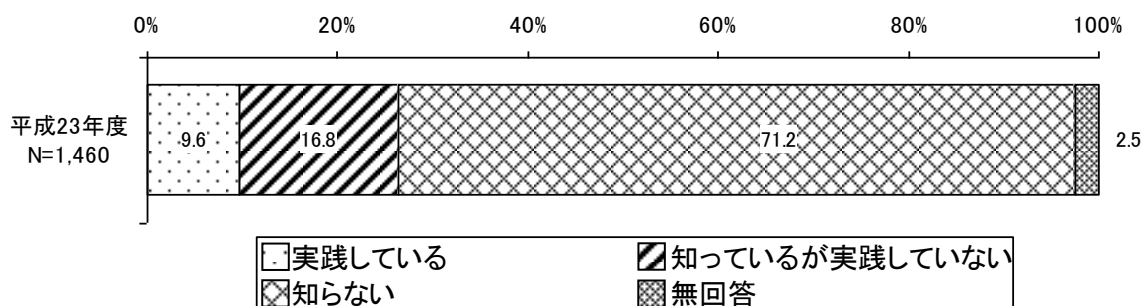


「知っている」が 68.2%、「知らない」が 29.2%となっており、市民の 3 人に 2 人が「浜松市制 100 周年」を知っている結果となっている。これは、他の政策や条例の『認知度』と比較して、高い数値となっている。

今後も 100 周年記念ロゴマークや記念マスコットキャラクター「出世大名家康くん」の活用をはじめ、広報はままつやインターネットを通じた記念事業の紹介により、一層の情報発信に努める必要がある。

## ⑥ 1・1・1運動

※市民の健康維持や体力向上を目指し、また、明るい地域社会を築くため、成人の「1週間に1回以上1スポーツしよう」という取り組み。



「1・1・1運動」を「実践している」が9.6%、「知っているが実践していない」が16.8%となっており、「実践している」と「知っているが実践していない」を合わせた『認知度』は26.4%であった。

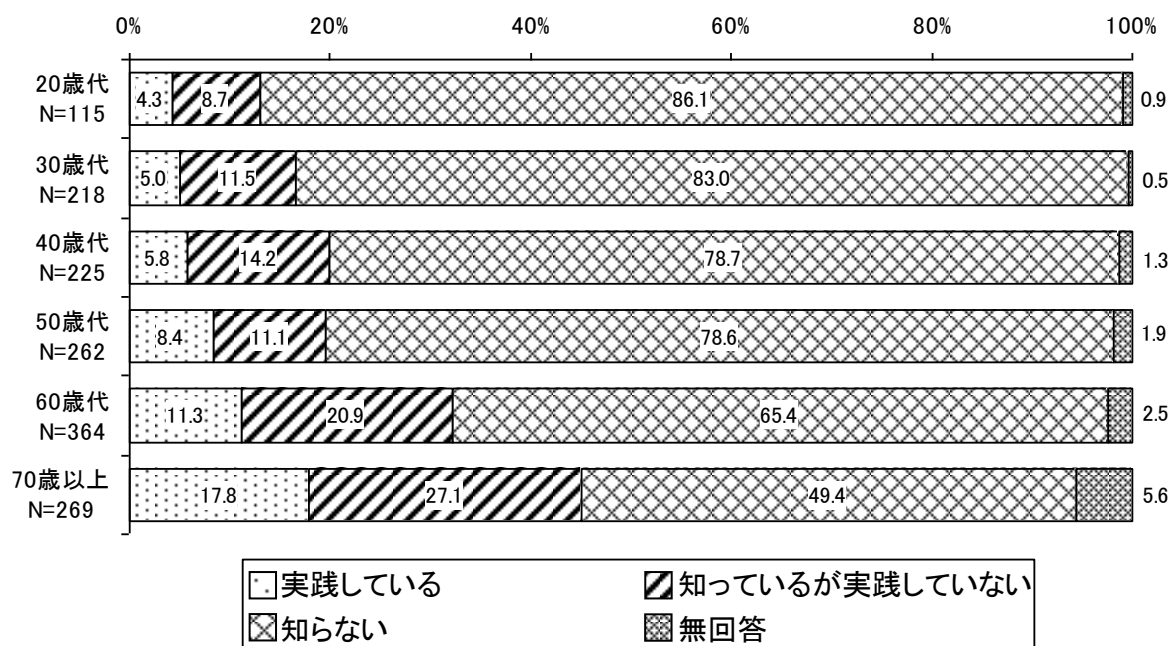
年代別の『認知度』をみると、70歳以上が44.9%で最も高く、次いで60歳代の32.2%であった。一方、20歳代は13%で最も低い結果となった。性別と年代別クロス集計の『認知度』の結果をみると、男性・40歳代が52.5%で最も高く、次いで女性・70歳以上の49.3%、男性・70歳以上の44.9%であった。一方、女性・20歳代は11.1%で最も低く、次いで、男性・20歳代の13%、男性・30代の16.5%であった。

「浜松市スポーツ振興基本計画」策定後、「1・1・1運動」の定着に向けて各体育施設や公民館等の公共施設でのぼり旗設置やポスターの掲出を行い、「1000METs（メッツ）マップ」を作成して配布するなどの啓発活動に取り組んできたが、まだまだ浸透していない状況であることが分かった。

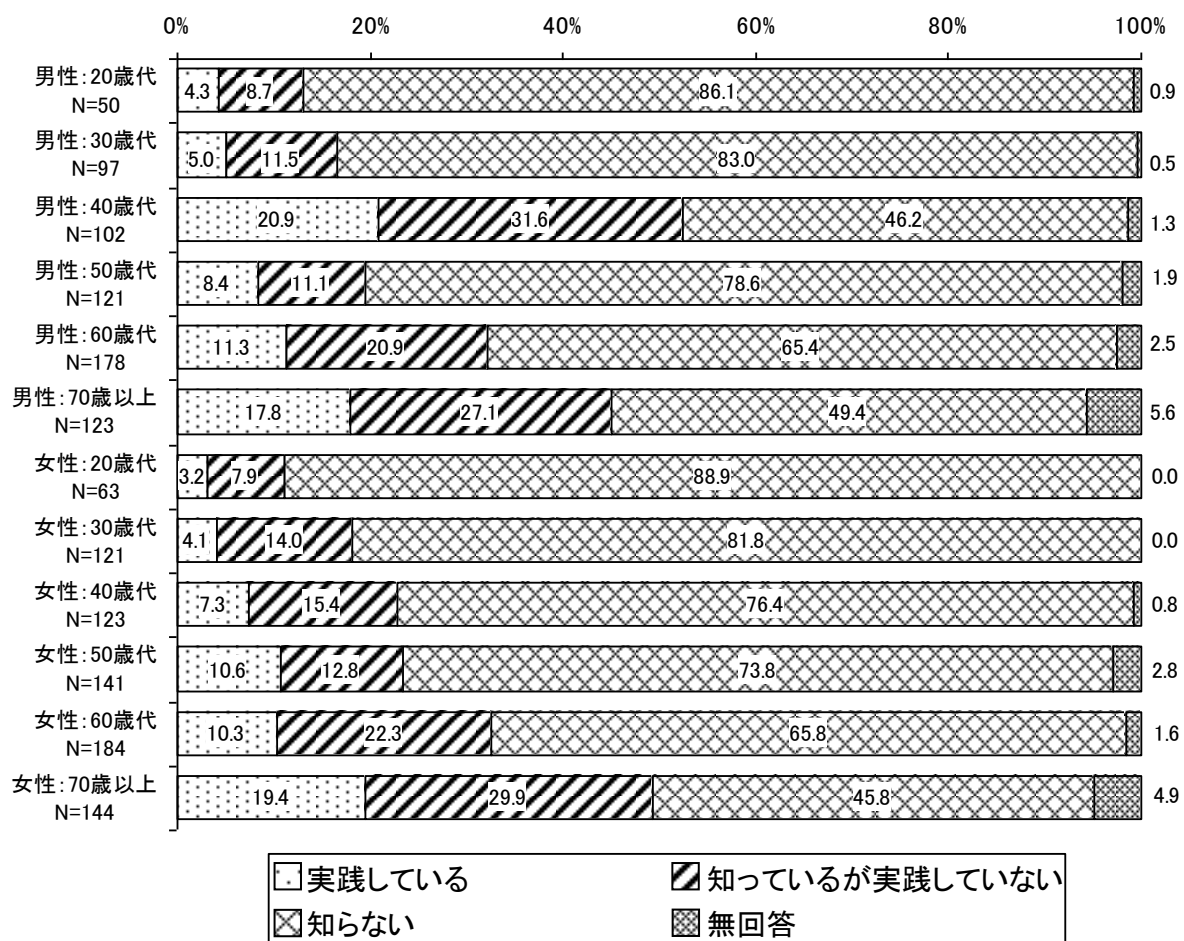
今後は「1・1・1運動」の『認知度』をあげるとともに、「1・1・1運動」を知っていても実践していない市民に対して、スポーツ活動への関心を高め、興味をひくイベントを企画する必要がある。

また、市民のスポーツ活動に対する意識を向上させるためには、スポーツの重要性、価値などを周知させるとともに、「するスポーツ」、「みるスポーツ」、「ささえるスポーツ」の3本柱を中心とした取り組みをより具体化するための「する」、「みる」、「ささえる」場の提供、環境整備等を進めて「1・1・1運動」のPR活動を充実させていくことが重要といえる。

【年代別】

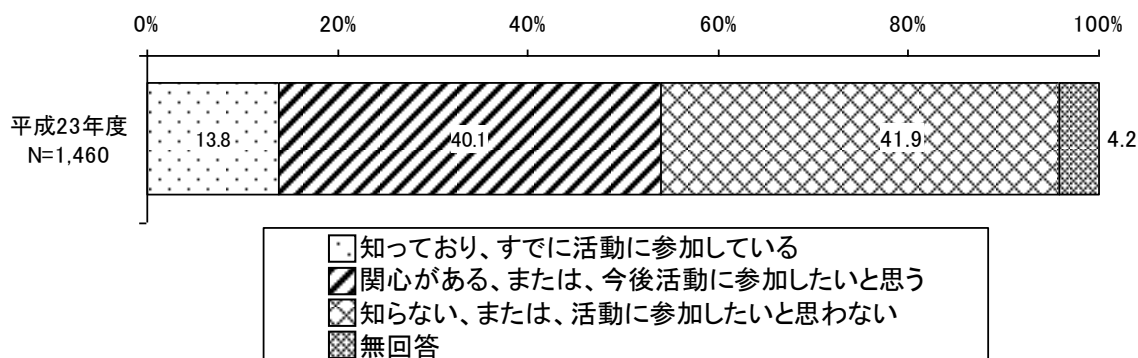


【性別と年代別】



### ⑦ 地区社会福祉協議会

※連合自治会規模の圏域で活動する住民主導の組織。地域住民をはじめ、自治会や民生委員、ボランティア等で構成する身近な地域における福祉活動の啓発および推進を行う。



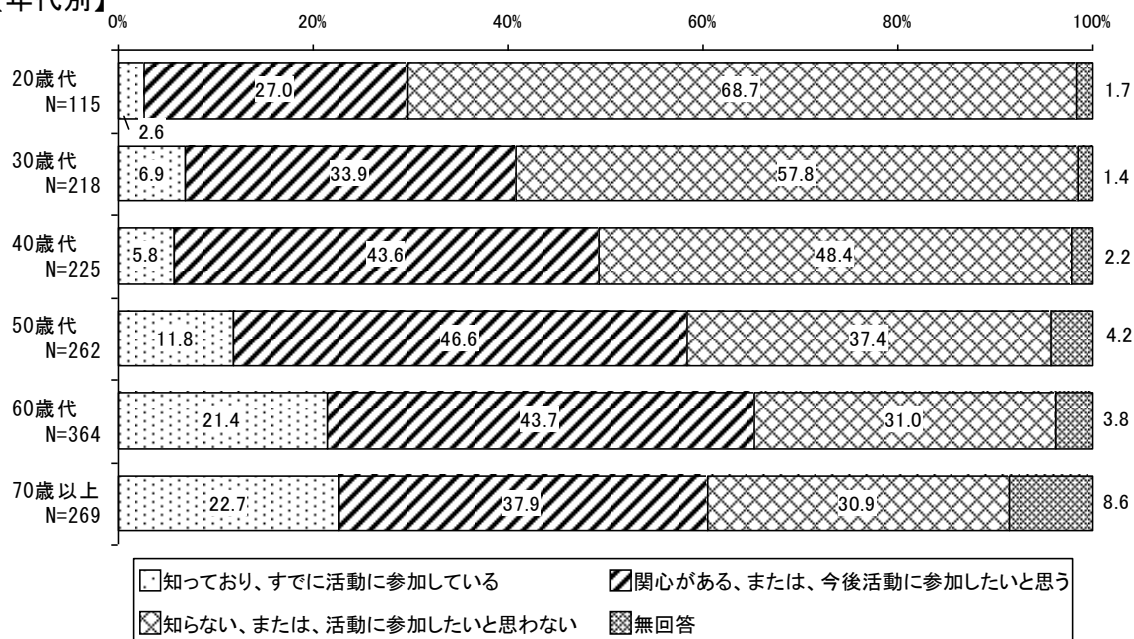
「知っておりすでに活動に参加している」が13.8%、「関心がある、または今後活動に参加したいと思う」が40.1%となっている。「知っておりすでに活動に参加している」と「関心がある、または今後活動に参加したいと思う」を合わせた『関心度』は53.9%であった。

これは、第2次浜松市総合計画分野別計画の「地区社会福祉協議会の活動に参加している、関心がある、参加したい」市民の割合を平成26年までに50%以上という指標を達成できたことになり、地区社会福祉協議会の新規事業活動が促進されたことによる成果といえるが、3月に発生した東日本大震災による地域の絆や地域福祉に対する意識の向上も反映されていると推察される。

一方、「知らない、または活動に参加したいと思わない」が41.9%となっており、今後も、地区社会福祉協議会の各種地域福祉活動を支援し、市民の地域福祉活動への関心を高め、参加増進に努める必要がある。

年代別でみると、『関心度』は、60歳代が65.1%で最も高く、20歳代が29.6%で最も低い結果であった。年代が下がるほど『関心度』も低くなっていく傾向にある。今後は、さらに『関心度』をあげていくとともに、年代に合わせた情報の発信および活動が必要と思われる。

#### 【年代別】

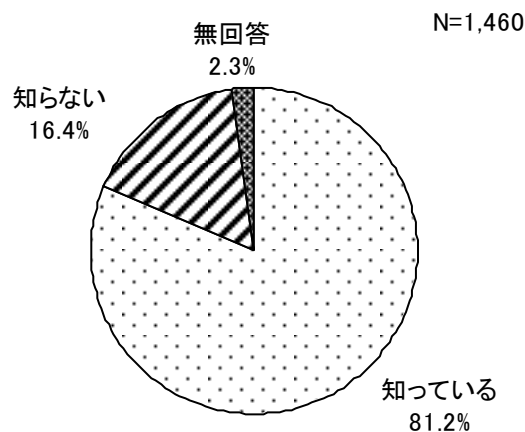




## 2 市民の地震への備えについて

### (1) 避難場所

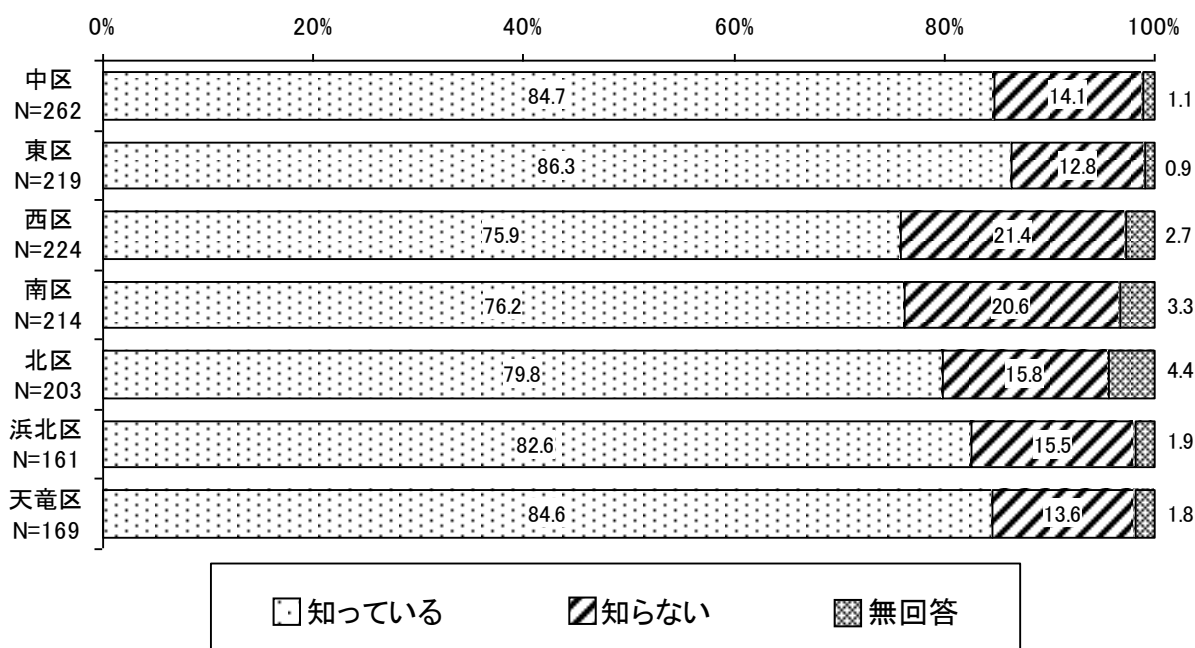
問2 あなたは、地震時に避難する場所（避難所）をご存知ですか。  
（1つだけ○を付けてください）



地震時に避難する場所(避難所)の『認知度』は81.2%であった。これは、防災講座や防災マップ配布などの啓発活動に一定の成果があったといえる。一方、「知らない」が16.4%であり、3月に発生した東日本大震災直後のアンケートであることを鑑みれば、軽視できない結果である。

行政区別の『認知度』をみると、中区が84.7%と天竜区が84.6%で高く、西区が75.9%と南区が76.2%で低い結果となった。今後、出前講座をはじめ、地域ごとに周知徹底する方法を検討する必要がある。

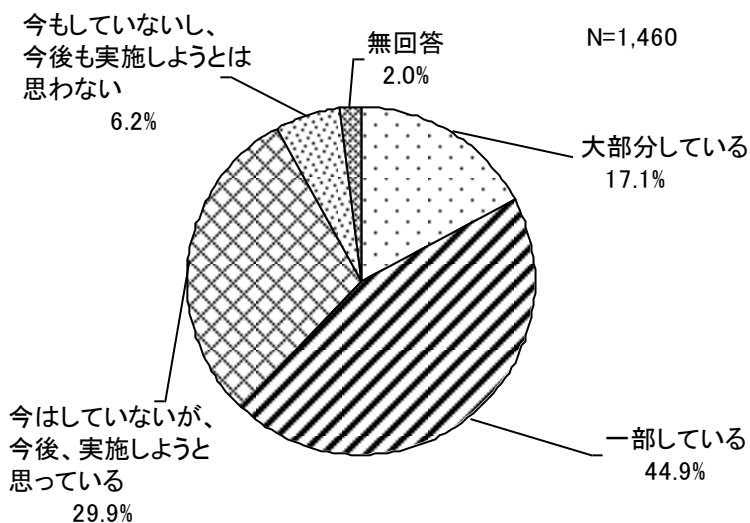
#### 【行政区別】



## (2) 家具などの転倒防止対策

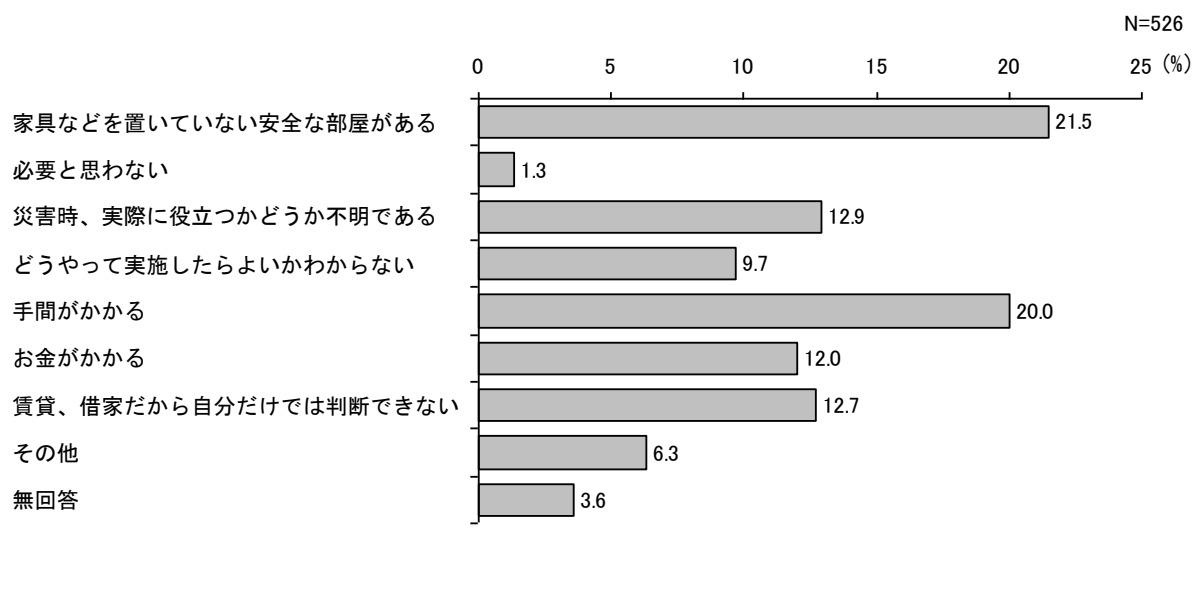
問3 あなたのご家庭では、家具が転倒しないように固定などの対策をしていますか。

(1つだけ○を付けてください)



「大部分している」が17.1%、「一部している」が44.9%で、「大部分している」と「一部している」を合わせた『対策をしている』が62.0%であり、平成21年度の同調査結果の57.8%よりも4.2ポイント増加している。これは、「広報はままつ」やラジオ放送による家具転倒防止事業の紹介などに一定の成果があったといえる。また、「今はしていないが、今後実施しようと思っている」が29.9%となっており、今後さらに具体的な減災対策を進めていくことが必要である。

問4 問3で「3. 今はしていないが、今後実施しようと思っている」「4. 今もしていないし、今後も実施しようとは思わない」とお答えの方に伺います。固定などの対策をしない理由をお答えください。（1つだけ○を付けてください）

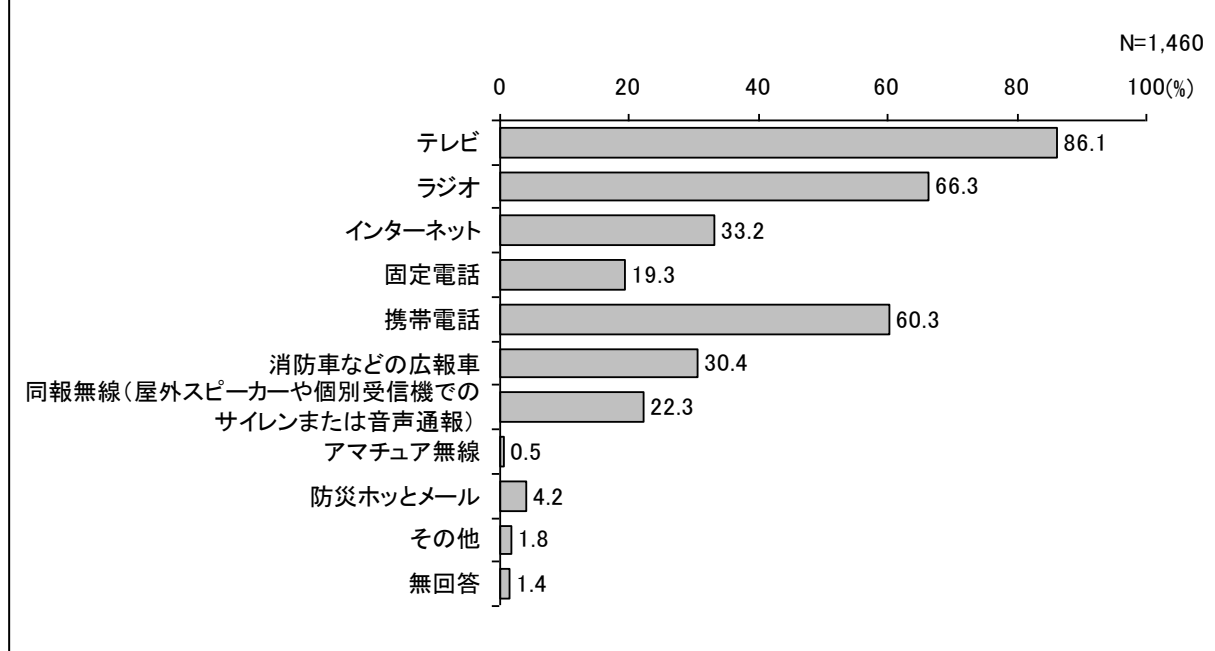


「家具などを置いていない安全な部屋がある」が 21.5%、「手間がかかる」が 20%、「災害時、実際に役立つかどうか不明である」が 12.9%となっており、実際の備えに対する認識不足や知識の不足から、対策が進んでいないことが分かった。

現在、家具固定のきっかけについて研究を行っており、今回の調査結果とあわせて減災対策につなげていきたい。また、「賃貸、借家だから自分だけでは判断できない」が 12.7%となっており、貸主や不動産業界に対して家具固定への理解や、実施促進を求めていく必要がある。

### (3) 災害時の情報収集手段

問5 地震をはじめとする災害が発生した際、あなたが災害に対する情報を得る手段は何ですか。(あてはまるものすべてに○を付けてください)



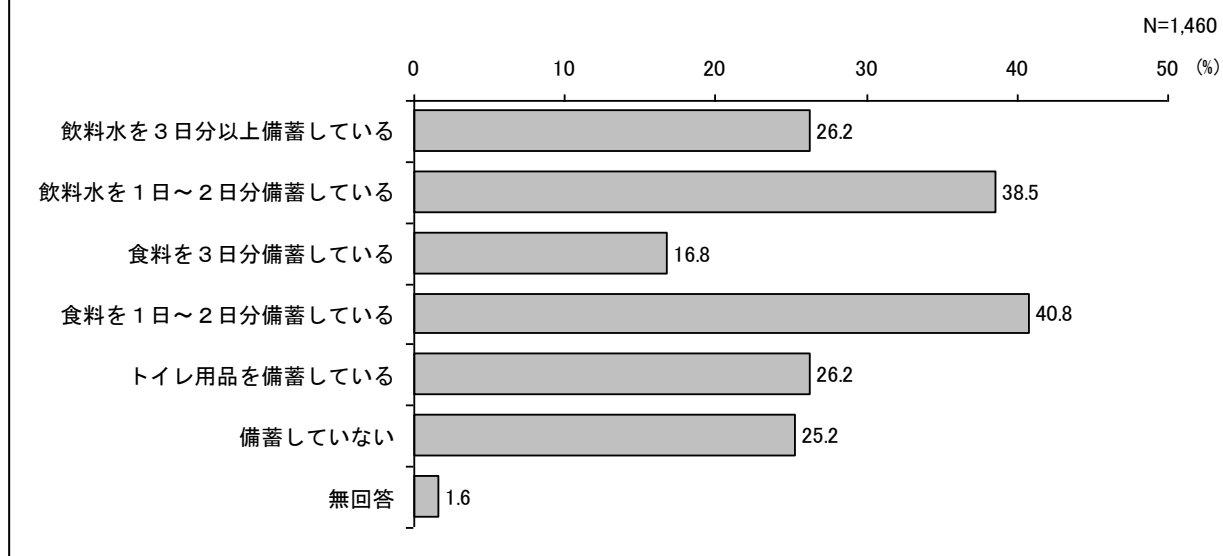
「テレビ」を情報源にしている人が最多の86.1%に上った。テレビは情報が早く、視覚情報も豊富なため、現状を知る良い手段といえる。今後、テレビ局と協力し、データ放送を活用するなど、よりきめ細かい情報の発信について検討する必要がある。また、今年9月に台風15号が上陸した際には、停電によりテレビから情報を入手することが困難な地域も見られた。携帯ラジオを用意してもらうなど、テレビ以外の情報の入手手段も確保するよう、防災講座などで啓発していきたい。

一方、浜松市が発信している「防災ホッとメール」は、4%程度にとどまった。災害時の携帯電話の復旧は比較的早く、また、メールによる情報配信システムは、3月に発生した東日本大震災の被災地においても避難所情報から行政サービス情報まで幅広く有効活用されており、今後は周知活動に一層の力を注ぎ、登録者の増加につなげていく必要がある。

#### (4) 災害時の備蓄

問6 あなたの家庭では、地震による災害に備えた備蓄をしていますか。

※目安：飲料水1人1日3リットル、食料3日分、簡易トイレや衛生袋などのトイレ用品  
(あてはまるもの3つまで○を付けてください)



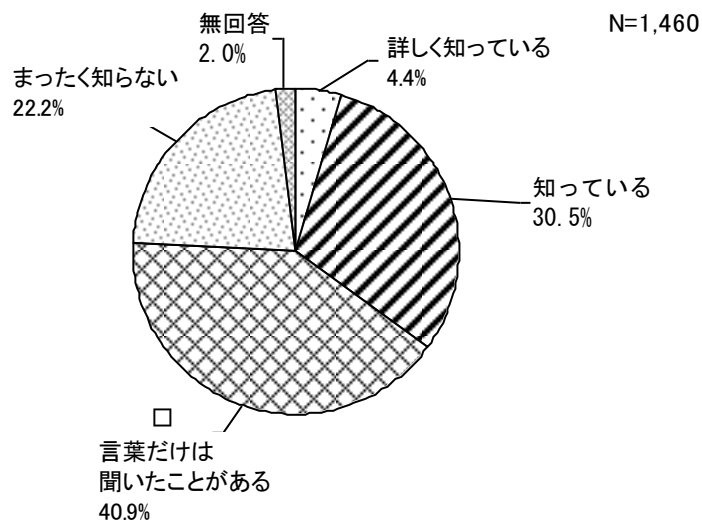
「食料を1日～2日分備蓄している」が40.8%で最も高く、次いで「飲料水を1日～2日分備蓄している」が38.5%、「飲料水を3日以上備蓄している」と「トイレ用品を備蓄している」が同数で26.2%であった。

調査した3物品（飲料水、食料、トイレ用品）すべてにおいて、平成21年度の調査結果よりも備蓄の割合が増加しており、市民の備蓄に対する意識の向上が見られる。しかし、トイレ用品の備蓄割合については、飲料水や食料の備蓄の半分以下であるため、防災講座や防災情報放送などで、トイレ対策の重要性を取り上げて周知を進めていく必要がある。

### 3 ユニバーサルデザインについて

#### (1) ユニバーサルデザインの認知度

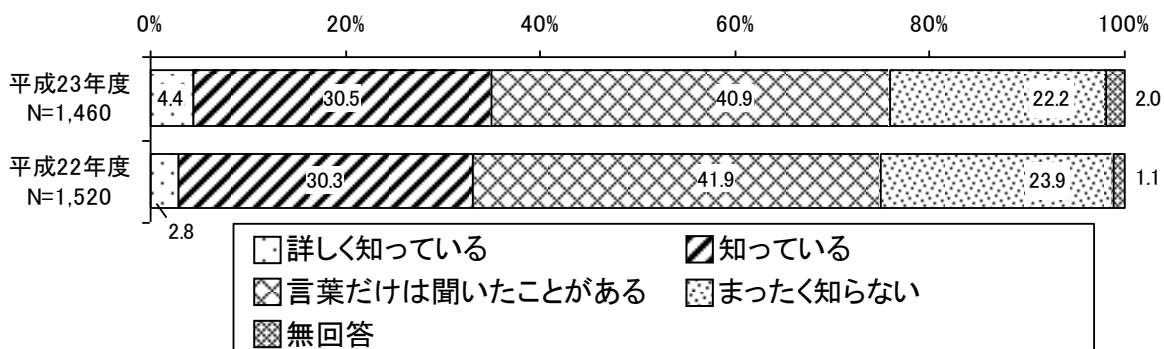
問7 市では、ユニバーサルデザインの考え方を市政に取り入れています。ユニバーサルデザインとは、身体能力、年齢、国籍、性別などに関係なく、誰もが安全で安心な暮らしができるように環境づくりやまちづくりなどを行っていかうとする考え方です。あなたは、ご存知でしたか。（1つだけ○を付けてください）



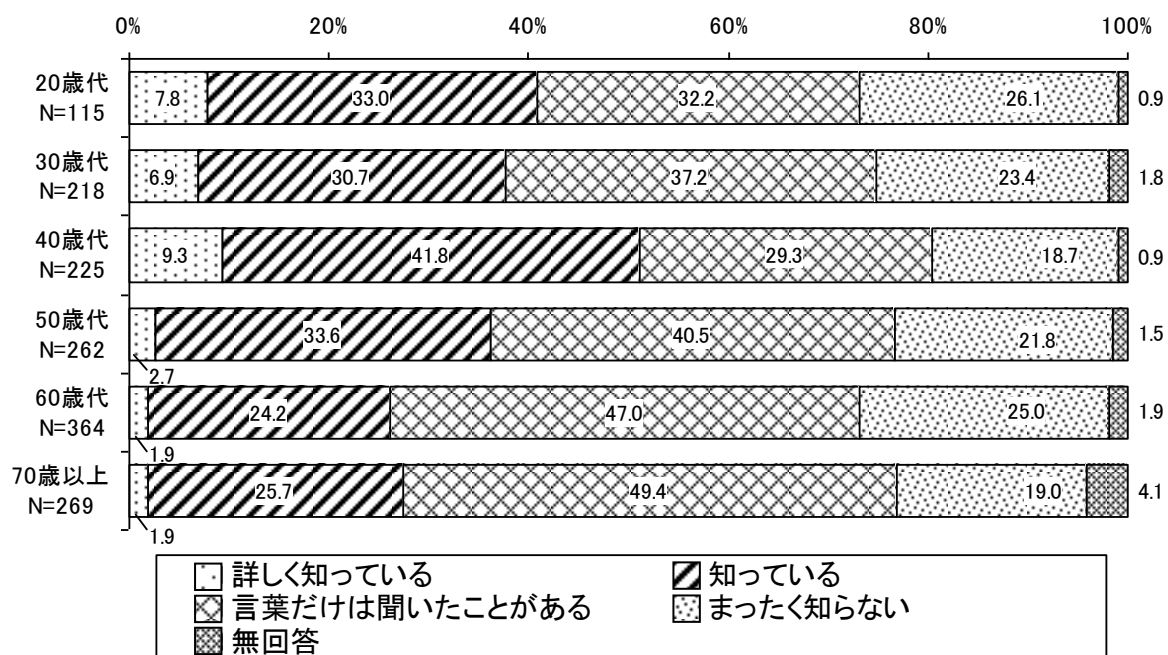
「詳しく知っている」と「知っている」を合わせた『理解度』は、全体で34.9%であり、前年度の調査結果の33.1%から1.8ポイント増加している。また、「言葉だけは聞いたことがある」まで含めた『認知度』は、全体で75.8%であり、これも前年度調査の75.0%から0.8ポイント増加している。これは、昨年度実施した「第3回国際ユニヴァーサルデザイン会議2010inはままつ」ならびに「浜松ほっとコーナー」開催などの行政の積極的な取り組みによる影響が大きいと考える。

年代別で『認知度』をみると、40歳代が80.4%で最も高く、20歳代73%と60歳代73.1%で低い結果となった。行政区別でみると、西区が79.5%で最も高く、浜北区が73.3%で最も低い結果となった。ただし、いずれも『認知度』は7割を超えており、ユニバーサルデザインの定着化の表れといえる。

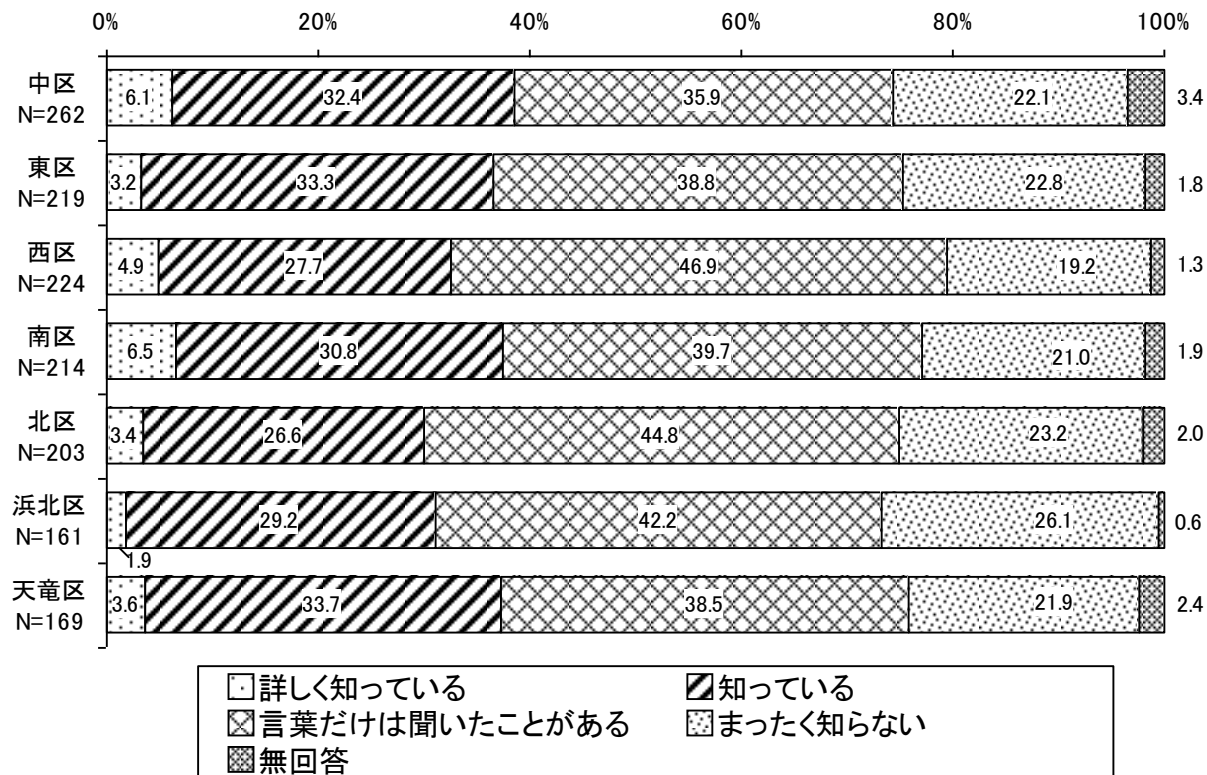
#### 【経年変化】



### 【年代別】

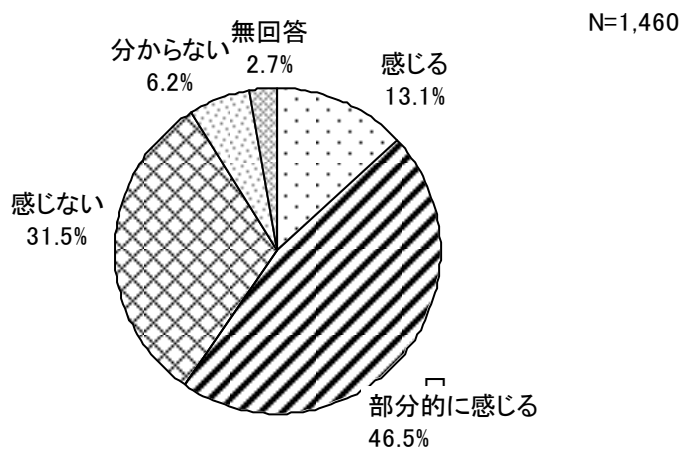


### 【行政区別】



(2) 地域の安全

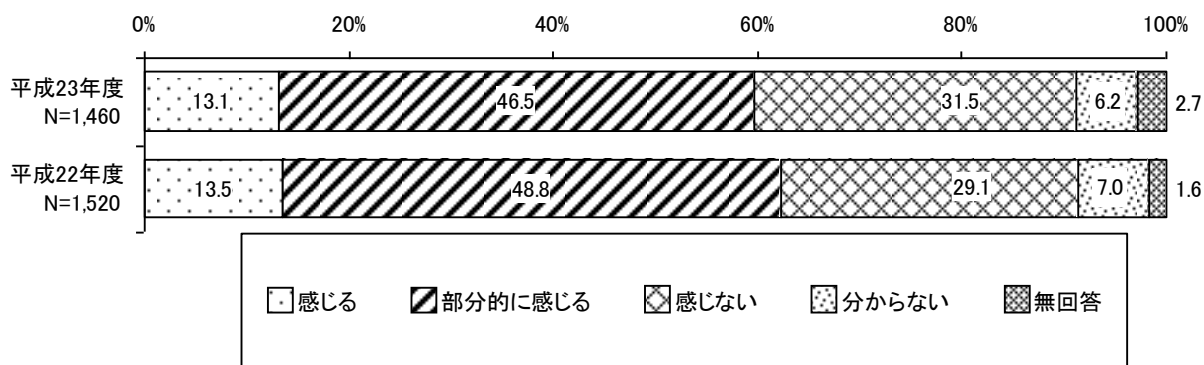
問8 あなたのお住まいの地域は、歩道整備や交通機関など移動の面や、防災・防犯などの面から安全・安心に暮らすことのできる地域と感じますか。  
(1つだけ○を付けてください)



「感じる」、「部分的に感じる」と答えた肯定的回答は、全体で59.6%であり、前年度調査の62.3%から2.7ポイント減少している。一方で、否定的な回答の「感じない」は全体で31.5%であり、前年度調査の29.1%から2.4ポイント増加している。これは、3月に発生した東日本大震災の影響により、市民の危機意識が高まったものと推察される。

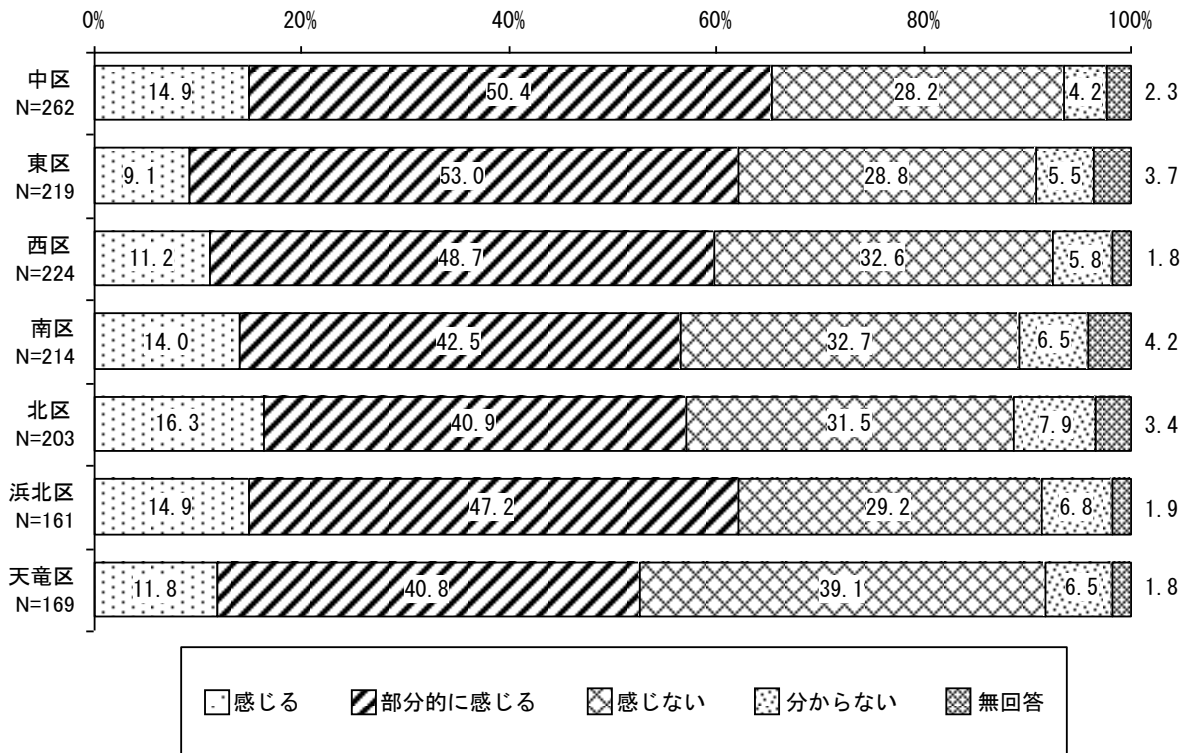
行政区別でみると、「感じている」は中区で65.3%と最も多く、天竜区が52.6%で最も低く、その差は12.7ポイントあった。

【経年比較】



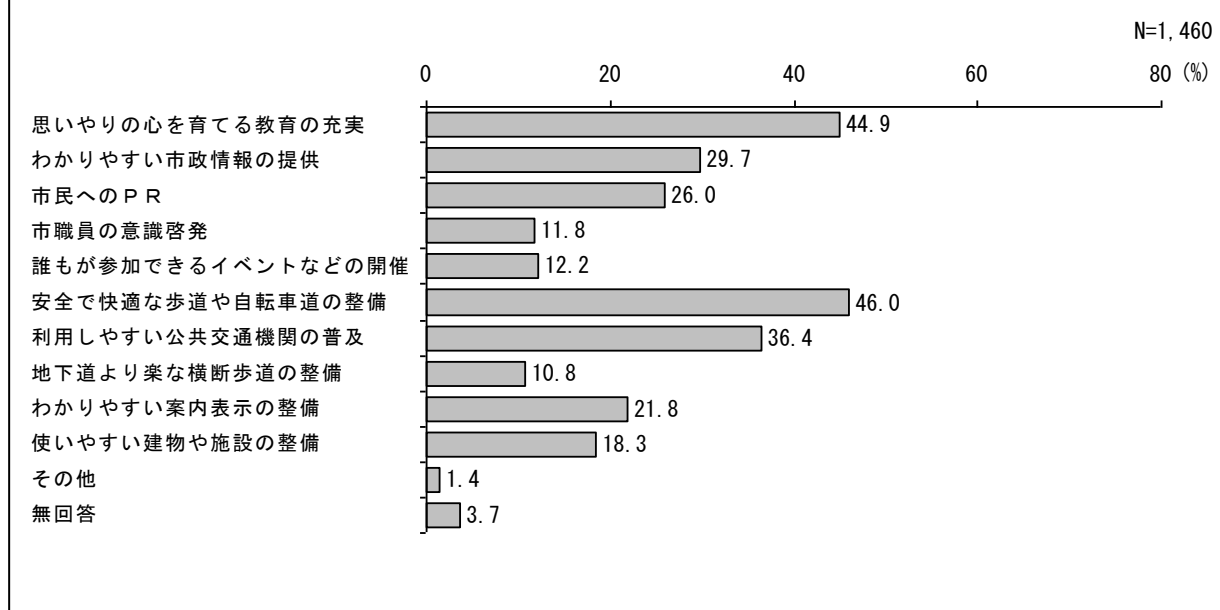


【行政区別】



### (3) ユニバーサルデザインで取り組むべきこと

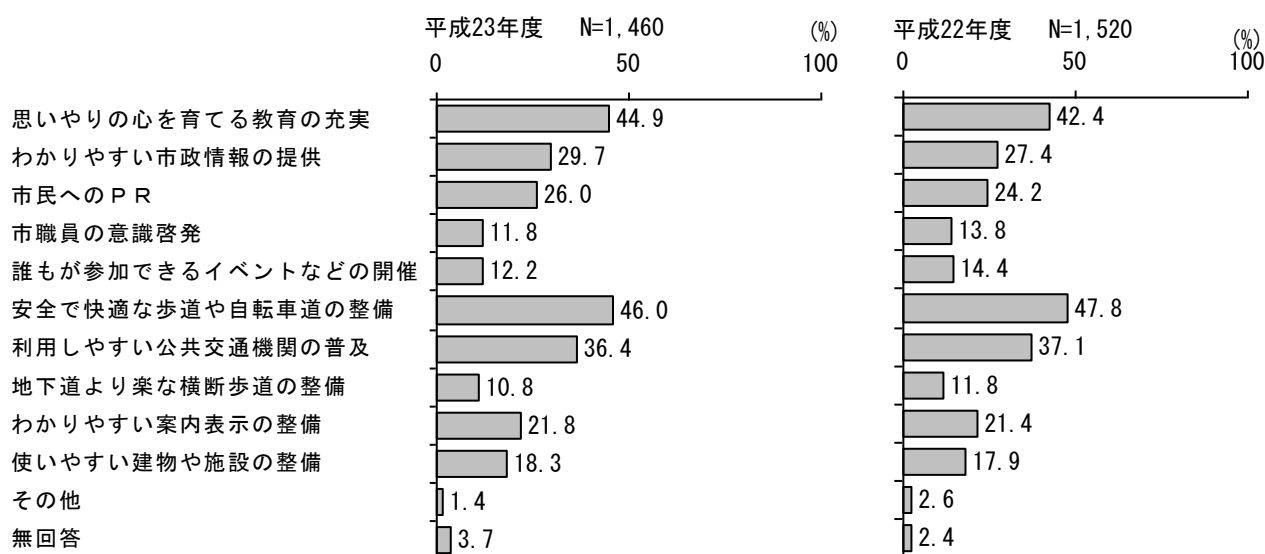
問9 あなたは、ユニバーサルデザインのまちづくりのために、どのようなことから取り組むべきだと思いますか。（あてはまるものすべてに○を付けてください）



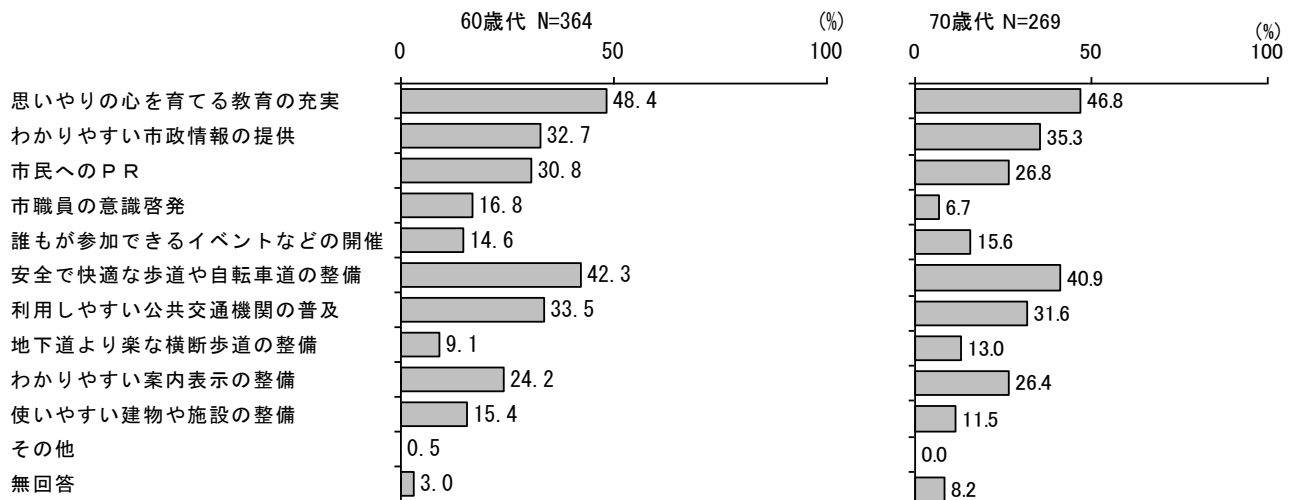
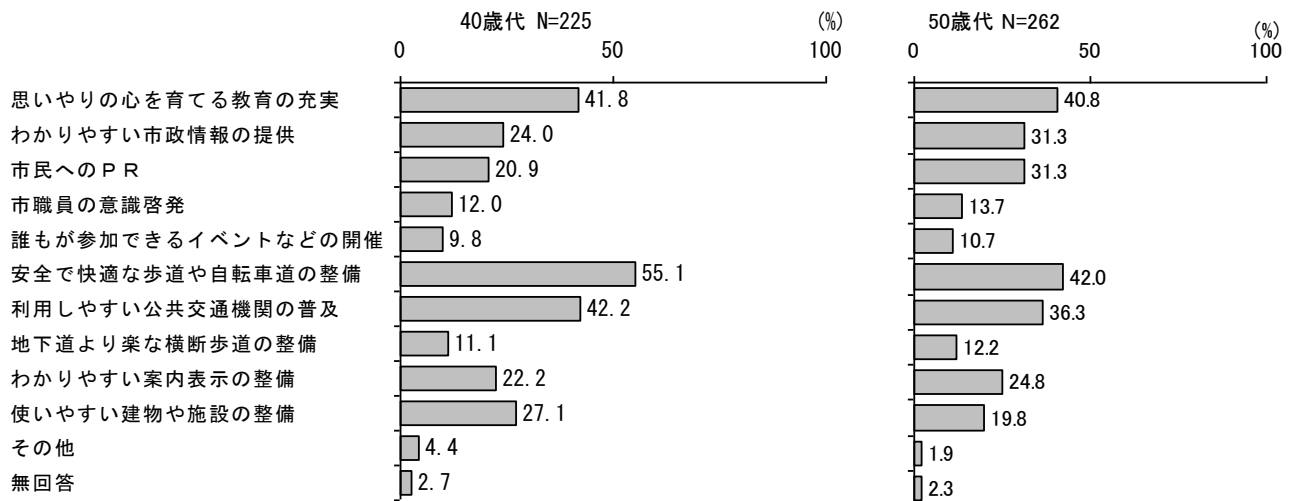
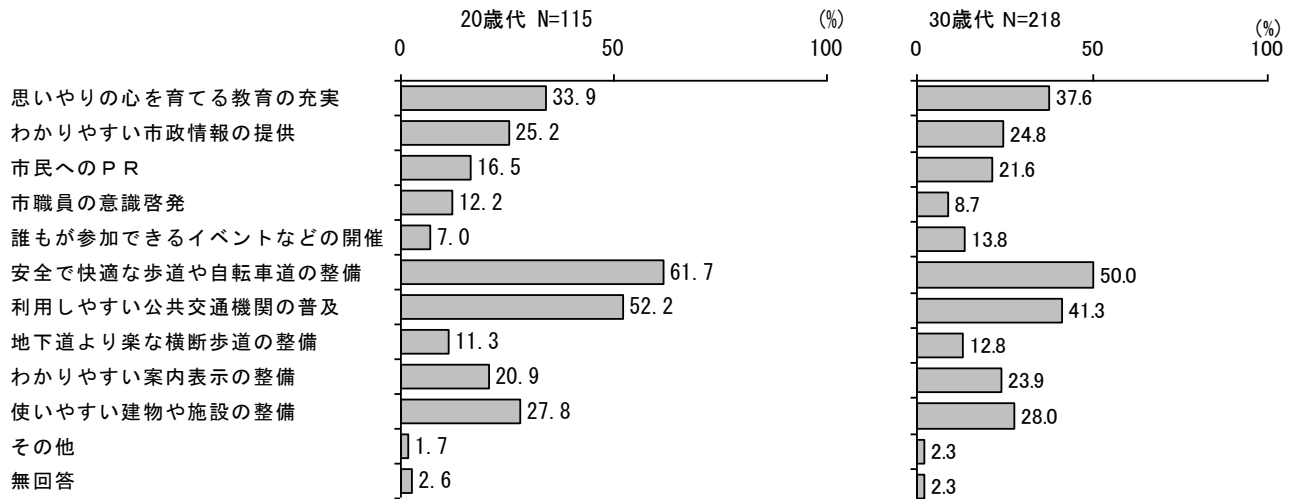
「安全で快適な歩道や自転車道の整備」が 46.0%、「思いやりの心を育てる教育の充実」が 44.9%、「利用しやすい公共交通機関の普及」が 36.4%と、前年度調査と同様、高い数値となっている。

年代別でみると、「安全で快適な自転車道の整備」は、20歳代が 61.7%で最も多く、次いで 40歳代の 55.1%であった。「思いやりの心を育てる教育の充実」は、60歳代が 48.4%で最も多く、年代が高い方が関心は高い傾向にある。「利用しやすい公共交通機関の普及」は、20歳代が 52.2%で最も多く、年代が低い方が関心は高い傾向にある。

#### 【経年比較】



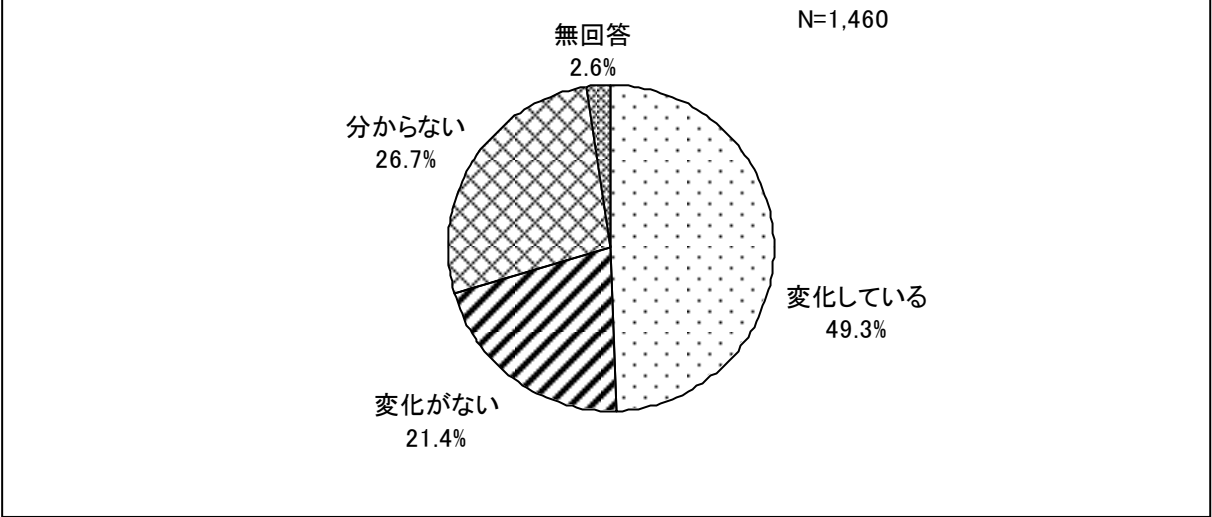
## 【年代別】



## 4 都心のまちづくりについて

### (1) 市の都心の様子

問 10 浜松市の都心（JR浜松駅周辺）の様子（道路、建物、公園、店舗、人の流れなど）について、5年前と比較してあなたはどのように感じますか。  
（1つだけ○を付けてください）

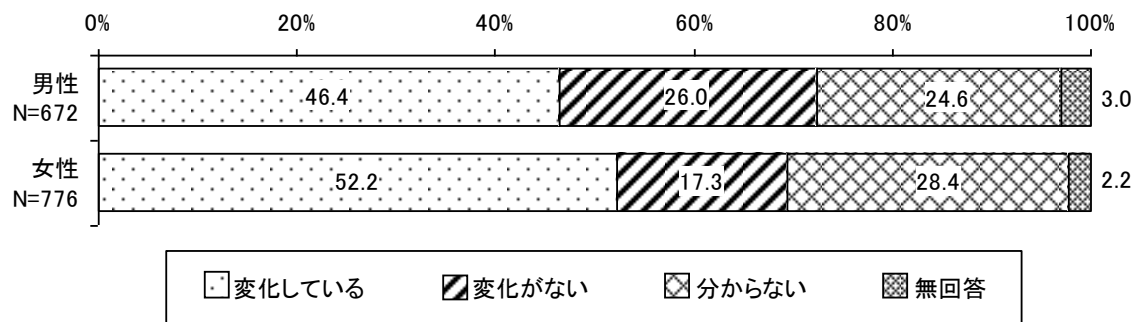


「変化している」が49.3%、「変化がない」が21.4%、「分からない」が26.7%であった。

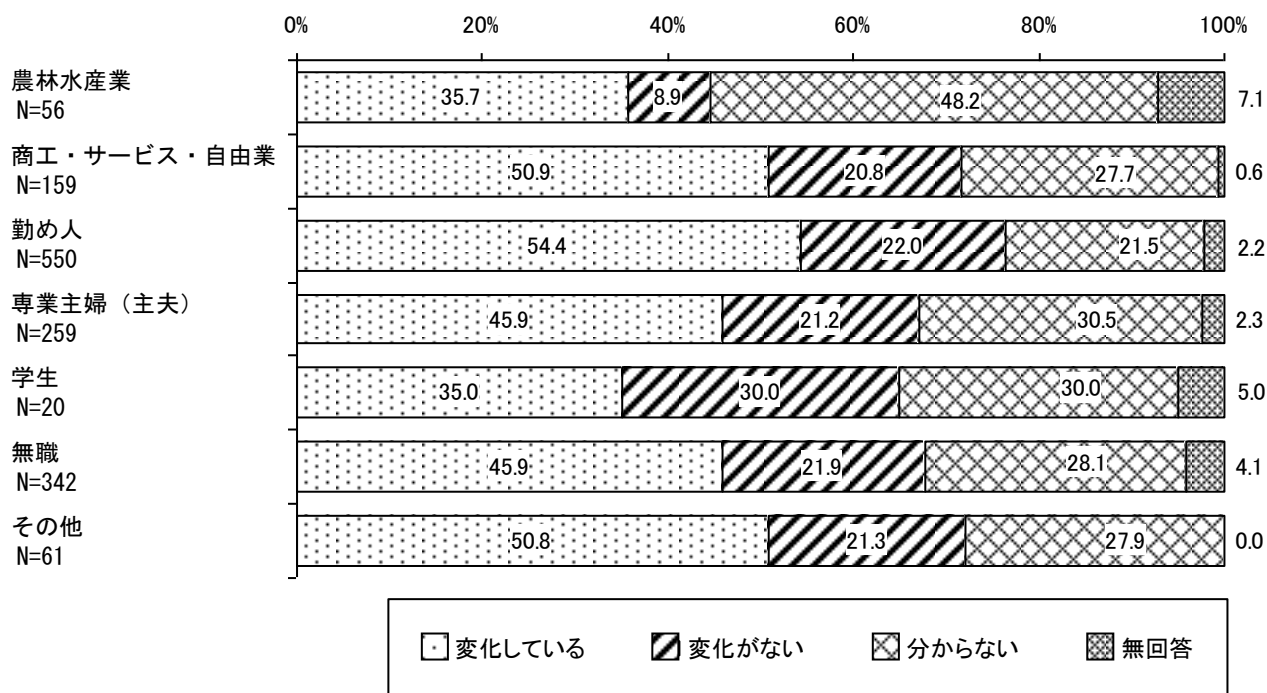
性別で見ると、「変化している」は、男性が46.4%、女性が52.2%となっており、女性の方が5.8ポイント多い。一方、「変化がない」は、男性が26.0%、女性が17.3%で、男性の方が8.7ポイント多い。

職業別で見ると、「変化している」は、勤め人が54.4%で最も多く、次いで商工・サービス・自由業が50.9%であった。一方、「変化がない」は、学生が30.0%で最も多く、次いで、勤め人22.0%であった。

#### 【性別】

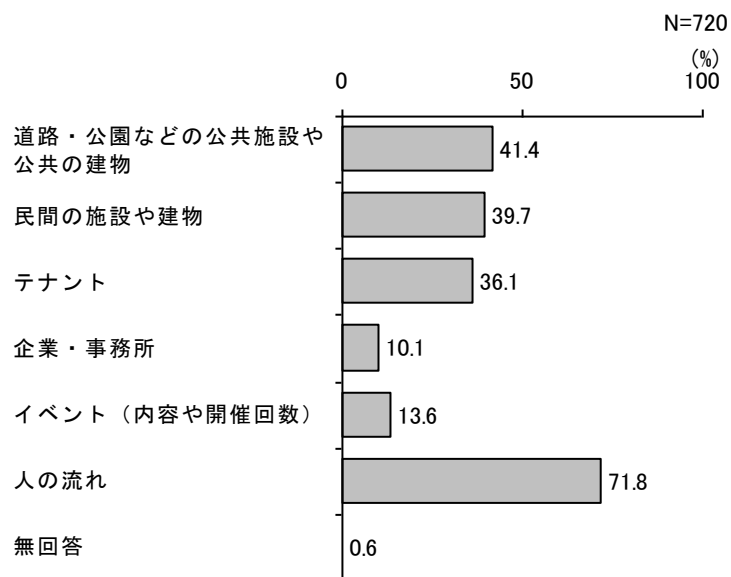


【職業別】

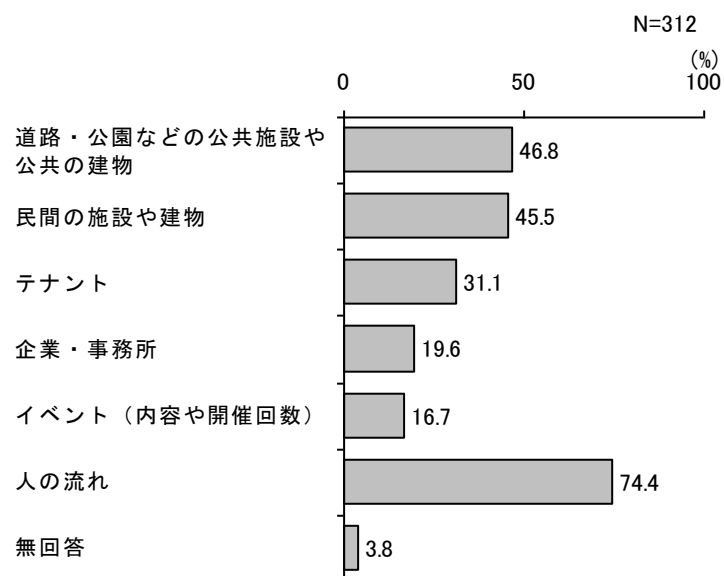


## (2) 都心の変化

問 11 「1. 変化している」とお答えの方に伺います。どのような点が変化していると感じますか。(あてはまるものすべてに○を付けてください)



問 12 「2. 変化がない」とお答の方に伺います。どのような点が変化していると感じますか。(あてはまるものすべてに○を付けてください)



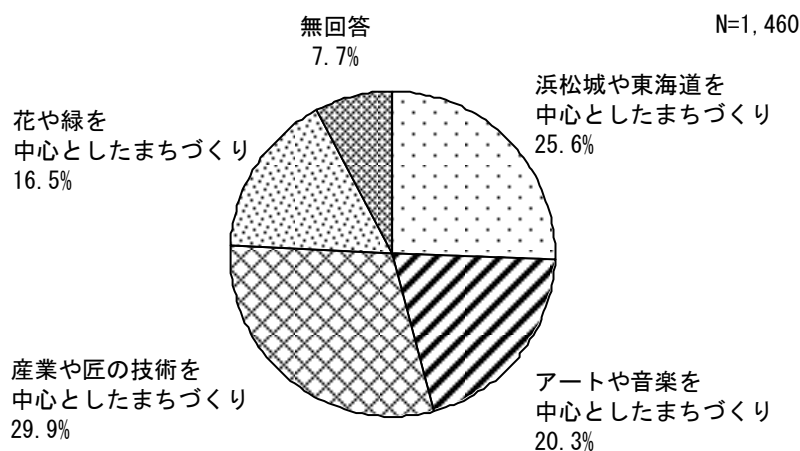
「変化している」と「変化がない」と感じた上位の内容は同じ結果となり、「人の流れ」、「道路・公園などの公共施設や公共の建物」、「民間の施設や建物」であった。

今後、市民の変化に対する感じ方をより細かく分析し、都心のまちづくりに活かしていく必要がある。

### (3) 都心エリアのまちづくりテーマ

問 13 JR浜松駅を中心とする都心エリアは、浜松城の城下町は、東海道の宿場町として栄えてきた歴史があります。都心において歴史や文化を活かしたまちづくりを進めるためにはどのようなテーマが重要だと思いますか。

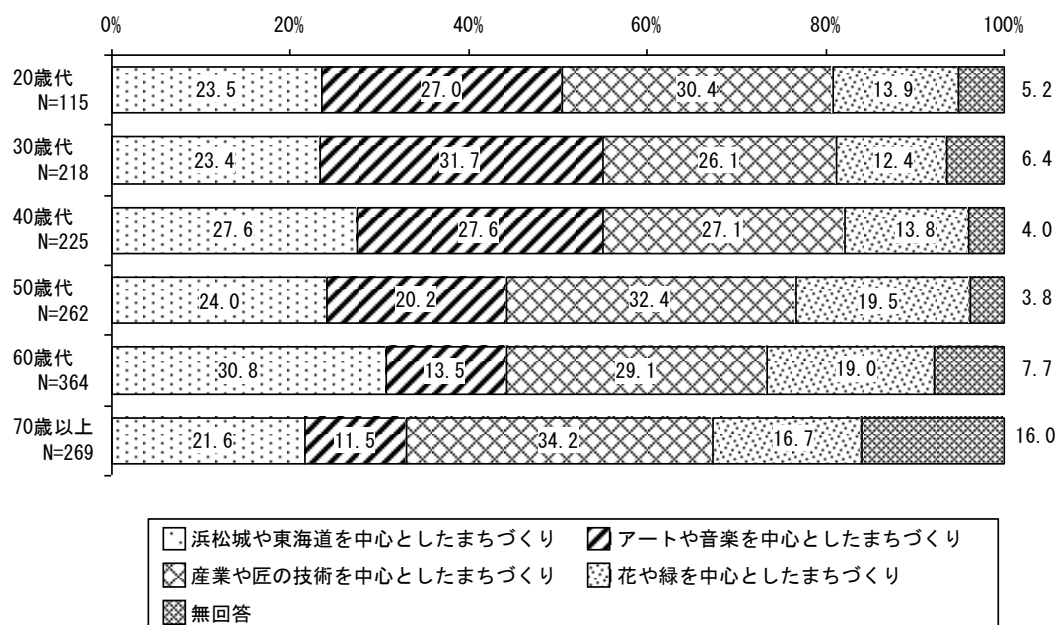
(1つだけ○を付けてください)



「産業や匠の技術を中心としたまちづくり」が29.9%と最も高く、次いで「浜松城や東海道を中心としたまちづくり」25.6%、「アートや音楽を中心としたまちづくり」20.3%、「花や緑を中心としたまちづくり」16.5%であった。浜松市の特性として、「産業や匠の技術」への関心が若干高いものの、「浜松城や東海道」「アートや音楽」などにも同程度の関心を抱いていることがわかる。今後、浜松固有の資源を活かした“浜松らしさ”のあるまちづくりを進めることが重要といえる。

年代別でみると、「産業や匠の技術を中心としたまちづくり」は20歳代30.4%、50歳代32.4%、70歳以上34.2%、「浜松城や東海道を中心としたまちづくり」は40歳代27.6%、60歳代30.8%、「アートや音楽を中心としたまちづくり」は30歳代31.7%、40歳代27.6%で多い結果となった。

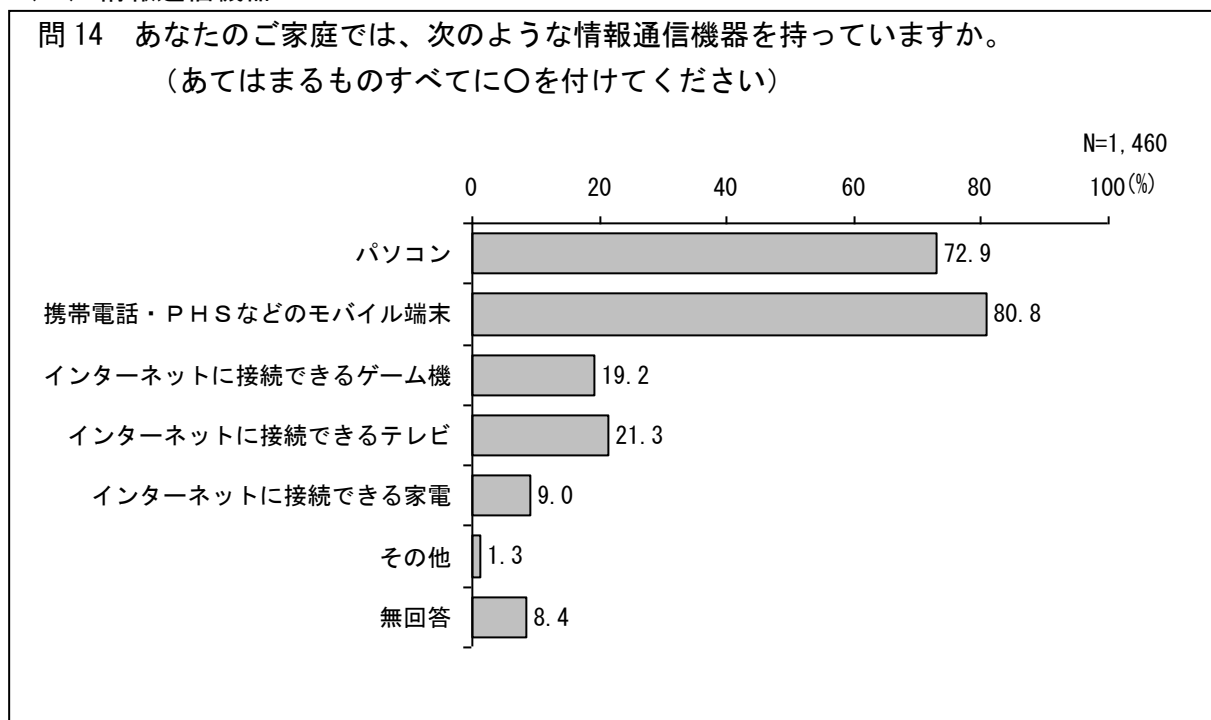
#### 【年代別】



## 5 家庭の情報化について

### (1) 情報通信機器

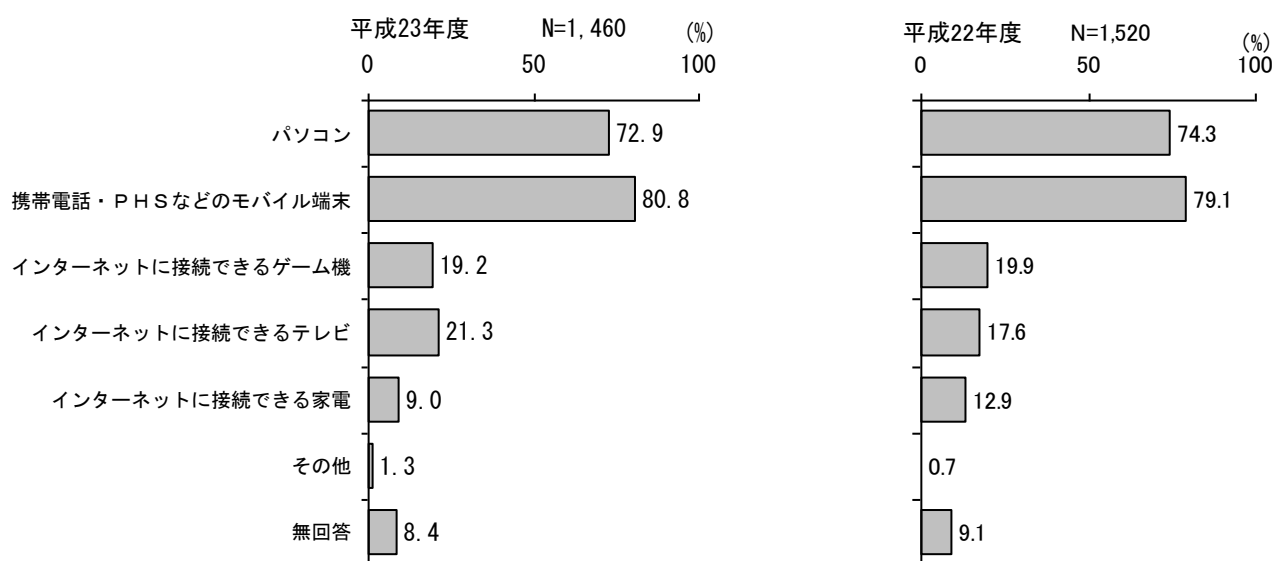
問 14 あなたのご家庭では、次のような情報通信機器を持っていますか。  
(あてはまるものすべてに○を付けてください)



「携帯電話・PHSなどのモバイル端末」が80.8%、「パソコン」が72.9%と7割を超えており、多くの世帯に普及しているといえる。以下「インターネットに接続できるテレビ」が21.3%、「インターネットに接続できるゲーム機」が19.2%、「インターネットに接続できる家電」が9.0%と続いた。

前年度調査と比較すると、「携帯電話・PHSなどのモバイル端末」が、1.7ポイント、「インターネットに接続できるテレビ」が、3.7ポイント増加している。

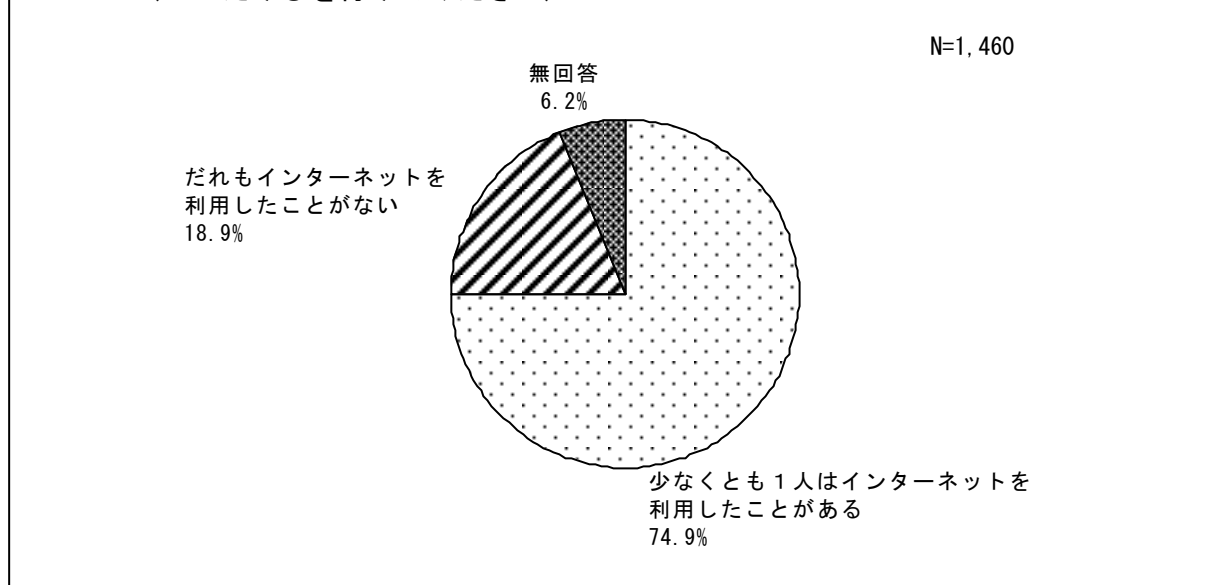
#### 【経年比較】





(2) インターネットの利用

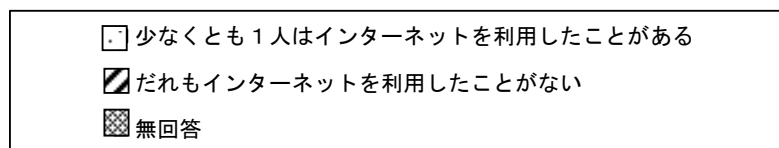
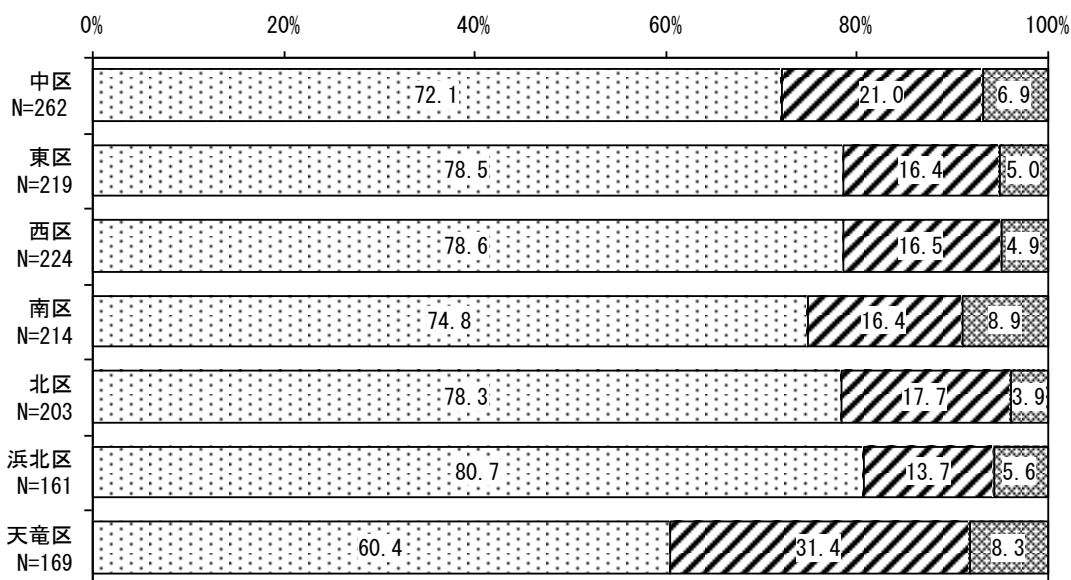
問 15 あなたやあなたのご家族は、過去1年間にインターネット（情報通信機器によるメール送受信およびホームページ利用を含む）を利用したことがありますか。  
（1つだけ○を付けてください）



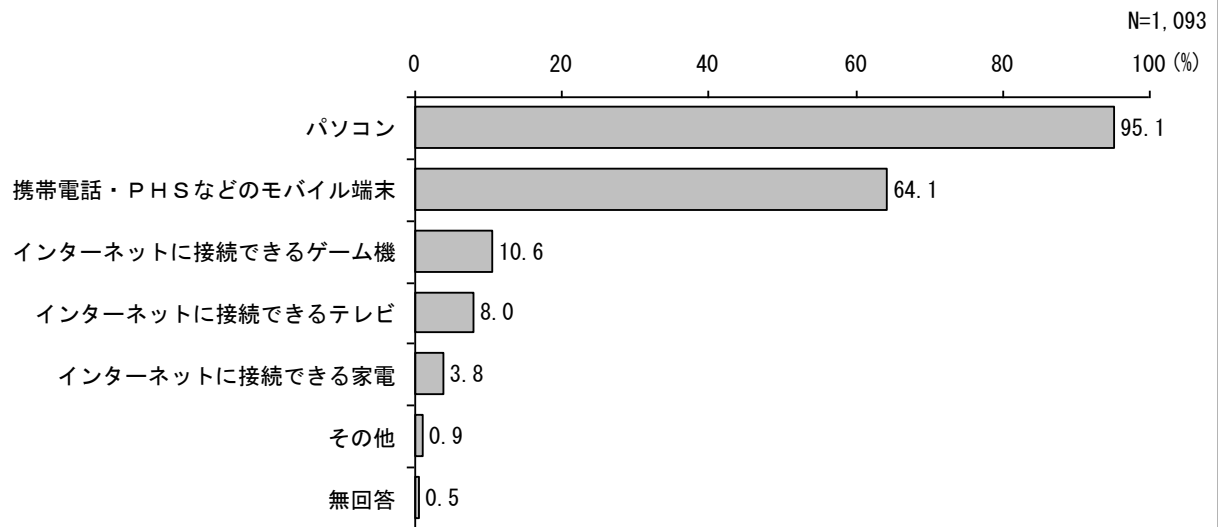
「少なくとも1人はインターネットを利用したことがある」が74.9%、「だれもインターネットを利用したことがない」が18.9%となっている。

行政区別でみると、「少なくとも1人はインターネットを利用したことがある」について、天竜区（60.4%）を除き、その他の区では7割を超えている。

【行政区別】



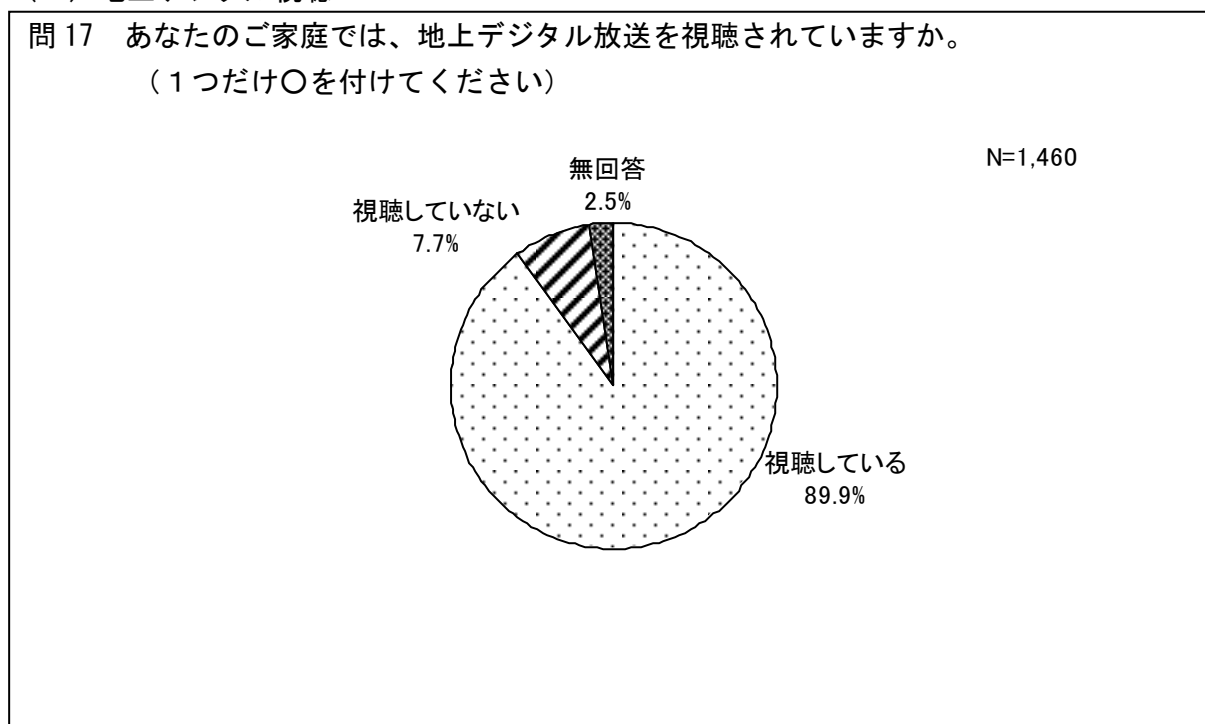
問 16 問 15 で「1. 少なくとも1人はインターネットを利用したことがある」とお答えの方に伺います。あなたやあなたのご家族は、どの情報通信機器でインターネットを利用していますか。（あてはまるものすべてに○を付けてください）



インターネットを利用している世帯での、利用の際の情報通信機器は、「パソコン」が95.1%と最も多く9割を超えた。インターネットを利用している世帯では、そのほとんどでパソコンを利用していることが分かる。以下、「携帯電話・PHSなどのモバイル端末」が64.1%、「インターネットに接続できるゲーム機」が10.6%、「インターネットに接続できるテレビ」が8.0%、「インターネットに接続できる家電」が3.8%と続いた。

### (3) 地上デジタル視聴

問 17 あなたのご家庭では、地上デジタル放送を視聴されていますか。  
(1つだけ○を付けてください)



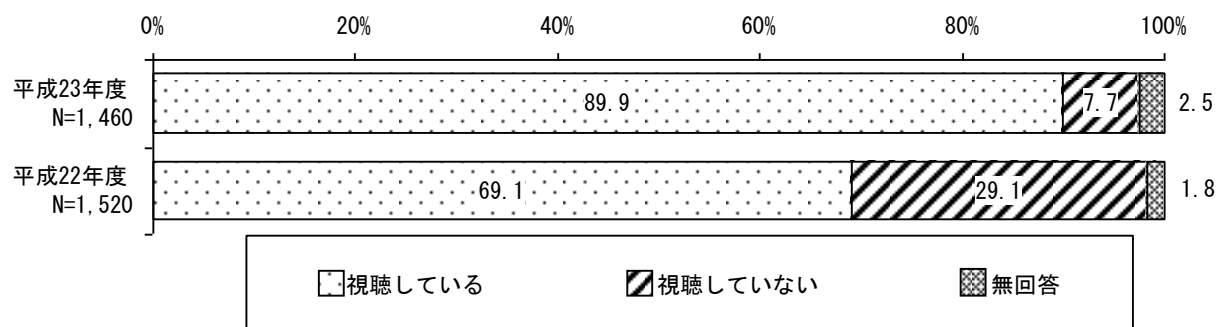
「視聴している」が89.9%、「視聴していない」が7.7%となっている。

前年度調査と比較すると、「視聴している」（平成22年度：69.1%、平成23年度：89.9%）は20.8ポイントと大幅に増加している。

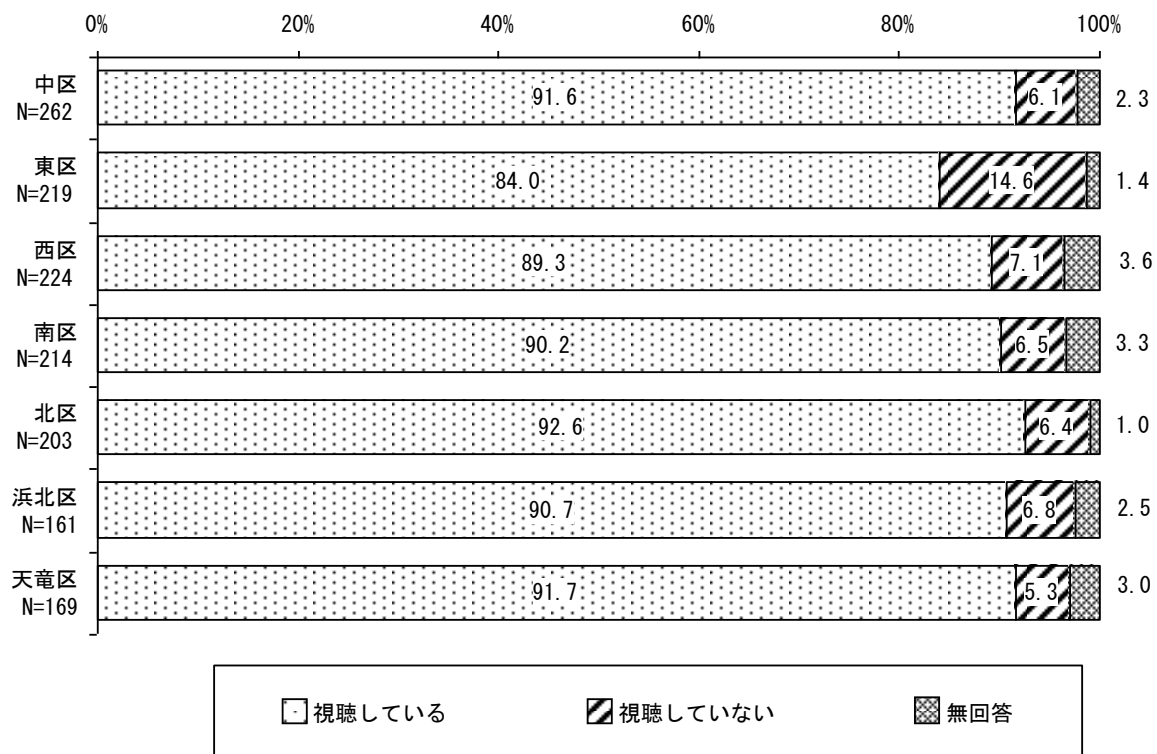
地上デジタル放送への完全移行（平成23年7月）まで残り1ヶ月の時点での調査であるが、地上デジタル放送を実際に視聴している世帯の割合は89.9%となっており、約1割の世帯がデジタル化未対応となっている。

行政区別でみると、「視聴している」は北区の92.6%を筆頭に、天竜区91.7%、中区91.6%、浜北区90.7%、南区90.2%で9割を超えている。これら以外では、西区が89.3%、東区が84.0%となっている。

#### 【経年比較】



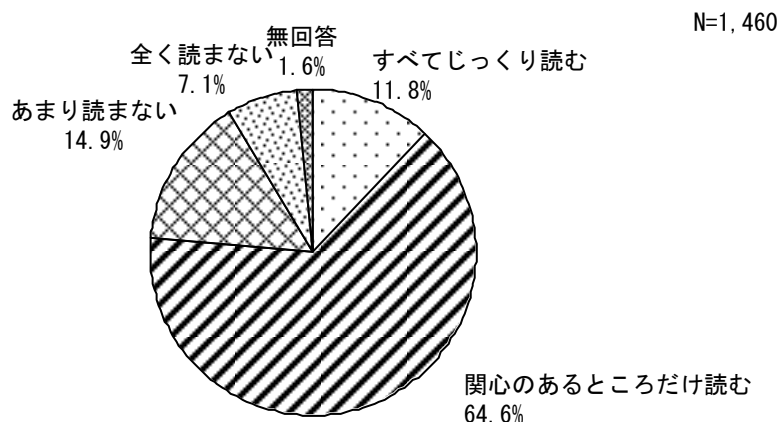
【行政区別】



## 6 広報はままつについて

### (1)「広報はままつ」の読み方

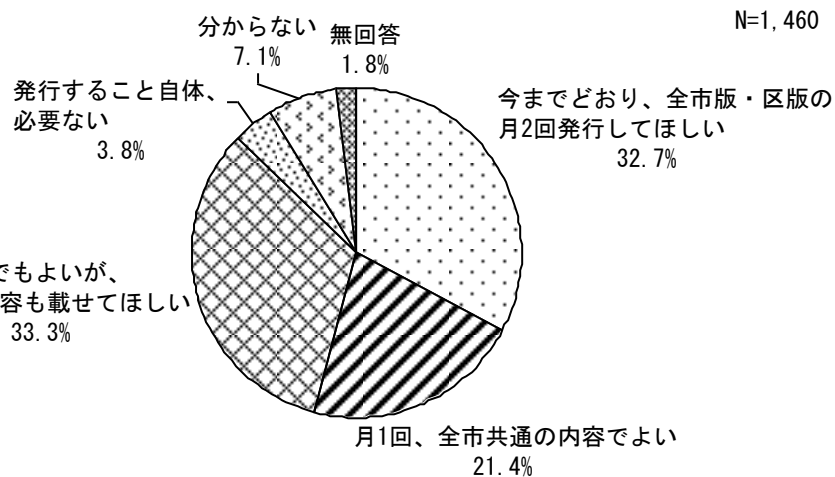
問 18 「広報はままつ」は全市版と区版を合わせて月 2 回発行していますが、あなたはどの程度読んでいますか。(1 つだけ○を付けてください)



「すべてじっくり読む」11.8%と「関心のあるところだけ読む」64.6%を合わせた『読む』が76.4%となっており、多くの方が「広報はままつ」を読んでいると考えられる。

### (2)「広報はままつ」の発行

問 19 「広報はままつ」の発行について、あなたの考えをお聞かせください。(1 つだけ○を付けてください)



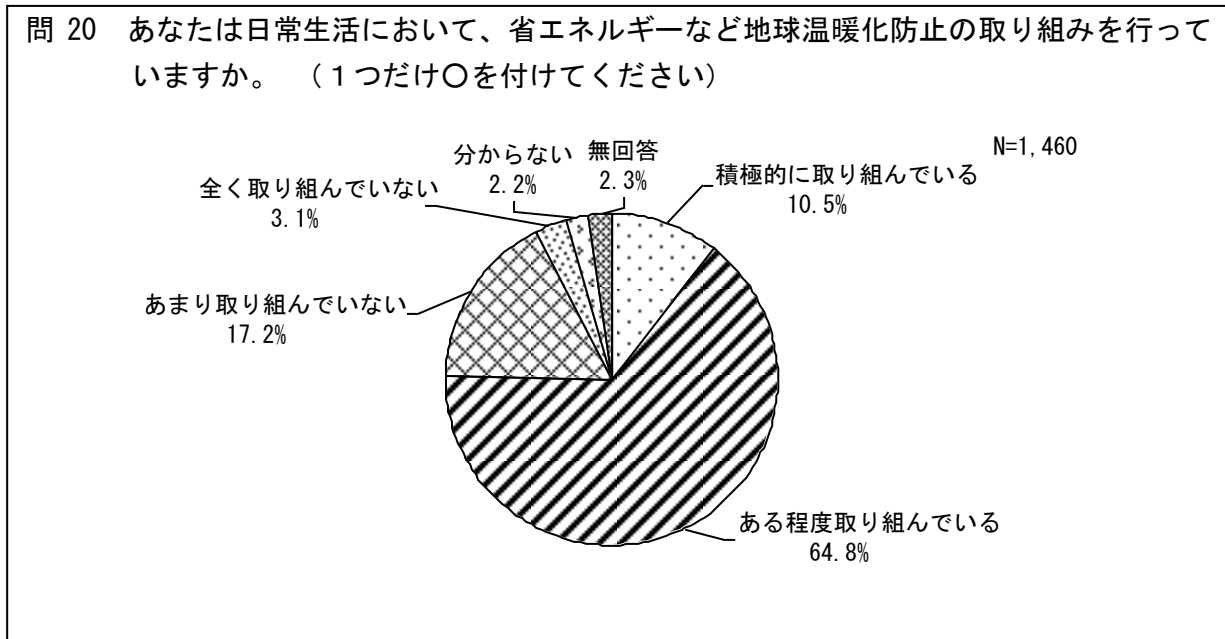
「今までもどおり全市版・区版の月2回発行してほしい」が32.7%、「月1回全市共通の内容でよい」が21.4%、「月1回でもよいが、区の内容も載せてほしい」が33.3%となっており、それらを合わせると87.4%となり、「広報はままつ」の発行を継続することが望まれている。

また、「今までもどおり全市版・区版の月2回発行してほしい」32.7%と「月1回でもよいが、区の内容も載せてほしい」33.3%を合わせると66%となり、何らかの形で区情報の掲載を望んでいることが分かった。さらに、「月1回全市共通の内容でよい」21.4%と「月1回でもよいが、区の内容も載せてほしい」33.3%を合わせると54.7%となり、過半数の人が発行は月1回でもよいと考えていることが分かった。

## 7 地球・自然環境について

### (1) 地球温暖化防止への取り組み

問 20 あなたは日常生活において、省エネルギーなど地球温暖化防止の取り組みを行っていますか。（1つだけ○を付けてください）



「積極的に取り組んでいる」が 10.5%、「ある程度取り組んでいる」が 64.8%、「あまり取り組んでいない」が 17.2%、「全く取り組んでいない」が 3.1%となっている。

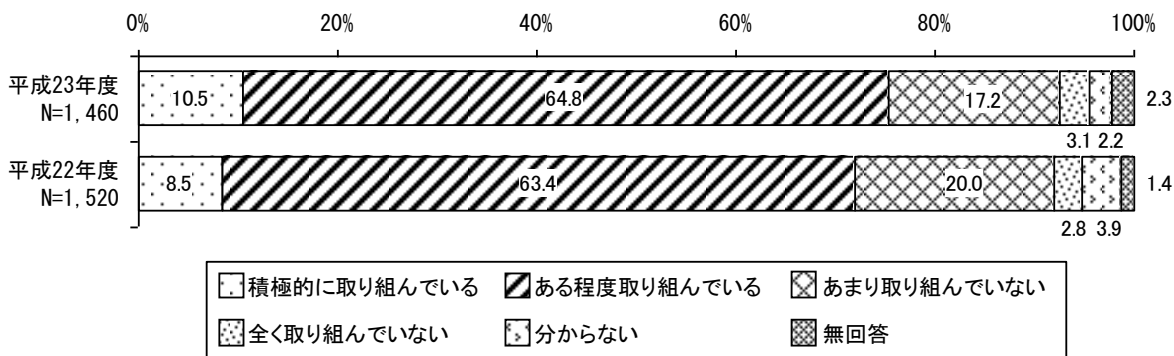
「積極的に取り組んでいる」と「ある程度取り組んでいる」を合わせた『取り組んでいる』は 75.3%と 7 割を超えており、多くの市民の間で地球温暖化防止の取り組みが行われているといえる。

前年度調査と比較すると、「積極的に取り組んでいる」は 2.0 ポイント増加（平成 22 年度：8.5%）、「ある程度取り組んでいる」は 1.4 ポイント増加（平成 22 年度：63.4%）しており、3 月に発生した東日本大震災や浜岡原子力発電所 4 号機、5 号機の運転停止、3 号機の運転再開見送りによる節電意識の向上等の影響が考えられる。

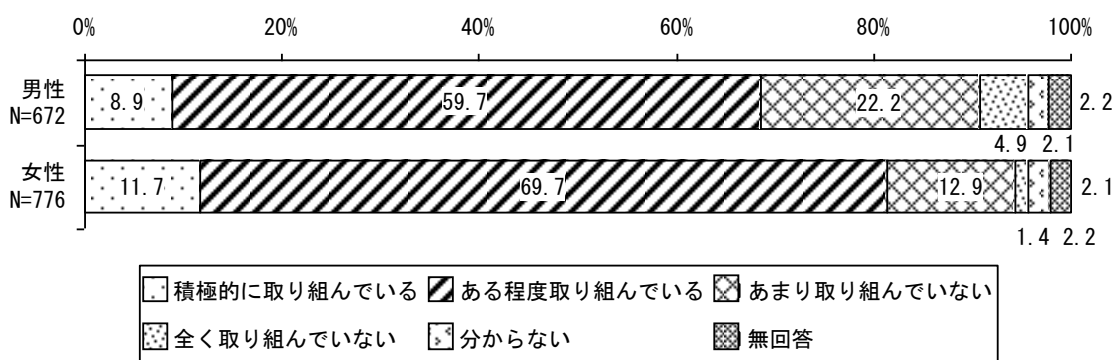
性別でみると、「積極的に取り組んでいる」は男性が 8.9%、女性が 11.7%で女性の方が 2.8 ポイント高くなっている。また、『取り組んでいる』についても男性が 68.6%、女性が 81.4%で女性の方が 12.8 ポイント高くなっており、女性の方が積極的であることが分かった。

行政区別でみると、『取り組んでいる』は、北区が 79.8%、南区が 79%と高く、他の区も 7 割を超えており、取り組みが浸透してきていると推察される。

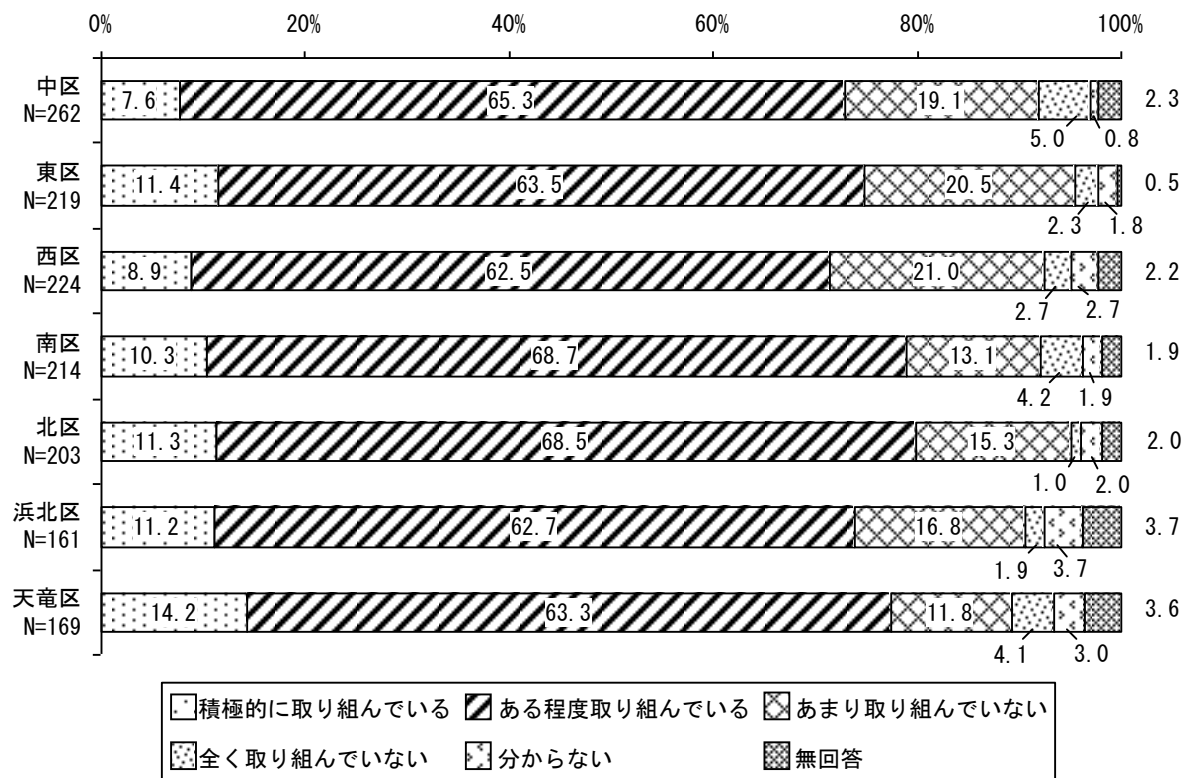
【経年比較】



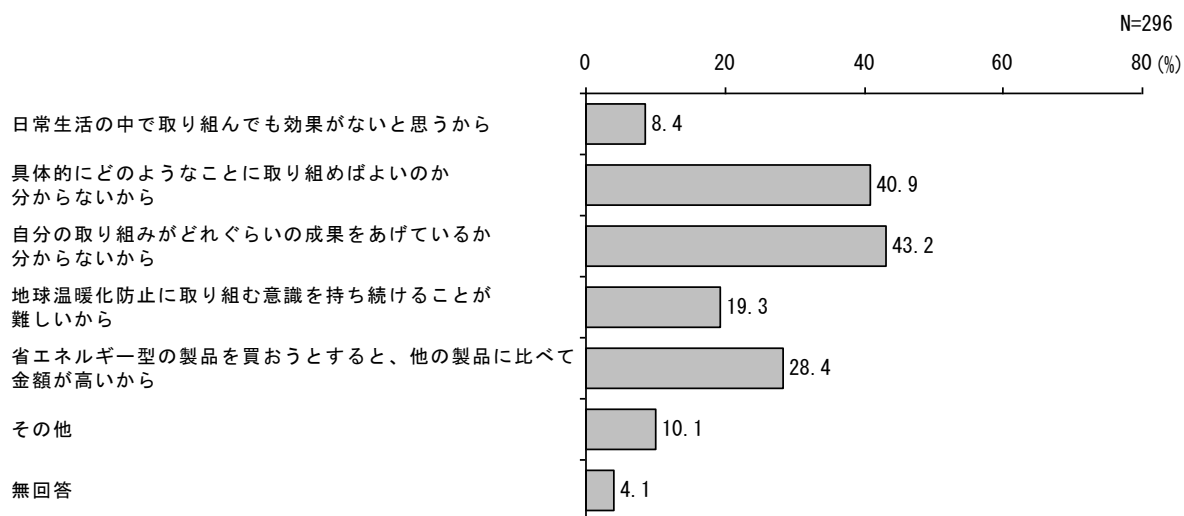
【性別】



【行政区別】



問 21 問 20 で「3. あまり取り組んでいない」「4. 全く取り組んでいない」とお答えの方に伺います。あなたが、省エネルギーなど地球温暖化防止の取り組みを行わない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○を付けてください）



「自分の取り組みがどれぐらいの成果をあげているか分からないから」が43.2%、「具体的にどのようなことに取り組めばよいのか分からないから」が40.9%と多かった。

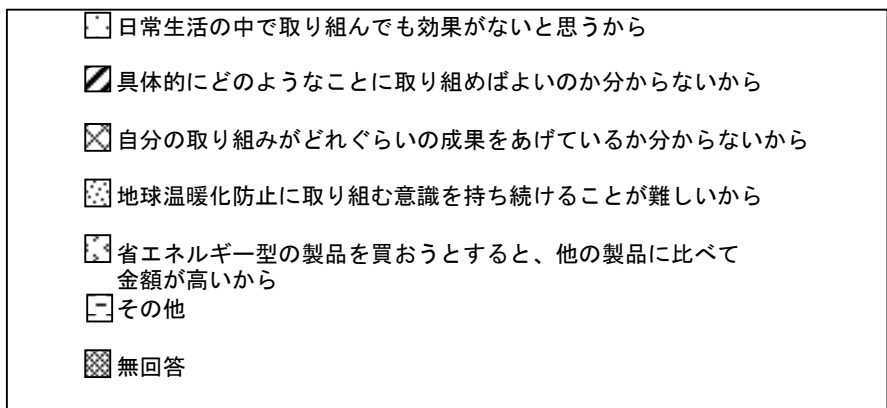
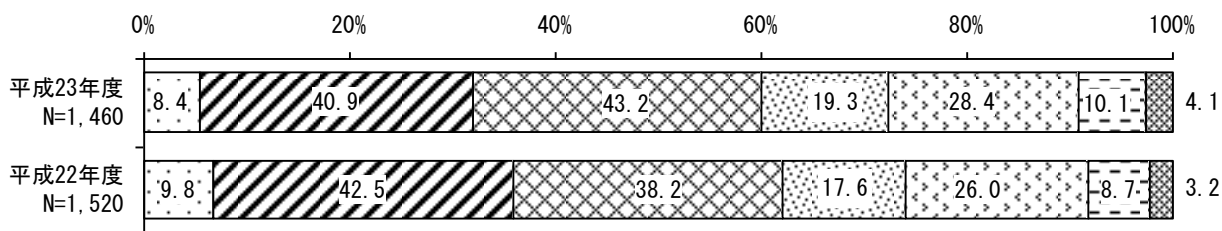
前年度調査と比較すると、「具体的にどのようなことに取り組めばよいのか分からないから」は1.6ポイント減少（平成22年度：42.5%）したのに対し、「自分の取り組みがどれぐらいの成果をあげているか分からないから」が5.0ポイント増加（平成22年度：38.2%）している。

これは、市や報道機関等による節電方法の広報によって、市民に具体的な取り組み内容が浸透した反面、機器に省エネ効果を表示する機能がない等の理由で取り組みの成果を実感しづらいことが原因ではないかと推察される。

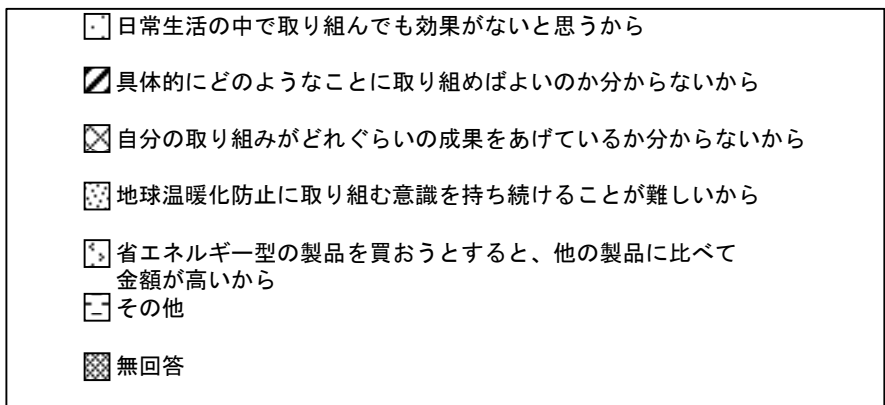
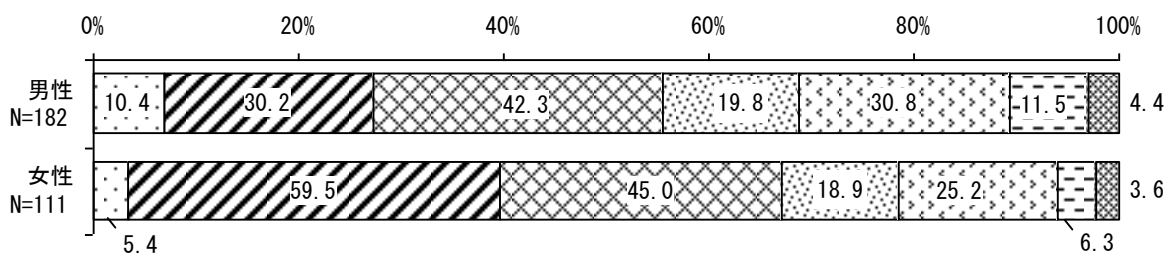
性別で見ると、「具体的にどのようなことに取り組めばよいのか分からないから」では、男性30.2%、女性59.5%で29.3ポイントもの差がみられた。



【経年比較】

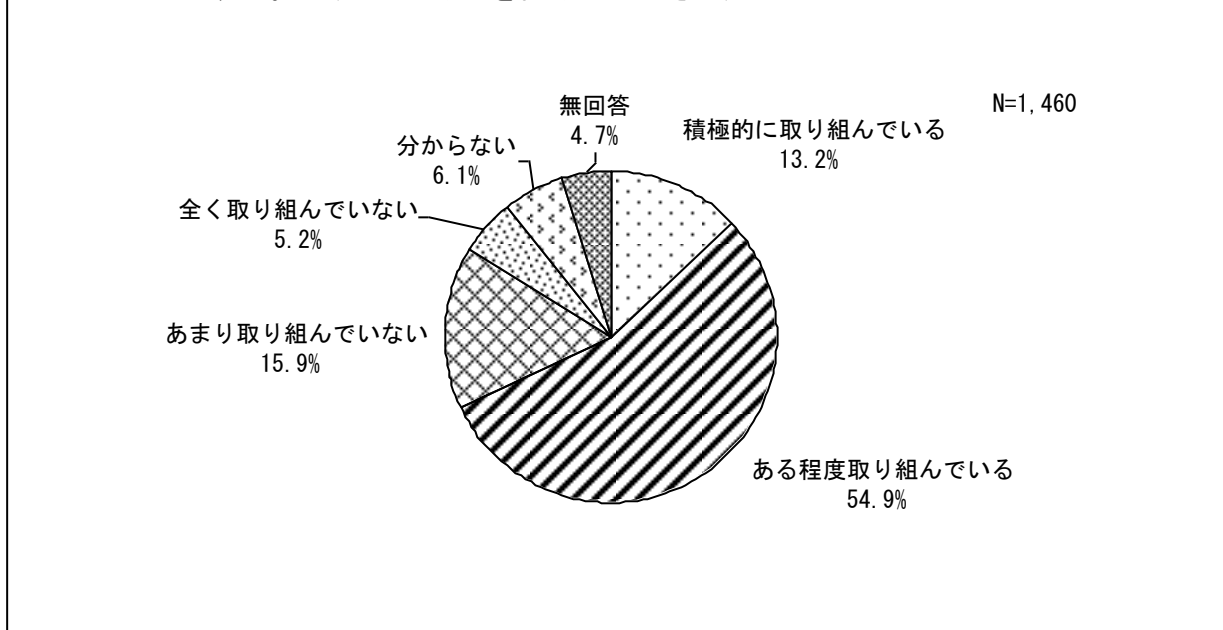


【性別】



(2) エコドライブの取り組み

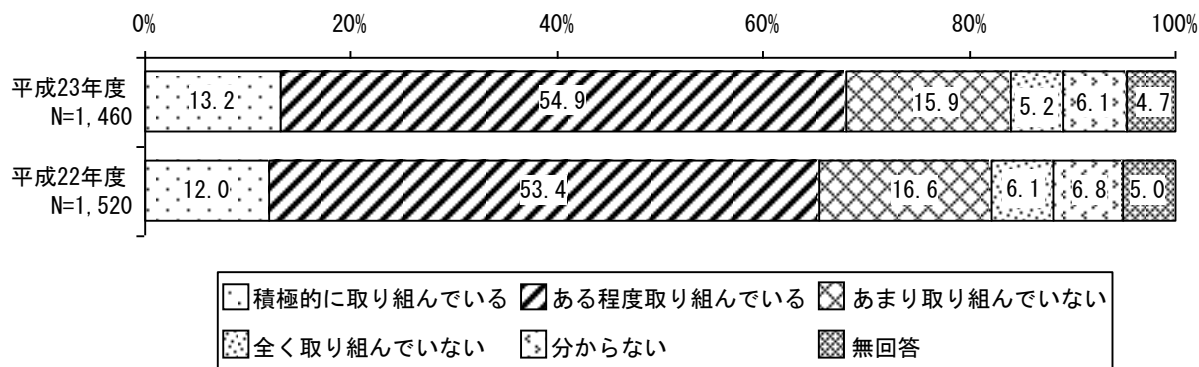
問 22 あなたは日常生活において、地球と財布にやさしいエコドライブの取り組みを行っていますか。（1つだけ○を付けてください）



「積極的に取り組んでいる」が13.2%、「ある程度取り組んでいる」が54.9%、「あまり取り組んでいない」が15.9%、「全く取り組んでいない」が5.2%となっている。「積極的に取り組んでいる」と「ある程度取り組んでいる」を合わせた『取り組んでいる』は68.1%と6割を超えている。

前年度調査と比較すると『取り組んでいる』は2.7ポイント増加しており、多くの市民の間でエコドライブの取り組みが浸透してきているといえる。これは、警察や自動車メーカー等の普及啓発や浜松市と日本自動車連盟との共催によるエコトレーニング（エコドライブ講習会）などの啓発活動が影響しているものと推察される。

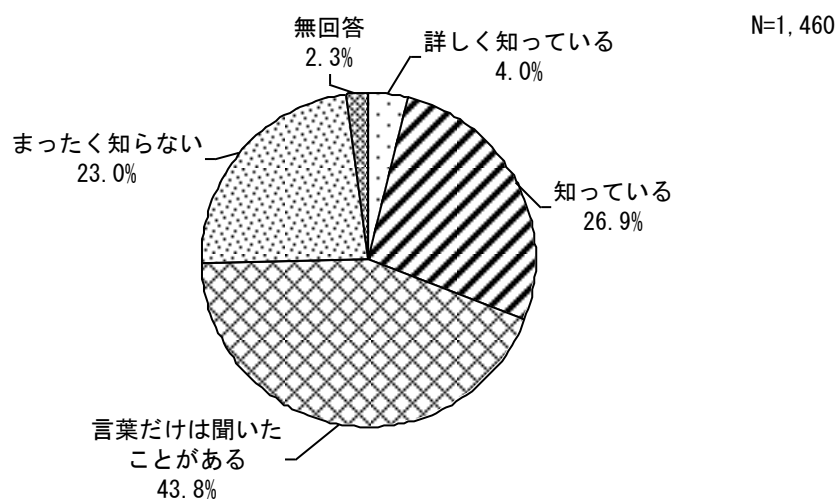
【経年比較】



### (3) 生物多様性

問 23 「生物多様性」という言葉を、あなたをご存知ですか。

(1つだけ○を付けてください)



「詳しく知っている」が4.0%、「知っている」が26.9%、「言葉だけは聞いたことがある」が43.8%、「まったく知らない」が23.0%となっている。「詳しく知っている」、「知っている」、「言葉だけは聞いたことがある」を合わせた『認知度』は74.7%となっており、認知度が高いことが分かった。これは、平成22年に第10回生物多様性条約締約国会議(COP10)が名古屋市で開催されたことに伴い、メディア等に取り上げられたことが影響していると推察される。

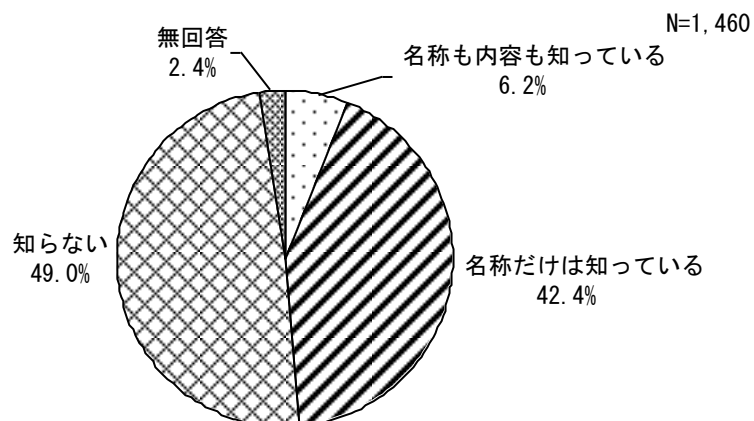
また、「言葉だけは聞いたことがある」が最も多いことから、今後は、生物多様性の内容について市民に十分周知する必要がある。

## 8 子育て支援について

### (1)「浜松市子ども育成条例」

問 24 あなたは、「浜松市子ども育成条例」をご存知ですか。

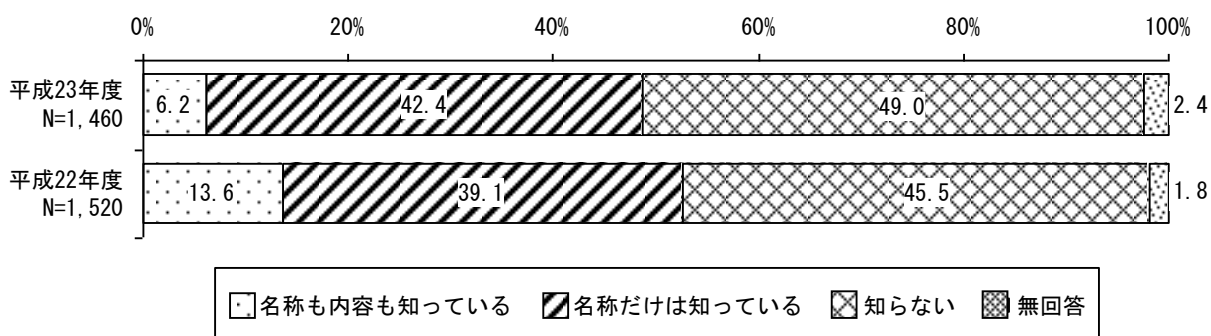
(1つだけ○を付けてください)



「名称も内容も知っている」が6.2%、「名称だけは知っている」が42.4%、「知らない」が49.0%となっている。「名称も内容も知っている」と「名称だけは知っている」を合わせた『認知度』は48.6%であり、前年度調査の52.7%に比べ4.1ポイント減少した。

今後も継続して条例の普及啓発を行い、条例の名称だけでなく、内容の理解を促すことが必要である。

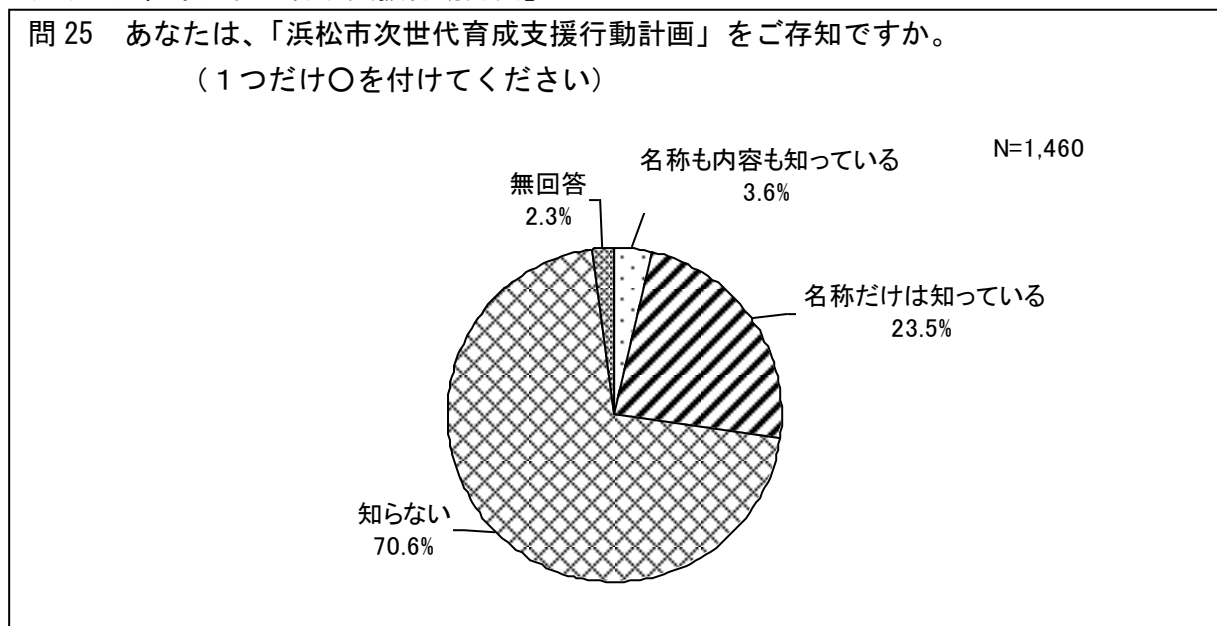
#### 【経年比較】



(2)「浜松市次世代育成支援行動計画」

問 25 あなたは、「浜松市次世代育成支援行動計画」をご存知ですか。

(1つだけ○を付けてください)

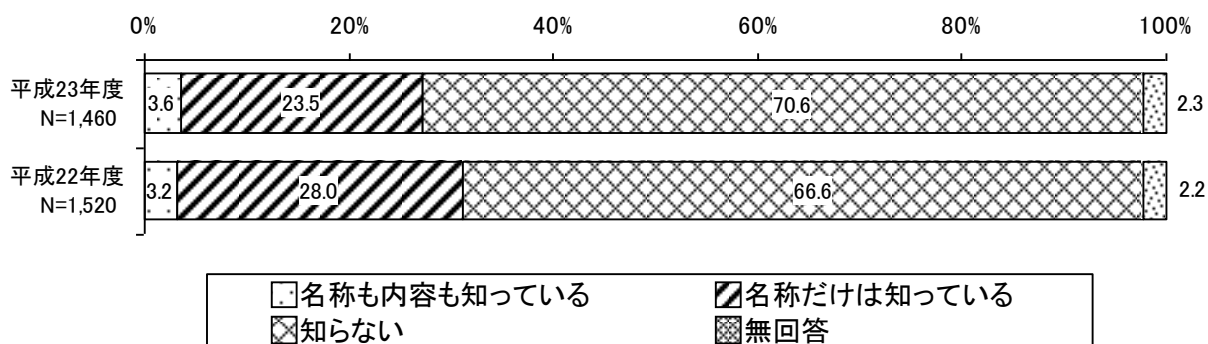


「名称も内容も知っている」と「名称だけは知っている」を合わせた『認知度』は27.1%で、前年度調査の31.2%に比べ4.1ポイント減少した。社会全体で子育てに関わっていくことが重要であり、計画の認知度の向上と積極的な参加を促す効果的な周知活動を継続して行うことが必要である。

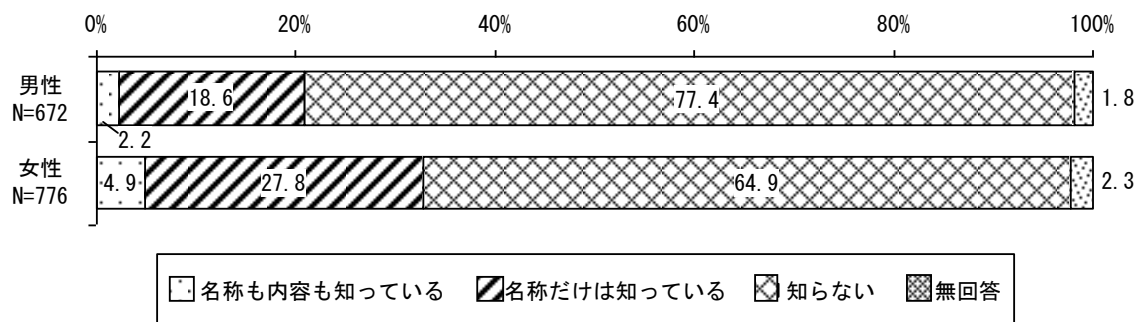
性別で見ると、『認知度』は男性が20.8%、女性が32.7%となっており、女性の方が11.9ポイント高い。一方、「名称も内容も知っている」は男性が2.2%、女性が4.9%と低い結果となった。今後は、名称だけではなく内容について十分周知していくことが必要である。

年代別で見ると、『認知度』は、70歳以上が35.3%で最も高く、20歳代が14.8%で最も低い結果であった。おおむね年代が上がるほど認知度も高くなっていく傾向にある。

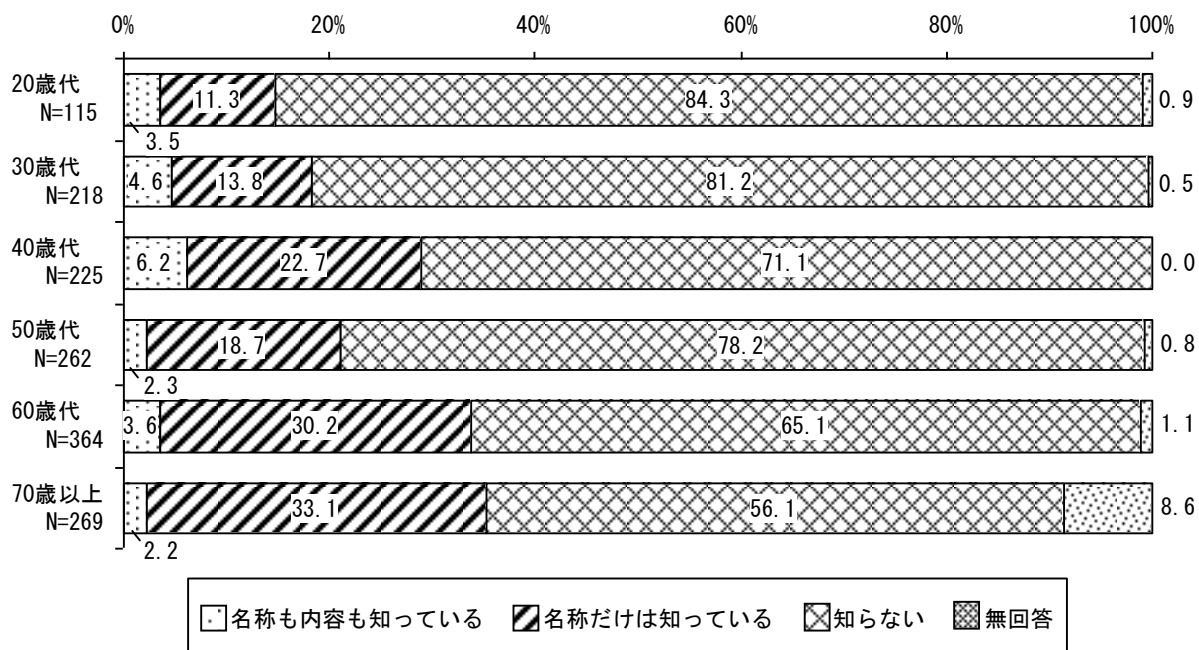
【経年比較】



【性別】

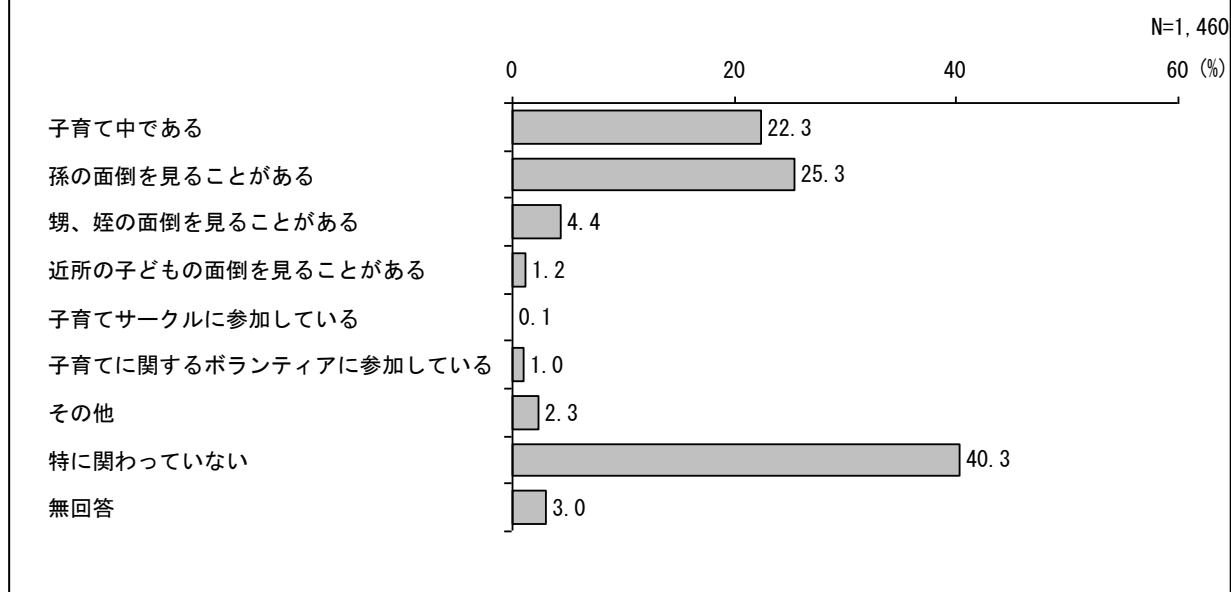


【年代別】



### (3) 子育てへの関わり方

問 26 あなたは、「子育て」に対して、現在、どのような関わり方をしていますか。  
(1つだけ○を付けてください)

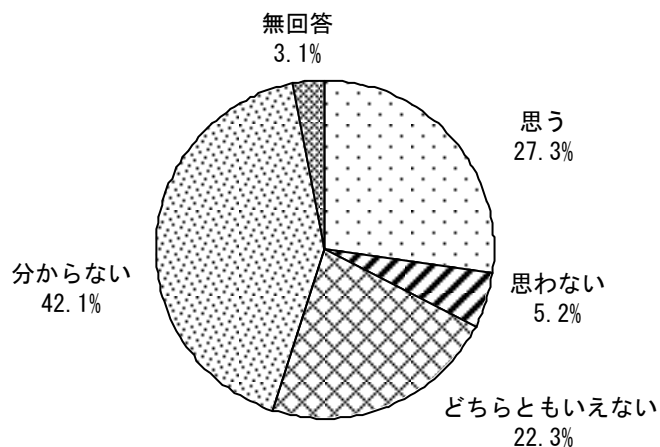


「特に関わっていない」が 40.3%と最も高く、次いで「孫の面倒を見ることがある」が 25.3%、「子育て中である」が 22.3%となっている。社会全体で子どもや子育てを支えていくために、今後、「特に関わっていない」層がボランティア活動等に参加して、次世代を担う子どもの育成に関わる機会をもつことが必要である。

#### (4) 子育てのしやすさ

問 27 市では、子育て広場やファミリーサポートセンターなど子育てに関するさまざまな支援を行なっています。あなたは、このような支援によって、子育てがしやすくなっていると思いますか。（1つだけ○を付けてください）

N=1,460

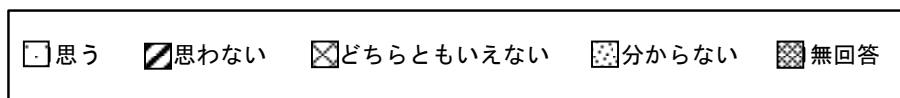
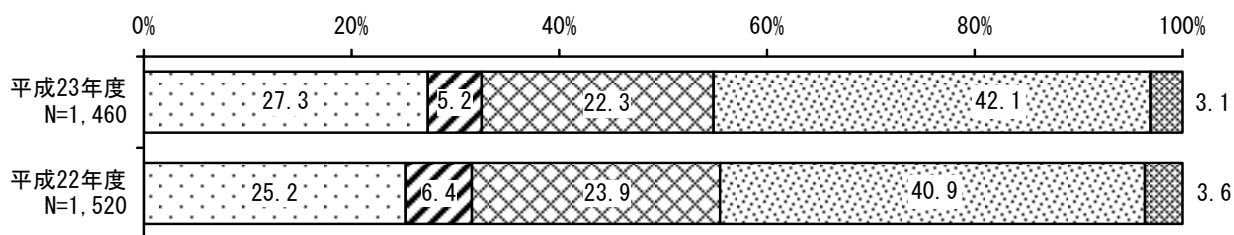


子育てがしやすくなっていると思うかについては、「分からない」が42.1%と最も高く、次いで「思う」が27.3%、「どちらともいえない」が22.3%、「思わない」が5.2%となっている。

前年度調査と比較すると、「思う」が25.2%から27.3%と2.1ポイント増加している。

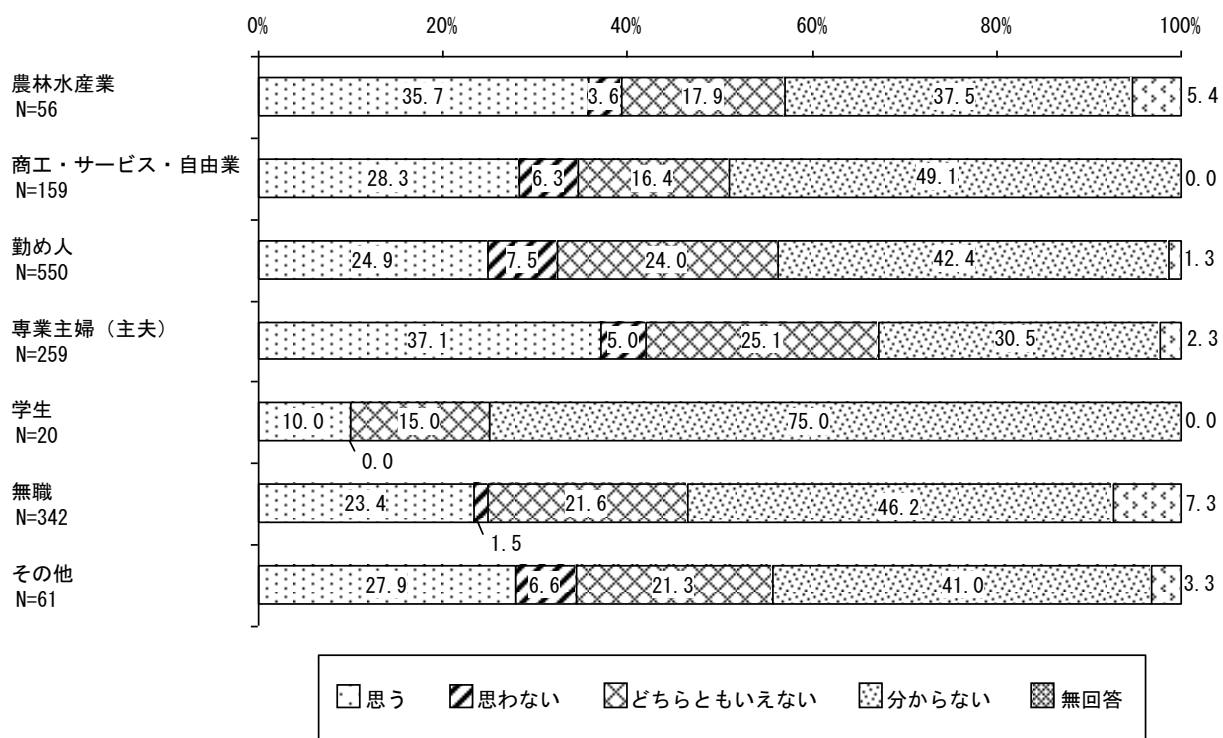
職業別でみると、「思わない」は、勤め人7.5%で最も多く、次いで商工・サービス・自由業6.3%であった。就業していても「子育てがしやすい」と感じられるように仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現に向けた社会基盤づくりが必要であるといえる。

#### 【経年比較】



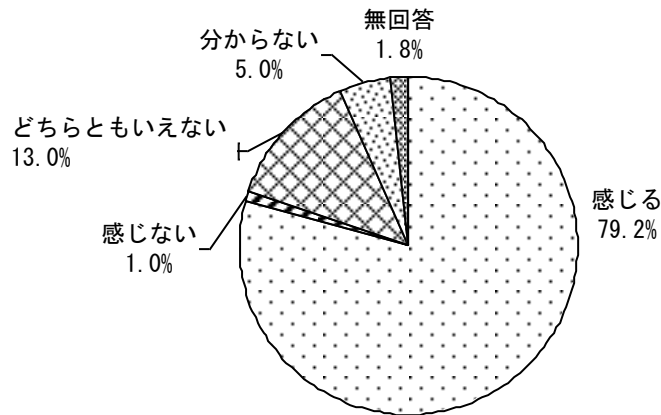


【職業別】



問 28 問 27 で「1. 思う」とお答えの方に伺います。あなたは、子育ては楽しいことだと感じますか。(1つだけ○を付けてください)

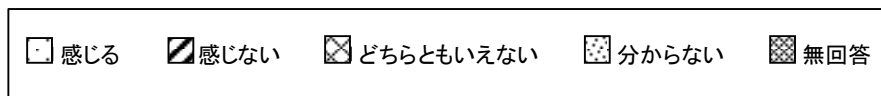
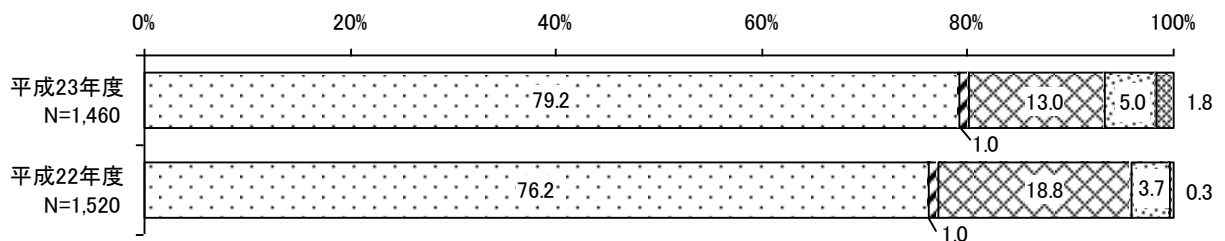
N=399



「感じる」が79.2%と最も高く、「どちらともいえない」が13.0%、「分からない」が5.0%、「感じない」が1.0%となっている。前年度調査と比較すると、「感じる」が、76.2%から79.2%と、3.0ポイント増加した。「感じない」の割合は1.0%と前年と同様であった。

今後も子育て支援施策の展開や、社会全体で子どもや子育てを支えていく環境づくりが必要である。

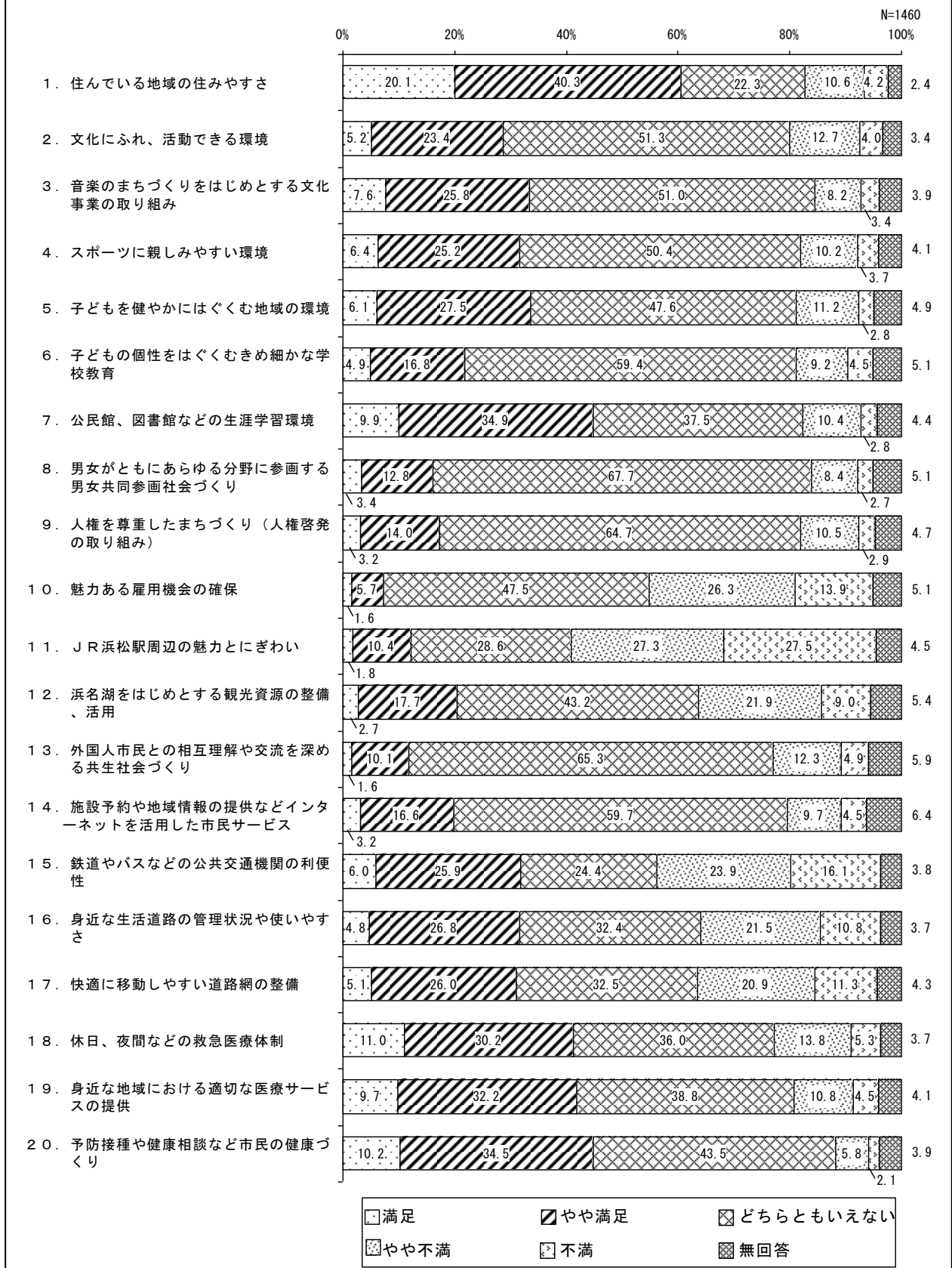
【経年比較】

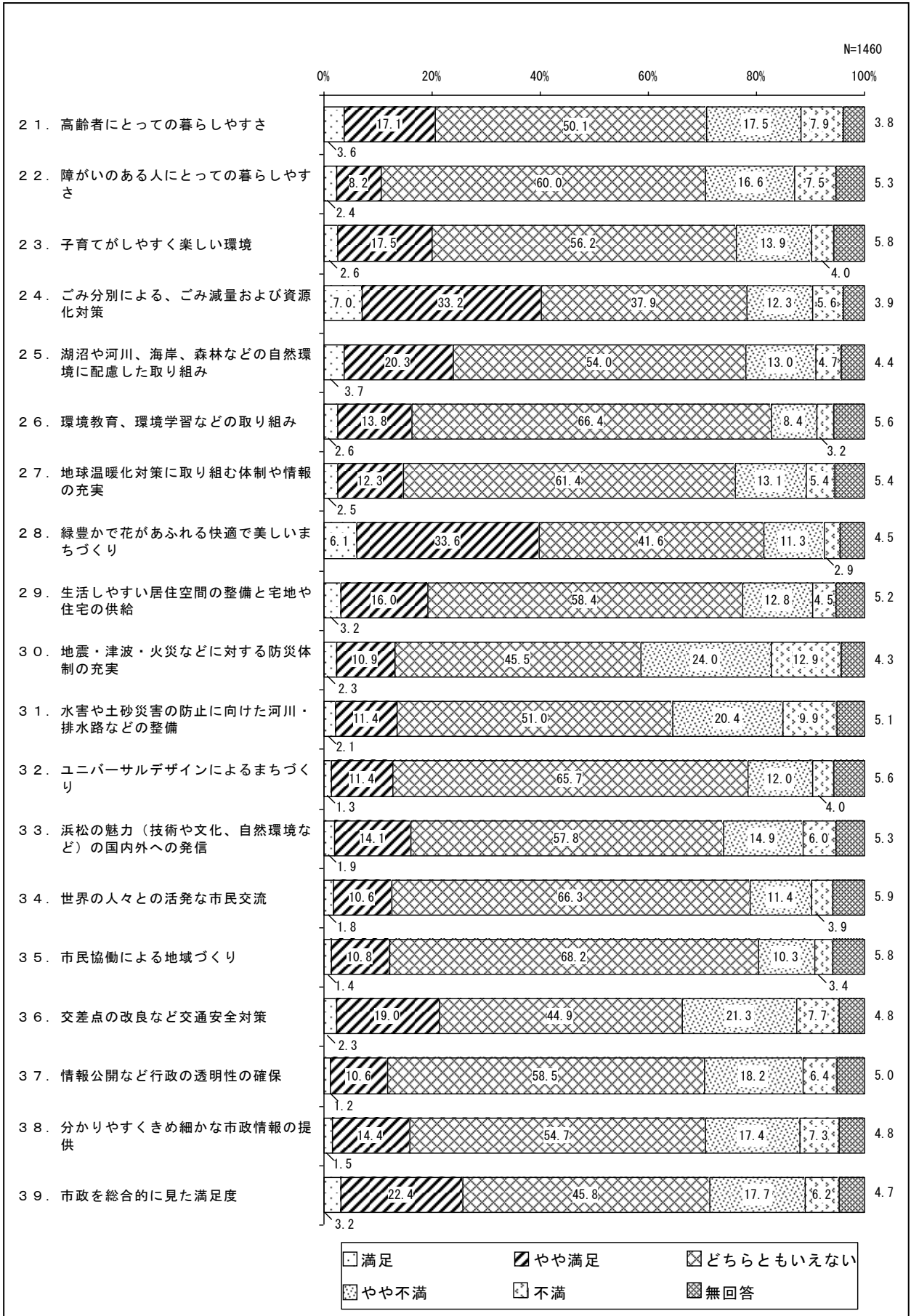


## 9 市政の満足度評価について

### (1) 市政の満足度

問 29 あなたは、浜松市がこれまで進めてきた取り組みについて日ごろどのように感じていますか。以下の各項目についてその評価を1～5のうちからそれぞれ1つだけ選び○を付けてください。





「満足」と「やや満足」を合わせた『満足している』が3割以上だったものは、以下の13項目である。

			(H22年度)
1	「住んでいる地域の住みやすさ」	60.5%	(62.5%)
7	「公民館、図書館などの生涯学習環境」	44.9%	(44.2%)
20	「予防接種や健康相談など市民の健康づくり」	44.7%	(40.9%)
19	「身近な地域における適切な医療サービスの提供」	41.9%	(38.1%)
18	「休日、夜間などの救急医療体制」	41.2%	(37.2%)
24	「ごみ分別による、ごみ減量および資源化対策」	40.2%	(34.8%)
28	「緑豊かで花があふれる快適で美しいまちづくり」	39.7%	(33.5%)
5	「子どもを健やかにはぐくむ地域の環境」	33.6%	(31.2%)
3	「音楽のまちづくりをはじめとする文化事業の取り組み」	33.4%	(32.4%)
15	「鉄道やバスなどの公共交通機関の利便性」	31.8%	(29.8%)
16	「身近な生活道路の管理状況や使いやすさ」	31.6%	( — )
4	「スポーツに親しみやすい環境」	31.6%	(27.3%)
17	「快適に移動しやすい道路網の整備」	31.0%	(28.1%)

『満足』の上位1位から6位までは、前年度同様の項目で40%を超えている。前年度調査と比較して、39項目中31項目については『満足』の数値が増加している。「ごみ分別による、ごみ減量および資源化対策」については、前年度調査の34.8%から40.2%と5.4ポイント増加し、満足度の項目の中では最も多く増加している。

一方、39項目中5項目において『満足』の数値が減少している。最も多く減少した項目は、「地震・津波・火災などに対する防災体制の充実」で、前年度調査の24.6%から13.2%と11.4ポイント減少した。これは、3月に発生した東日本大震災の影響で防災意識が高まったものと推察される。

「やや不満」と「不満足」を合わせた『不満足』が3割以上だったものは、以下の8項目である。

			(H22年度)
11	「JR浜松駅周辺の魅力とにぎわい」	54.7%	(60.8%)
10	「魅力ある雇用機会の確保」	40.2%	(42.2%)
15	「鉄道やバスなどの公共交通機関の利便性」	40.0%	(42.2%)
30	「地震・津波・火災などに対する防災体制の充実」	37.0%	(18.6%)
16	「身近な生活道路の管理状況や使いやすさ」	32.3%	( — )
17	「快適に移動しやすい道路網の整備」	32.2%	(37.2%)
12	「浜名湖をはじめとする観光資源の整備、活用」	30.9%	(32.3%)
31	「水害や土砂災害の防止に向けた河川・排水路などの整備」	30.3%	(17.6%)

『不満足』の上位3項目は、前年度同様の項目で40%を超えている。前年度調査と比較して、39項目中9項目については『不満足』の数値が増加しており、中でも「地震・津波・火災などに対する防災体制の充実」については、前年度調査の18.6%から37.0%と18.4ポイント増加している。

また、次表は「満足」を10点、「やや満足」を7.5点、「どちらともいえない」を5点、「やや不満」を2.5点、「不満」を0点と点数を付けて集計したものである。この数値は、10点に近いほど満足度が高くなる指数である。

性別、年代別とも「1 住んでいる地域の住みやすさ」が全てにおいて6点以上になっており満足度が高い。

一方、「10 魅力ある雇用機会の確保」や「11 JR 浜松駅周辺の魅力とにぎわい」が、70歳以上を除いた全ての年代と、男女とも4点以下で低くなっている。

また、「30 地震・津波・火災などに対する防災体制の充実」も低い数値となっており、3月に発生した東日本大震災の影響により、防災意識が高まったものと思われる。

行政区別でみると、「1 住んでいる地域の住みやすさ」が、天竜区を除いた全ての区で6点以上となっており、満足度が高い。

一方、いずれの区でも満足度が低い項目は、「10 魅力ある雇用機会の確保」と「11 JR 浜松駅周辺の魅力とにぎわい」であった。それらに加え、「30 地震・津波・火災などに対する防災体制の充実」が東区、西区、南区で低くなっている。さらに、西区、天竜区では、「31 水害や土砂災害の防止に向けた河川・排水路などの整備」も低くなっており、地域特性を踏まえた整備や防災体制づくりが必要である。

天竜区では、満足度が低い項目が8項目あり、これは他の区と比較して多い。今後、中山間地区の実情を踏まえ、満足度を高めていく必要がある。

【性別】【年代別】

◎=6点以上 △=4点以下

	全体	男性	女性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
1 住んでいる地域の住みやすさ	◎ 6.6	◎ 6.5	◎ 6.7	◎ 6.8	◎ 6.7	◎ 6.4	◎ 6.2	◎ 6.7	◎ 6.7
2 文化にふれ、活動できる環境	5.3	5.2	5.5	5.5	5.4	5.4	5.3	5.3	5.3
3 音楽のまちづくりをはじめとする文化事業の取り組み	5.7	5.4	5.9	5.6	5.6	5.7	5.5	5.6	5.9
4 スポーツに親しみやすい環境	5.5	5.4	5.6	5.2	5.5	5.7	5.4	5.6	5.6
5 子どもを健やかにはぐくむ地域の環境	5.6	5.4	5.8	5.4	5.6	5.6	5.3	5.7	5.7
6 子どもの個性をはぐくむきめ細かな学校教育	5.2	5.0	5.4	4.9	5.2	5.1	4.9	5.3	5.7
7 公民館、図書館などの生涯学習環境	◎ 6.0	5.1	5.2	5.8	◎ 6.2	◎ 6.0	5.9	◎ 6.0	◎ 6.1
8 男女がともにあらゆる分野に参画する男女共同参画社会づくり	5.1	5.1	5.2	5.2	5.2	5.0	4.9	5.2	5.4
9 人権を尊重したまちづくり(人権啓発の取り組み)	5.1	5.0	5.2	5.1	5.1	5.0	5.0	5.1	5.4
10 魅力ある雇用機会の確保	△ 3.8	△ 3.7	△ 3.9	△ 3.9	△ 4.0	△ 3.7	△ 3.5	△ 3.8	4.1
11 JR浜松駅周辺の魅力とにぎわい	△ 3.2	△ 3.0	△ 3.4	△ 3.0	△ 2.6	△ 2.9	△ 2.8	△ 3.5	4.3
12 浜名湖をはじめとする観光資源の整備、活用	4.6	4.3	4.8	4.6	4.5	4.2	4.2	4.7	5.1
13 外国人市民との相互理解や交流を深める共生社会づくり	4.8	4.6	4.9	4.6	4.8	4.8	4.6	4.9	4.8
14 施設予約や地域情報の提供などインターネットを活用した市民サービス	5.1	4.9	5.3	4.7	5.2	5.4	5.0	5.1	5.2
15 鉄道やバスなどの公共交通機関の利便性	4.5	4.4	4.7	△ 3.7	4.6	4.3	4.1	4.8	5.1
16 身近な生活道路の管理状況や使いやすさ	4.8	4.6	5.0	4.1	4.9	4.6	4.5	5.2	5.1
17 快適に移動しやすい道路網の整備	4.8	4.6	5.0	4.2	4.9	4.6	4.5	5.1	5.2
18 休日、夜間などの救急医療体制	5.7	5.6	5.9	5.3	5.6	5.6	5.5	5.9	◎ 6.1
19 身近な地域における適切な医療サービスの提供	5.8	5.7	◎ 6.0	5.4	◎ 6.0	5.9	5.5	5.8	◎ 6.2
20 予防接種や健康相談など市民の健康づくり	◎ 6.2	◎ 6.0	◎ 6.3	5.5	◎ 6.3	◎ 6.3	5.7	◎ 6.2	◎ 6.6
21 高齢者にとっての暮らしやすさ	4.8	4.7	4.8	4.1	5.0	5.0	4.4	4.6	5.3
22 障がいのある人にとっての暮らしやすさ	4.5	4.5	4.5	4.1	4.8	4.6	4.1	4.6	4.7
23 子育てがしやすく楽しい環境	5.0	4.9	5.1	4.5	5.2	5.0	4.7	5.1	5.3
24 ごみ分別による、ごみ減量および資源化対策	5.6	5.5	5.8	5.0	5.4	5.4	5.4	5.9	◎ 6.1
25 湖沼や河川、海岸、森林などの自然環境に配慮した取り組み	5.1	5.0	5.3	5.0	5.2	5.0	5.0	5.3	5.1
26 環境教育、環境学習などの取り組み	5.1	4.9	5.3	5.0	5.0	5.3	4.9	5.2	5.2
27 地球温暖化対策に取り組む体制や情報の充実	4.8	4.5	5.1	4.6	4.9	4.8	4.5	5.0	5.0
28 緑豊かで花があふれる快適で美しいまちづくり	5.7	5.3	◎ 6.1	5.7	5.9	5.7	5.6	5.7	5.9
29 生活しやすい居住空間の整備と宅地や住宅の供給	5.0	4.8	5.2	5.1	5.0	5.1	4.6	5.1	5.2
30 地震・津波・火災などに対する防災体制の充実	4.1	△ 3.9	4.2	△ 3.8	△ 3.9	△ 4.0	△ 3.8	4.3	4.5
31 水害や土砂災害の防止に向けた河川・排水路などの整備	4.4	4.2	4.4	4.3	4.3	4.3	△ 4.0	4.5	4.6
32 ユニバーサルデザインによるまちづくり	4.8	4.6	5.1	4.8	4.9	4.9	4.4	5.0	4.9
33 浜松の魅力(技術や文化、自然環境など)の国内外への発信	4.8	4.5	5.0	4.6	4.6	4.6	4.4	4.9	5.3
34 世界の人々との活発な市民交流	4.9	4.7	5.0	4.9	4.8	4.9	4.7	4.9	5.1
35 市民協働による地域づくり	4.9	4.7	5.1	4.9	4.9	5.0	4.8	5.0	4.9
36 交差点の改良など交通安全対策	4.7	4.4	4.9	4.3	4.7	4.4	4.3	5.0	5.0
37 情報公開など行政の透明性の確保	4.3	4.7	5.0	4.3	4.6	4.4	4.4	4.6	4.8
38 分かりやすくきめ細かな市政情報の提供	4.6	4.5	4.7	△ 4.0	4.6	4.4	4.4	4.8	5.1
39 市政を総合的に見た満足度	5.0	4.8	5.1	4.4	5.1	4.9	4.6	5.1	5.2

【行政区別】

◎=6点以上 △=4点以下

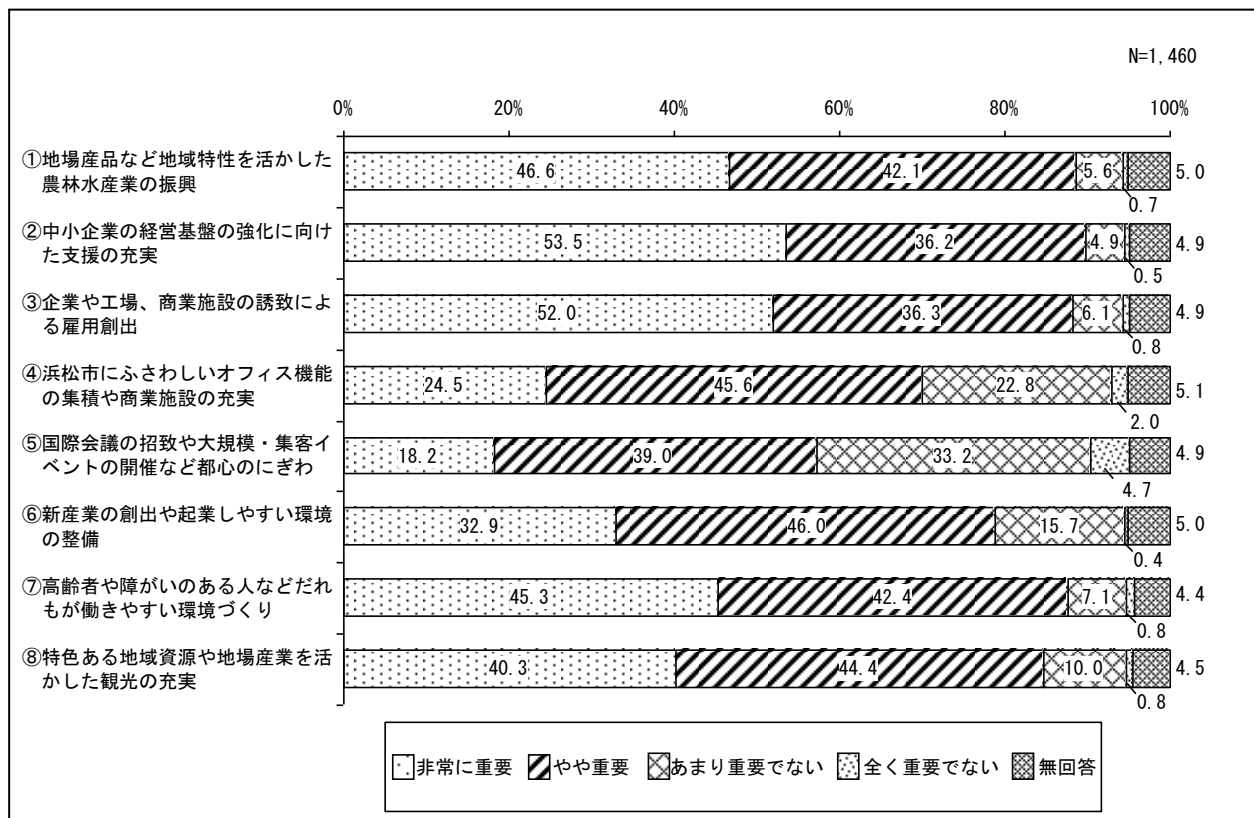
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区
1 住んでいる地域の住みやすさ	◎ 6.8	◎ 7.0	◎ 6.6	◎ 6.7	◎ 6.5	◎ 6.8	5.5
2 文化にふれ、活動できる環境	5.7	5.5	5.3	5.6	5.1	5.6	4.6
3 音楽のまちづくりをはじめとする文化事業の取り組み	5.8	5.8	5.7	◎ 6.1	5.5	5.5	5.2
4 スポーツに親しみやすい環境	5.5	5.6	5.6	5.5	5.6	◎ 6.0	4.8
5 子どもを健やかにはぐくむ地域の環境	5.5	5.6	5.6	5.6	5.7	5.7	5.5
6 子どもの個性をはぐくむきめ細かな学校教育	5.4	5.1	5.0	5.1	5.4	5.2	5.5
7 公民館、図書館などの生涯学習環境	◎ 6.1	◎ 6.2	◎ 6.1	◎ 6.1	5.8	◎ 6.1	5.5
8 男女がともにあらゆる分野に参画する男女共同参画社会づくり	5.2	5.2	5.1	5.3	5.1	5.2	4.9
9 人権を尊重したまちづくり(人権啓発の取り組み)	5.0	5.2	5.2	5.2	5.1	5.2	4.8
10 魅力ある雇用機会の確保	4.1	△ 3.8	△ 3.8	△ 3.8	△ 4.0	△ 3.8	△ 3.1
11 JR浜松駅周辺の魅力とにぎわい	△ 3.1	△ 2.7	△ 3.1	△ 3.0	△ 3.4	△ 3.6	△ 3.9
12 浜名湖をはじめとする観光資源の整備、活用	4.3	4.7	4.3	4.5	4.6	5.0	4.6
13 外国人市民との相互理解や交流を深める共生社会づくり	4.7	4.9	4.7	4.6	5.0	4.7	4.8
14 施設予約や地域情報の提供などインターネットを活用した市民サービス	5.1	5.3	5.2	5.1	5.2	5.0	4.9
15 鉄道やバスなどの公共交通機関の利便性	4.9	4.6	4.6	4.9	4.2	5.0	△ 3.1
16 身近な生活道路の管理状況や使いやすさ	5.0	4.7	5.2	5.1	4.8	5.0	△ 3.8
17 快適に移動しやすい道路網の整備	5.0	4.6	5.2	5.0	4.9	4.8	△ 3.9
18 休日、夜間などの救急医療体制	◎ 6.1	5.9	5.9	◎ 6.0	5.6	5.4	4.8
19 身近な地域における適切な医療サービスの提供	◎ 6.3	◎ 6.2	5.7	5.9	5.8	5.8	4.9
20 予防接種や健康相談など市民の健康づくり	◎ 6.3	◎ 6.4	◎ 6.1	◎ 6.2	◎ 6.2	◎ 6.3	5.6
21 高齢者にとっての暮らしやすさ	4.8	4.8	4.9	4.9	4.8	5.1	△ 3.9
22 障がいのある人にとっての暮らしやすさ	4.5	4.4	4.7	4.6	4.6	4.7	△ 3.9
23 子育てがしやすく楽しい環境	5.1	5.1	5.0	5.1	5.1	4.9	4.8
24 ごみ分別による、ごみ減量および資源化対策	5.6	5.8	5.6	5.5	5.7	5.4	5.6
25 湖沼や河川、海岸、森林などの自然環境に配慮した取り組み	5.2	5.3	5.0	5.0	5.3	5.3	4.7
26 環境教育、環境学習などの取り組み	5.1	5.2	5.1	5.1	5.1	5.1	5.0
27 地球温暖化対策に取り組む体制や情報の充実	4.8	4.9	4.7	4.8	4.9	4.9	4.7
28 緑豊かで花があふれる快適で美しいまちづくり	5.8	5.6	5.9	5.5	5.9	◎ 6.0	5.5
29 生活しやすい居住空間の整備と宅地や住宅の供給	5.1	5.0	5.0	5.0	5.1	5.2	4.7
30 地震・津波・火災などに対する防災体制の充実	4.4	△ 4.0	△ 3.7	△ 3.5	4.4	4.5	4.3
31 水害や土砂災害の防止に向けた河川・排水路などの整備	4.6	4.4	△ 4.0	4.1	4.6	4.6	△ 4.0
32 ユニバーサルデザインによるまちづくり	4.7	4.9	5.0	4.9	4.7	4.8	4.8
33 浜松の魅力(技術や文化、自然環境など)の国内外への発信	4.6	4.8	4.5	5.0	4.9	4.8	4.9
34 世界の人々との活発な市民交流	4.9	4.9	4.6	5.0	5.1	4.7	4.9
35 市民協働による地域づくり	4.8	4.9	4.8	5.1	5.0	5.0	4.7
36 交差点の改良など交通安全対策	4.7	4.5	4.7	4.8	4.7	4.5	4.6
37 情報公開など行政の透明性の確保	4.6	4.4	4.5	4.7	4.5	4.5	4.4
38 分かりやすくきめ細かな市政情報の提供	4.5	4.7	4.6	4.8	4.6	4.6	4.5
39 市政を総合的に見た満足度	5.0	5.2	5.0	5.1	5.0	5.0	4.4



## 10 市政への要望について

問 30 あなたは、浜松市が積極的・重点的に取り組んでいくべき具体的な施策として、以下の各項目についてどの程度重要だと思いますか。各項目について重要度を1～4のうちからそれぞれ1つだけ選んで○をつけてください。

### (1) 産業・経済分野に対する取り組み



「非常に重要」と「やや重要」を合わせた『重要』の回答が8割以上だったのは、以下の5項目となっている。

②中小企業の経営基盤の強化に向けた支援の充実	89.7%
①地場産品など地域特性を活かした農林水産業の振興	88.7%
③企業や工場、商業施設の誘致による雇用創出	88.3%
⑦高齢者や障がいのある人などだれでもが働きやすい環境づくり	87.7%
⑧特色ある地域資源や地場産業を活かした観光の充実	84.7%

また、下表は「非常に重要」を10点、「やや重要」を6.6点、「あまり重要でない」を3.3点、「全く重要でない」を0点と点数を付けて集計したものである。この数値は、10点に近いほど重要度が高くなる指数である。

【性別】【年代別】

◎=8点以上

		全体	男性	女性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
1	地場産品など地域特性を活かした農林水産業の振興	◎ 8.0	◎ 8.0	◎ 8.1	7.5	7.9	7.9	◎ 8.0	◎ 8.2	◎ 8.3
2	中小企業の経営基盤の強化に向けた支援の充実	◎ 8.3	◎ 8.3	◎ 8.3	◎ 8.0	◎ 8.2	◎ 8.4	◎ 8.3	◎ 8.3	◎ 8.4
3	企業や工場、商業施設の誘致による雇用創出	◎ 8.2	◎ 8.2	◎ 8.2	7.5	◎ 8.3	◎ 8.1	◎ 8.2	◎ 8.3	◎ 8.3
4	浜松市にふさわしいオフィス機能の集積や商業施設の充実	6.5	6.5	6.6	6.1	6.6	6.1	6.5	6.7	7.1
5	国際会議の招致や大規模・集客イベントの開催など都心のにぎわい創出	5.8	5.6	5.9	5.5	5.7	5.3	5.7	5.9	6.5
6	新産業の創出や起業しやすい環境の整備	7.2	7.6	6.9	6.6	7.0	7.0	7.0	7.5	7.7
7	高齢者や障がいのある人などだれもが働きやすい環境づくり	7.9	7.7	◎ 8.1	7.5	7.8	◎ 8.1	7.8	◎ 8.1	7.9
8	特色ある地域資源や地場産業を活かした観光の充実	7.6	7.5	7.7	7.5	7.8	7.6	7.6	7.7	7.5

【行政区別】

◎=8点以上

		中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区
1	地場産品など地域特性を活かした農林水産業の振興	◎ 8.0	◎ 8.0	7.8	7.8	◎ 8.0	◎ 8.1	◎ 8.7
2	中小企業の経営基盤の強化に向けた支援の充実	◎ 8.2	◎ 8.4	◎ 8.1	◎ 8.3	◎ 8.2	◎ 8.4	◎ 8.6
3	企業や工場、商業施設の誘致による雇用創出	◎ 8.0	◎ 8.3	◎ 8.0	◎ 8.4	◎ 8.1	◎ 8.2	◎ 8.5
4	浜松市にふさわしいオフィス機能の集積や商業施設の充実	6.9	6.7	6.4	6.7	6.3	6.5	6.4
5	国際会議の招致や大規模・集客イベントの開催など都心のにぎわい創出	6.1	6.1	5.6	5.9	5.3	5.9	5.4
6	新産業の創出や起業しやすい環境の整備	7.2	7.0	7.0	7.4	7.3	7.2	7.4
7	高齢者や障がいのある人などだれもが働きやすい環境づくり	7.7	◎ 8.1	7.5	◎ 8.1	◎ 8.0	7.7	◎ 8.2
8	特色ある地域資源や地場産業を活かした観光の充実	7.3	7.7	7.5	7.8	7.8	7.4	◎ 8.0

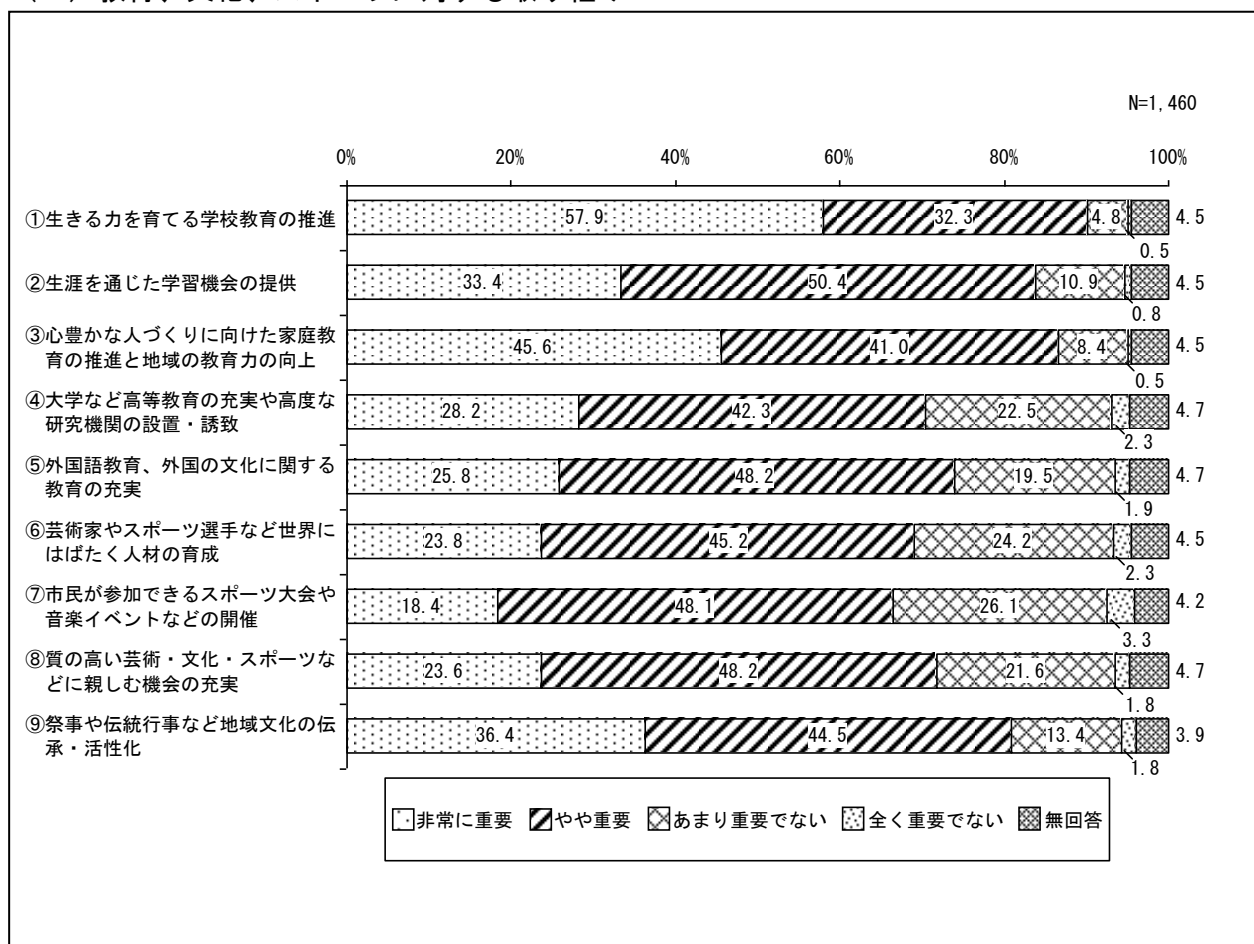
性別で見ると、男女とも「1 地場産品など地域特性を活かした農林水産業の振興」、「2 中小企業の経営基盤の強化に向けた支援の充実」、「3 企業や工場、商業施設の誘致による雇用創出」が8点以上で重要度が高い。さらに、女性では「7 高齢者や障がいのある人などだれもが働きやすい環境づくり」も重要度が高く、関心の高さがうかがわれる。

年代別で見ると、「2 中小企業の経営基盤の強化に向けた支援の充実」が全ての年代で8点以上になっており重要度が高い。次いで、「3 企業や工場、商業施設の誘致による雇用創出」が高くなっている。

行政区別で見ると、「2 中小企業の経営基盤の強化に向けた支援の充実」と「3 企業や工場、商業施設の誘致による雇用創出」が全ての区で重要度が高い。「1 地場産品など地域特性を活かした農林水産業の振興」は中区、東区、北区、浜北区、天竜区で高い結果となった。

また、天竜区では「8 特色ある地域資源や地場産業を活かした観光の充実」も高くなっている。

## (2) 教育、文化、スポーツに対する取り組み



「非常に重要」と「やや重要」と合わせた『重要』の回答が8割以上だったのは、以下の4項目となっている。

- |                                |       |
|--------------------------------|-------|
| ①生きる力を育てる学校教育の推進               | 90.2% |
| ③心豊かな人づくりに向けた家庭教育の推進と地域の教育力の向上 | 86.6% |
| ②生涯を通じた学習機会の提供                 | 83.8% |
| ⑨祭事や伝統行事など地域文化の伝承・活性化          | 80.9% |

また、下表は「非常に重要」を10点、「やや重要」を6.6点、「あまり重要でない」を3.3点、「全く重要でない」を0点と点数を付けて集計したものである。この数値は、10点に近いほど重要度が高くなる指数である。

【性別】【年代別】

◎=8点以上

	全体	男性	女性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
1 生きる力を育てる学校教育の推進	◎ 8.5	◎ 8.3	◎ 8.7	◎ 8.1	◎ 8.4	◎ 8.3	◎ 8.3	◎ 8.6	◎ 8.9
2 生涯を通じた学習機会の提供	7.4	7.2	7.5	7.4	7.4	7.4	7.1	7.4	7.5
3 心豊かな人づくりに向けた家庭教育の推進と地域の教育力の向上	7.9	7.7	◎ 8.1	7.5	7.9	7.8	7.8	◎ 8.0	◎ 8.1
4 大学など高等教育の充実や高度な研究機関の設置・誘致	6.7	6.7	6.7	6.6	6.6	6.3	6.5	6.7	7.4
5 外国語教育、外国の文化に関する教育の充実	6.7	6.6	6.8	6.8	6.9	6.5	6.4	6.7	7.0
6 芸術家やスポーツ選手など世界にはばたく人材の育成	6.5	6.4	6.5	6.7	6.6	6.3	6.3	6.2	6.9
7 市民が参加できるスポーツ大会や音楽イベントなどの開催	6.1	6.1	6.2	6.0	6.3	5.9	5.9	6.1	6.6
8 質の高い芸術・文化・スポーツなどに親しむ機会の充実	6.6	6.5	6.6	6.4	6.7	6.6	6.4	6.5	6.7
9 祭事や伝統行事など地域文化の伝承・活性化	7.3	7.2	7.4	7.3	7.5	7.3	7.2	7.2	7.3

【行政区別】

◎=8点以上

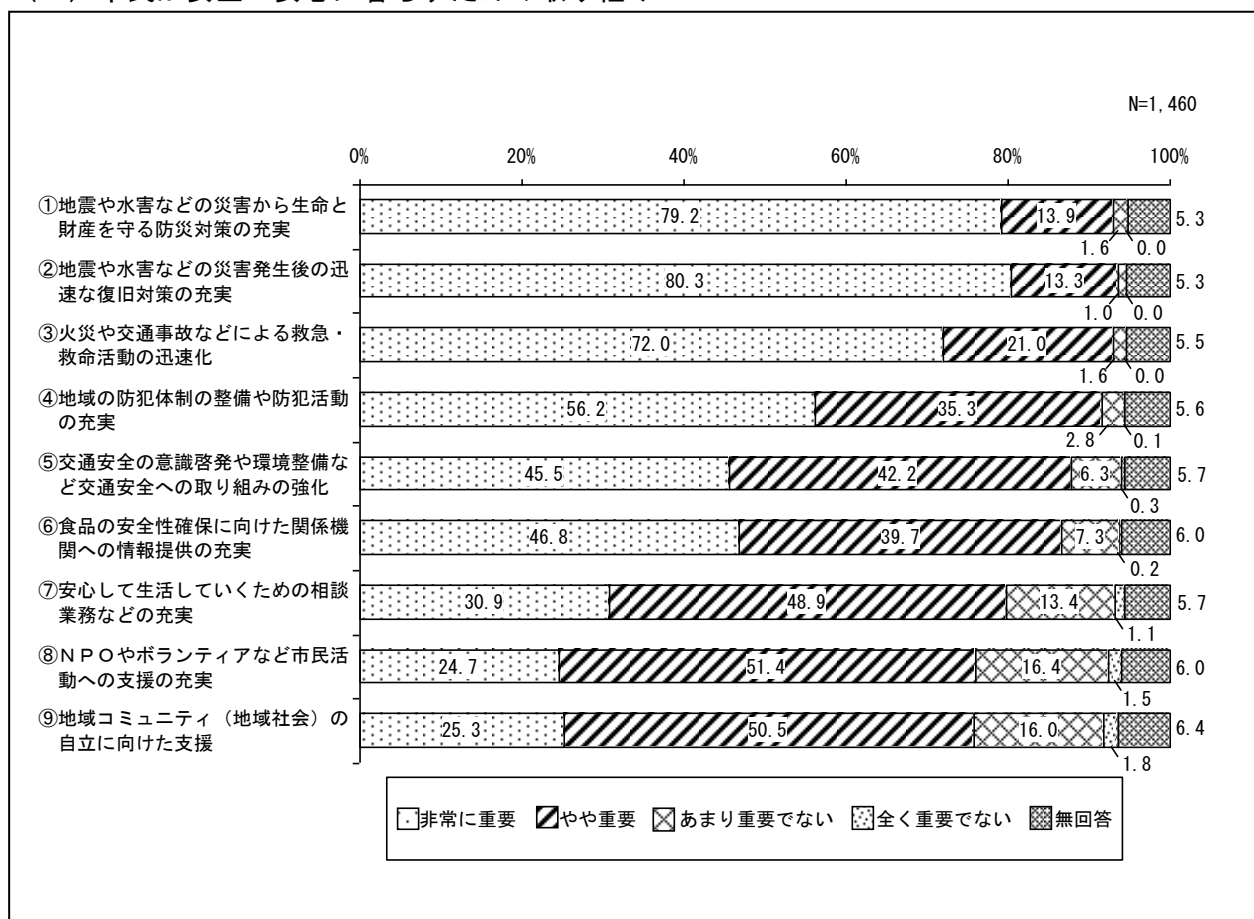
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区
1 生きる力を育てる学校教育の推進	◎ 8.4	◎ 8.4	◎ 8.2	◎ 8.5	◎ 8.6	◎ 8.4	◎ 8.9
2 生涯を通じた学習機会の提供	7.4	7.4	7.2	7.3	7.3	7.5	7.6
3 心豊かな人づくりに向けた家庭教育の推進と地域の教育力の向上	7.7	◎ 8.0	7.5	◎ 8.0	◎ 8.0	7.8	◎ 8.4
4 大学など高等教育の充実や高度な研究機関の設置・誘致	6.9	6.7	6.8	6.5	6.7	6.5	6.7
5 外国語教育、外国の文化に関する教育の充実	6.7	6.9	6.4	6.5	6.8	7.0	6.8
6 芸術家やスポーツ選手など世界にはばたく人材の育成	6.6	6.5	6.4	6.3	6.5	6.3	6.5
7 市民が参加できるスポーツ大会や音楽イベントなどの開催	6.3	6.4	6.0	6.2	5.8	6.0	6.1
8 質の高い芸術・文化・スポーツなどに親しむ機会の充実	6.7	6.6	6.5	6.6	6.5	6.6	6.4
9 祭事や伝統行事など地域文化の伝承・活性化	7.3	7.2	7.3	7.4	7.1	7.3	7.6

性別で見ると、男女とも「1 生きる力を育てる学校教育の推進」の重要度が高い。さらに、女性では「3 心豊かな人づくりに向けた家庭教育の推進と地域の教育力の向上」も高くなっており、関心の高さがうかがわれる。

年代別で見ると、すべての年代で「1 生きる力を育てる学校教育の推進」の重要度が高い。

行政区別で見ると、すべての区で「1 生きる力を育てる学校教育の推進」の重要度が高く、さらに、東区、南区、北区、天竜区では「3 心豊かな人づくりに向けた家庭教育の推進と地域の教育力の向上」も重要度が高い。

### (3) 市民が安全・安心に暮らすための取り組み



「非常に重要」と「やや重要」を合わせた『重要』の回答が8割以上だったのは、以下の6項目となっている。

②地震や水害などの災害発生後の迅速な復旧対策の充実	93.6%
①地震や水害などの災害から生命と財産を守る防災対策の充実	93.1%
③火災や交通事故などによる救急・救命活動の迅速化	93.0%
④地域の防犯体制の整備や防犯活動の充実	91.5%
⑤交通安全の意識啓発や環境整備など交通安全への取り組みの強化	87.7%
⑥食品の安全性確保に向けた関係機関への情報提供の充実	86.5%

また、下表は「非常に重要」を10点、「やや重要」を6.6点、「あまり重要でない」を3.3点、「全く重要でない」を0点と点数を付けて集計したものである。この数値は、10点に近いほど重要度が高くなる指数である。

【性別】【年代別】

◎=8点以上

		全体	男性	女性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
1	地震や水害などの災害から生命と財産を守る防災対策の充実	◎ 9.4	◎ 9.2	◎ 9.5	◎ 9.1	◎ 9.4	◎ 9.4	◎ 9.4	◎ 9.4	◎ 9.4
2	地震や水害などの災害発生後の迅速な復旧対策の充実	◎ 9.5	◎ 9.3	◎ 9.6	◎ 9.3	◎ 9.5	◎ 9.5	◎ 9.3	◎ 9.5	◎ 9.5
3	火災や交通事故などによる救急・救命活動の迅速化	◎ 9.1	◎ 9.0	◎ 9.3	◎ 8.8	◎ 9.3	◎ 9.1	◎ 9.0	◎ 9.2	◎ 9.3
4	地域の防犯体制の整備や防犯活動の充実	◎ 8.5	◎ 8.4	◎ 8.6	◎ 8.4	◎ 8.8	◎ 8.5	◎ 8.5	◎ 8.4	◎ 8.6
5	交通安全の意識啓発や環境整備など交通安全への取り組みの強化	◎ 8.0	7.8	◎ 8.2	7.9	◎ 8.0	◎ 8.1	7.8	7.9	◎ 8.4
6	食品の安全性確保に向けた関係機関への情報提供の充実	◎ 8.0	7.7	◎ 8.3	7.9	◎ 8.0	7.9	7.9	◎ 8.0	◎ 8.3
7	安心して生活していくための相談業務などの充実	7.2	6.9	7.4	7.1	7.3	7.0	7.0	7.1	7.6
8	NPOやボランティアなど市民活動への支援の充実	6.8	6.5	7.1	6.3	6.8	6.5	6.8	6.8	7.3
		6.8	6.6	7.0	6.4	6.7	6.4	6.9	7.0	7.3

【行政区別】

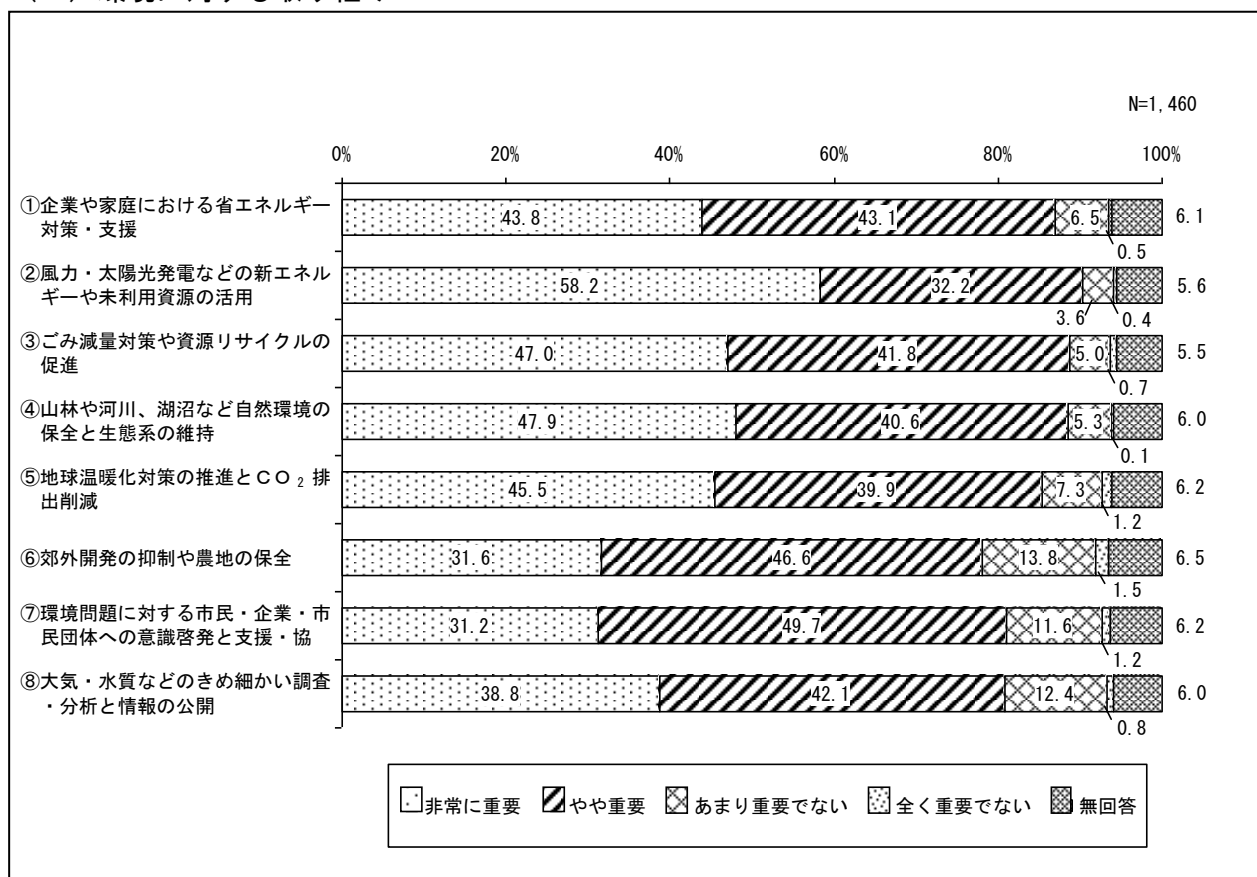
◎=8点以上

		中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区
1	地震や水害などの災害から生命と財産を守る防災対策の充実	◎ 9.2	◎ 9.5	◎ 9.4	◎ 9.5	◎ 9.4	◎ 9.2	◎ 9.5
2	地震や水害などの災害発生後の迅速な復旧対策の充実	◎ 9.3	◎ 9.5	◎ 9.4	◎ 9.5	◎ 9.5	◎ 9.4	◎ 9.6
3	火災や交通事故などによる救急・救命活動の迅速化	◎ 9.0	◎ 9.1	◎ 9.1	◎ 9.1	◎ 9.2	◎ 9.1	◎ 9.4
4	地域の防犯体制の整備や防犯活動の充実	◎ 8.6	◎ 8.4	◎ 8.6	◎ 8.6	◎ 8.5	◎ 8.4	◎ 8.5
5	交通安全の意識啓発や環境整備など交通安全への取り組みの強化	7.9	7.9	7.9	7.9	◎ 8.0	◎ 8.2	◎ 8.2
6	食品の安全性確保に向けた関係機関への情報提供の充実	7.9	◎ 8.1	7.9	7.9	◎ 8.2	◎ 8.0	◎ 8.3
7	安心して生活していくための相談業務などの充実	7.1	7.0	7.2	7.2	7.3	7.2	7.2
8	NPOやボランティアなど市民活動への支援の充実	6.8	6.7	6.6	6.9	7.0	6.9	6.9
		6.6	6.9	6.6	6.7	7.1	6.8	7.2

性別、年代別とも、「1 地震や水害などの災害から生命と財産を守る防災対策の充実」、「2 地震や水害などの災害発生後の迅速な復旧対策の充実」、「3 火災や交通事故などによる救急・救命活動の迅速化」、「4 地域の防犯体制の整備や防犯活動の充実」の重要度が高く、中には9点以上の高い数値結果の項目もあり、市民の防災や防犯への関心の高さがうかがわれる。

行政区別でも全ての区において、「1 地震や水害などの災害から生命と財産を守る防災対策の充実」、「2 地震や水害などの災害発生後の迅速な復旧対策の充実」、「3 火災や交通事故などによる救急・救命活動の迅速化」、「4 地域の防犯体制の整備や防犯活動の充実」の重要度が高く、北区、浜北区、天竜区では「5 交通安全の意識啓発や環境整備など交通安全への取り組みの強化」と「6 食品の安全性確保に向けた関係機関への情報提供の充実」も重要度が高くなっている。

#### (4) 環境に対する取り組み



「非常に重要」と「やや重要」を合わせた『重要』の回答が8割以上だったのは、以下の7項目となっている。

②風力・太陽光発電などの新エネルギーや未利用資源の活用	90.4%
③ごみ減量対策や資源リサイクルの促進	88.8%
④山林や河川、湖沼など自然環境の保全と生態系の維持	88.5%
①企業や家庭における省エネルギー対策・支援	86.9%
⑤地球温暖化対策の推進とCO <sub>2</sub> 排出削減	85.4%
⑦環境問題に対する市民・企業・市民団体への意識啓発と支援・協力	80.9%
⑧大気・水質などのきめ細かい調査・分析と情報の公開	80.9%

また、下表は「非常に重要」を10点、「やや重要」を6.6点、「あまり重要でない」を3.3点、「全く重要でない」を0点と点数を付けて集計したものである。この数値は、10点に近いほど重要度が高くなる指数である。

【性別】【年代別】

◎=8点以上

		全体	男性	女性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
1	企業や家庭における省エネルギー対策・支援	7.9	7.7	◎ 8.2	7.5	◎ 8.1	◎ 8.2	7.8	7.9	7.9
2	風力・太陽光発電などの新エネルギーや未利用資源の活用	◎ 8.5	◎ 8.3	◎ 8.7	◎ 8.2	◎ 8.6	◎ 8.7	◎ 8.3	◎ 8.7	◎ 8.5
3	ごみ減量対策や資源リサイクルの促進	◎ 8.1	7.8	◎ 8.3	7.7	7.9	7.9	7.8	◎ 8.3	◎ 8.4
4	山林や河川、湖沼など自然環境の保全と生態系の維持	◎ 8.1	◎ 8.0	◎ 8.3	◎ 8.1	◎ 8.3	◎ 8.0	◎ 8.2	◎ 8.1	◎ 8.2
5	地球温暖化対策の推進とCO <sup>2</sup> 排出削減	7.9	7.6	◎ 8.2	7.8	7.7	7.7	7.7	◎ 8.1	◎ 8.3
6	郊外開発の抑制や農地の保全	7.2	6.8	7.5	7.2	7.1	7.0	7.0	7.2	7.5
7	環境問題に対する市民・企業・市民団体への意識啓発と支援・協力	7.2	7.1	7.4	7.2	7.0	7.0	7.2	7.3	7.7
8	大気・水質などのきめ細かい調査・分析と情報の公開	7.5	7.3	7.7	7.0	7.4	7.2	7.4	7.6	◎ 8.1

【行政区別】

◎=8点以上

		中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区
1	企業や家庭における省エネルギー対策・支援	7.7	◎ 8.0	7.8	7.8	◎ 8.1	7.8	◎ 8.3
2	風力・太陽光発電などの新エネルギーや未利用資源の活用	◎ 8.4	◎ 8.7	◎ 8.4	◎ 8.4	◎ 8.7	◎ 8.6	◎ 8.9
3	ごみ減量対策や資源リサイクルの促進	7.8	◎ 8.0	7.9	◎ 8.1	◎ 8.4	◎ 8.2	◎ 8.3
4	山林や河川、湖沼など自然環境の保全と生態系の維持	◎ 8.0	◎ 8.0	◎ 8.1	◎ 8.1	◎ 8.4	◎ 8.1	◎ 8.5
5	地球温暖化対策の推進とCO <sup>2</sup> 排出削減	7.5	◎ 8.0	7.7	◎ 8.0	◎ 8.3	7.9	◎ 8.2
6	郊外開発の抑制や農地の保全	6.9	7.1	6.8	7.3	7.2	7.3	7.7
7	環境問題に対する市民・企業・市民団体への意識啓発と支援・協力	7.2	7.3	7.0	7.0	7.5	7.6	7.4
8	大気・水質などのきめ細かい調査・分析と情報の公開	7.3	7.6	7.2	7.5	7.5	7.8	7.8

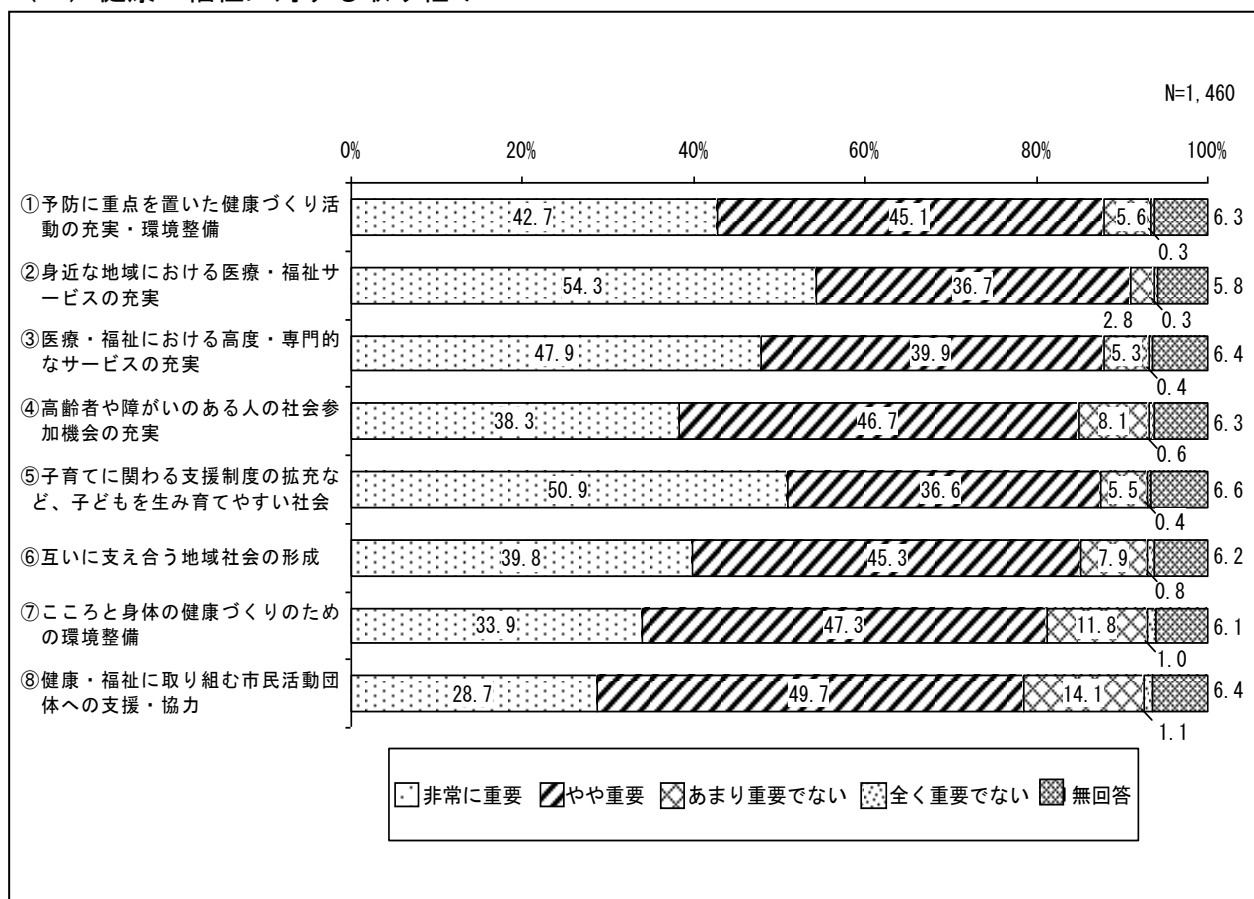
性別、年代別とも、「2 風力・太陽光発電などの新エネルギーや未利用資源の活用」、「4 山林や河川、湖沼など自然環境の保全と生態系の維持」の重要度が高い。

行政区別でも、「2 風力・太陽光発電などの新エネルギーや未利用資源の活用」、「4 山林や河川、湖沼など自然環境の保全と生態系の維持」が全ての区で重要度が高くなっている。

それらに加えて、東区、南区、北区、浜北区、天竜区では「3 ごみ減量対策や資源リサイクルの促進」も重要度が高くなっている。



(5) 健康・福祉に対する取り組み



「非常に重要」と「やや重要」を合わせた『重要』の回答が8割以上だったのは、以下の7項目となっている。

- |                                     |       |
|-------------------------------------|-------|
| ② 身近な地域における医療・福祉サービスの充実             | 91.0% |
| ① 予防に重点を置いた健康づくり活動の充実・環境整備          | 87.8% |
| ③ 医療・福祉における高度・専門的なサービスの充実           | 87.8% |
| ⑤ 子育てに関わる支援制度の拡充など、子どもを産み育てやすい社会の形成 | 87.5% |
| ⑥ 互いに支え合う地域社会の形成                    | 85.1% |
| ④ 高齢者や障がいのある人の社会参加機会の充実             | 85.0% |
| ⑦ ところと身体健康づくりのための環境整備               | 81.2% |

また、下表は「非常に重要」を10点、「やや重要」を6.6点、「あまり重要でない」を3.3点、「全く重要でない」を0点と点数を付けて集計したものである。この数値は、10点に近いほど重要度が高くなる指数である。

【性別】【年代別】

◎=8点以上

	全体	男性	女性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
1 予防に重点を置いた健康づくり活動の充実・環境整備	7.9	7.8	◎ 8.0	7.7	7.8	7.9	7.7	7.9	◎ 8.5
2 身近な地域における医療・福祉サービスの充実	◎ 8.4	◎ 8.2	◎ 8.7	◎ 8.4	◎ 8.4	◎ 8.4	◎ 8.3	◎ 8.4	◎ 8.7
3 医療・福祉における高度・専門的なサービスの充実	◎ 8.1	◎ 8.0	◎ 8.3	◎ 8.1	◎ 8.2	◎ 8.1	7.9	◎ 8.0	◎ 8.5
4 高齢者や障がいのある人の社会参加機会の充実	7.7	7.6	7.8	7.7	7.7	7.7	7.7	7.6	7.6
5 子育てに関わる支援制度の拡充など、子どもを産み育てやすい社会の形成	◎ 8.2	7.9	◎ 8.5	◎ 8.4	◎ 8.5	◎ 8.1	7.9	◎ 8.2	◎ 8.4
6 互いに支え合う地域社会の形成	7.7	7.5	7.9	7.7	7.6	7.6	7.5	7.7	◎ 8.2
7 こころと身体の健康づくりのための環境整備	7.3	7.1	7.5	7.5	7.2	7.1	7.2	7.3	7.9
8 健康・福祉に取り組む市民活動団体への支援・協力	7.1	6.9	7.2	7.0	7.2	6.9	7.0	7.0	7.4

【行政区別】

◎=8点以上

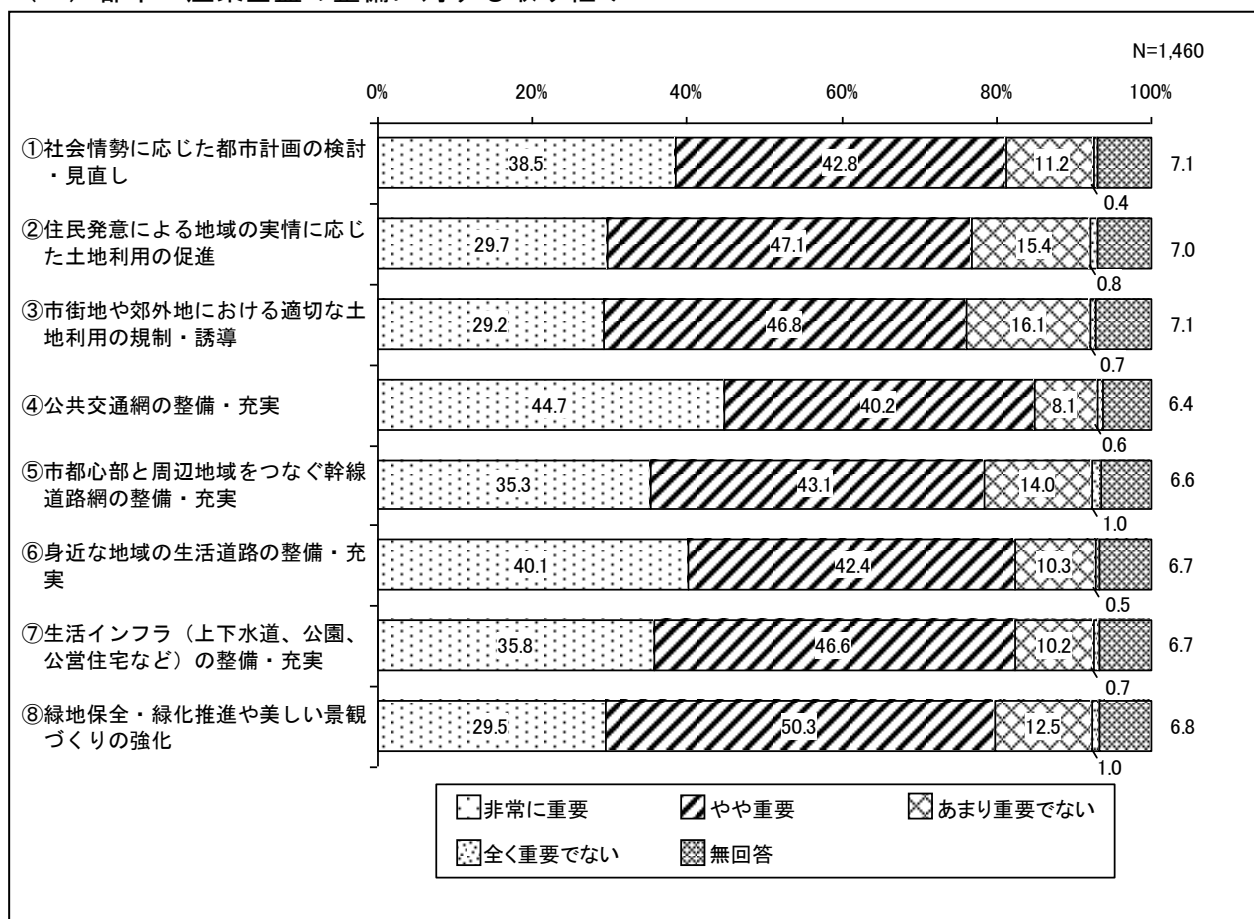
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区
1 予防に重点を置いた健康づくり活動の充実・環境整備	7.9	7.9	7.7	7.9	◎ 8.1	7.7	◎ 8.5
2 身近な地域における医療・福祉サービスの充実	◎ 8.2	◎ 8.4	◎ 8.2	◎ 8.5	◎ 8.6	◎ 8.2	◎ 9.0
3 医療・福祉における高度・専門的なサービスの充実	◎ 8.0	◎ 8.1	◎ 8.0	◎ 8.3	◎ 8.2	7.9	◎ 8.6
4 高齢者や障がいのある人の社会参加機会の充実	7.4	7.8	7.5	7.7	7.8	7.6	7.9
5 子育てに関わる支援制度の拡充など、子どもを産み育てやすい社会の形成	◎ 8.0	◎ 8.2	◎ 8.2	◎ 8.3	◎ 8.3	◎ 8.1	◎ 8.7
6 互いに支え合う地域社会の形成	7.5	7.6	7.7	7.8	7.9	7.4	◎ 8.3
7 こころと身体の健康づくりのための環境整備	7.2	7.3	7.4	7.1	7.5	7.1	7.8
8 健康・福祉に取り組む市民活動団体への支援・協力	7.0	7.0	7.0	7.0	7.3	6.9	7.5

性別でみると、「2 身近な地域における医療・福祉サービスの充実」、「3 医療・福祉における高度・専門的なサービスの充実」が男女とも重要度が高い。さらに、女性では「1 予防に重点を置いた健康づくり活動の充実・環境整備」と「5 子育てに関わる支援制度の拡充など、子どもを産み育てやすい社会の形成」も重要度が高くなっている。

年代別でも、「2 身近な地域における医療・福祉サービスの充実」が全ての年代において重要度が高い。

行政区別でみると、「2 身近な地域における医療・福祉サービスの充実」、「5 子育てに関わる支援制度の拡充など、子どもを産み育てやすい社会の形成」が全ての区において重要度が高い。次いで、「3 医療・福祉サービスの充実」が高くなっている。天竜区では、加えて「1 予防に重点を置いた健康づくり活動の充実・環境整備」と「6 互いに支え合う地域社会の形成」の重要度が高く、健康・福祉に対する自助・共助・公助の関心が高いことがわられる。

(6) 都市・産業基盤の整備に対する取り組み



「非常に重要」と「やや重要」を合わせた『重要』の回答が8割以上だったのは、以下の4項目となっている。

- ④公共交通網の整備・充実 84.9%
- ⑥身近な地域の生活道路の整備・充実 82.5%
- ⑦生活インフラ（上下水道、公園、公営住宅など）の整備・充実 82.4%
- ①社会情勢に応じた都市計画の検討・見直し 81.3%

また、下表は「非常に重要」を10点、「やや重要」を6.6点、「あまり重要でない」を3.3点、「全く重要でない」を0点と点数を付けて集計したものである。この数値は、10点に近いほど重要度が高くなる指数である。

【性別】【年代別】

◎=8点以上

		全体	男性	女性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
1	社会情勢に応じた都市計画の検討・見直し	7.6	7.5	7.6	7.7	7.7	7.3	7.7	7.5	7.7
2	住民発意による地域の実情に応じた土地利用の促進	7.1	7.1	7.1	7.3	7.1	6.7	7.2	7.0	7.2
3	市街地や郊外地における適切な土地利用の規制・誘導	7.1	7.1	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.1	7.1
4	公共交通網の整備・充実	7.9	7.8	◎ 8.0	7.9	7.8	◎ 8.0	7.8	7.7	◎ 8.3
5	市都心部と周辺地域をつなぐ幹線道路網の整備・充実	7.3	7.4	7.3	7.6	7.3	7.2	7.2	7.1	7.9
6	身近な地域の生活道路の整備・充実	7.7	7.7	7.7	7.9	7.6	7.5	7.5	7.6	◎ 8.1
7	生活インフラ(上下水道、公園、公営住宅など)の整備・充実	7.5	7.5	7.5	7.0	7.7	7.4	7.4	7.4	7.9
8	緑地保全・緑化推進や美しい景観づくりの強化	7.2	7.1	7.2	7.1	7.3	7.0	7.1	7.0	7.4

【行政区別】

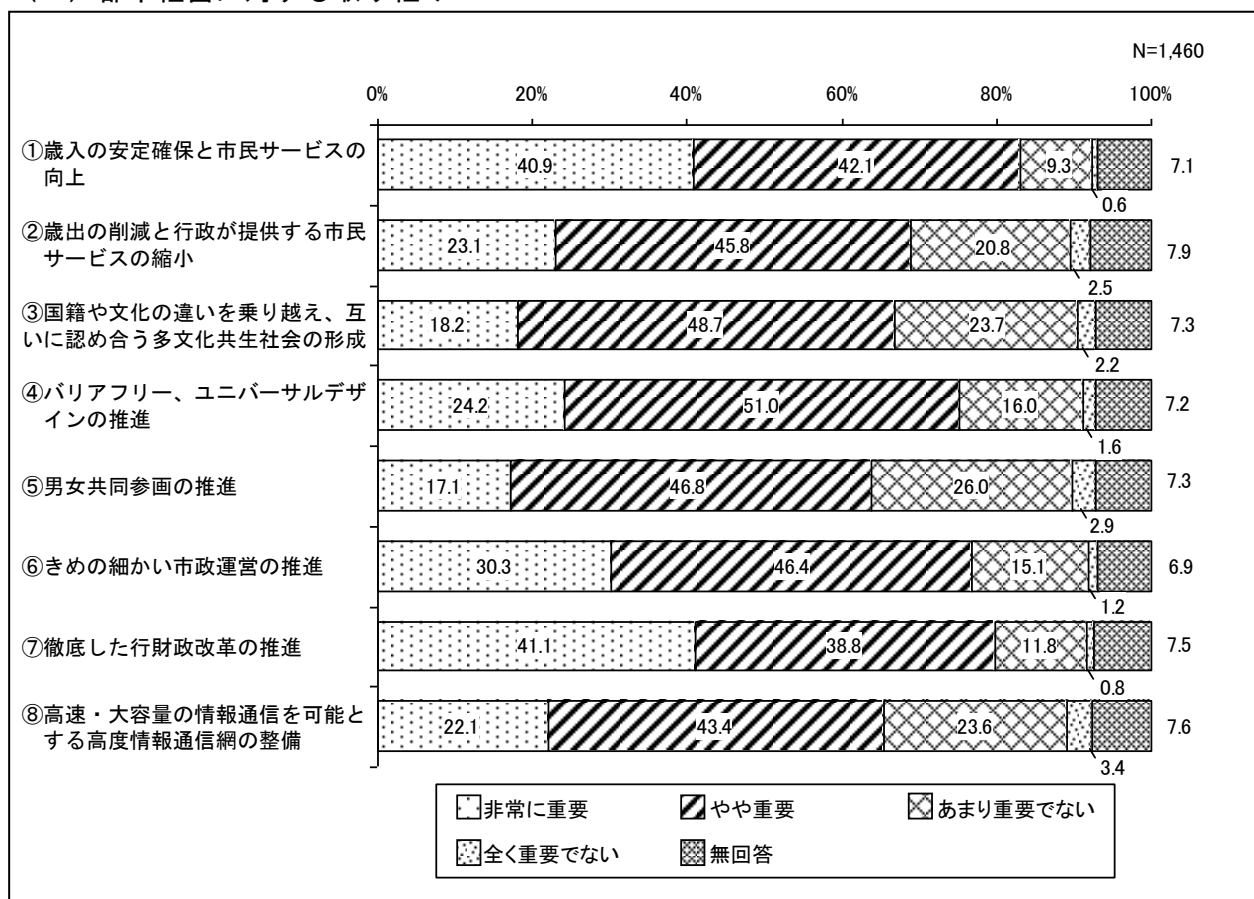
◎=8点以上

		中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区
1	社会情勢に応じた都市計画の検討・見直し	7.6	7.5	7.4	7.8	7.7	7.4	7.6
2	住民発意による地域の実情に応じた土地利用の促進	6.9	6.8	7.0	7.0	7.6	6.8	7.4
3	市街地や郊外地における適切な土地利用の規制・誘導	7.2	6.9	7.0	7.1	7.2	6.8	7.0
4	公共交通網の整備・充実	◎ 8.2	7.8	7.8	7.8	◎ 8.0	7.5	◎ 8.1
5	市都心部と周辺地域をつなぐ幹線道路網の整備・充実	7.4	7.2	7.1	7.6	7.1	7.0	7.9
6	身近な地域の生活道路の整備・充実	7.6	7.6	7.3	7.6	7.4	7.7	◎ 8.5
7	生活インフラ(上下水道、公園、公営住宅など)の整備・充実	7.7	7.5	7.4	7.6	7.3	7.4	7.5
8	緑地保全・緑化推進や美しい景観づくりの強化	7.1	7.0	7.2	7.3	7.3	7.1	7.2

性別、年代別でみると、「4 公共交通網の整備・充実」の重要度が高い。

行政区別でみると、中区、北区、天竜区において「4 公共交通網の整備・充実」の重要度が高く、天竜区では、それに加えて「6 身近な地域の生活道路の整備・充実」の重要度が高くなっている。

(7) 都市経営に対する取り組み



「非常に重要」と「やや重要」を合わせた『重要』の回答が8割以上だったのは、以下の項目となっている。

①歳入の安定確保と市民サービスの向上

83.0%

また、下表は「非常に重要」を10点、「やや重要」を6.6点、「あまり重要でない」を3.3点、「全く重要でない」を0点と点数を付けて集計したものである。この数値は、10点に近いほど重要度が高くなる指数である。

【性別】【年代別】

◎=8点以上

		全体	男性	女性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
1	歳入の安定確保と市民サービスの向上	7.7	7.6	7.8	7.5	7.3	7.6	7.7	7.8	◎ 8.2
2	歳出の削減と行政が提供する市民サービスの縮小	6.5	6.5	6.5	6.1	6.5	6.4	6.6	6.6	6.7
3	国籍や文化の違いを乗り越え、互いに認め合う多文化共生社会の形成	6.3	6.2	6.3	6.6	6.3	6.1	6.0	6.2	6.6
4	バリアフリー、ユニバーサルデザインの推進	6.8	6.6	7.0	7.1	6.9	6.8	6.6	6.7	7.0
5	男女共同参画の推進	6.1	5.9	6.2	6.4	6.1	5.8	5.8	6.0	6.6
6	きめの細かい市政運営の推進	7.1	7.0	7.2	6.7	6.8	6.7	7.0	7.1	7.9
7	徹底した行財政改革の推進	7.6	7.7	7.5	6.8	7.4	7.3	7.6	7.9	◎ 8.1
8	高速・大容量の情報通信を可能とする高度情報通信網の整備	6.3	6.3	6.4	6.7	6.3	5.9	6.3	6.1	6.9

【行政区別】

◎=8点以上

		中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区
1	歳入の安定確保と市民サービスの向上	7.7	7.8	7.7	7.5	7.9	7.2	◎ 8.1
2	歳出の削減と行政が提供する市民サービスの縮小	6.6	6.7	6.3	6.5	6.6	6.4	6.4
3	国籍や文化の違いを乗り越え、互いに認め合う多文化共生社会の形成	6.3	6.0	6.3	6.3	6.6	6.0	6.3
4	バリアフリー、ユニバーサルデザインの推進	7.0	6.8	6.7	6.8	6.9	6.5	6.8
5	男女共同参画の推進	6.0	6.0	6.0	6.4	6.1	5.9	6.3
6	きめの細かい市政運営の推進	6.9	7.0	7.0	7.2	7.2	6.7	7.7
7	徹底した行財政改革の推進	7.3	7.9	7.7	7.9	7.7	7.3	7.6
8	高速・大容量の情報通信を可能とする高度情報通信網の整備	6.3	6.0	6.3	6.5	6.6	6.0	6.7

性別、年代別で見ると、「1 歳入の安定確保と市民サービスの向上」、「7 徹底した行財政改革の推進」が他の項目と比較すると重要度が高く、70歳以上で8点を超えている。

行政区別で見ても、「1 歳入の安定確保と市民サービスの向上」、「7 徹底した行財政改革の推進」が他の項目と比較して重要度が高く、天竜区で「1 歳入の安定確保と市民サービスの向上」が8点を超えている。

## 附録 調査票

---

— あなたの声を市政に生かす —

## 平成23年度 市民アンケート調査 (第38回)

日ごろ、市政の推進につきましては、深いご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます。  
浜松市では、市民の皆さまのお考えを伺うことで市政の充実を図り、市民の皆さまの暮らしが豊かになるように努めていきたいと考えています。

そこで今後のまちづくりの基礎資料とするため、市民アンケート調査を実施させていただきます。この調査を実施するにあたり、市内在住の満20歳以上の皆さまの中から無作為に3,000人の方々を選ばせていただきました。お忙しいところ誠にお手数ですが、調査の趣旨をご理解いただきご回答くださいますようお願いいたします。

なお、調査結果につきましては、広報はままつや浜松市公式ホームページなどで報告させていただきます予定です。

平成23年6月 浜松市長 鈴木 康 友

### <ご回答についてのお願い>

1. 封書のあて名の人が、ご回答くださいますようお願いいたします。
2. ご回答は、各設問に該当する番号を選択肢の中から選んで、○で囲んでください。  
また、「その他」を選んだ方は、その具体的な内容をご記入ください。
3. この調査結果は、上記目的以外に使用することはなく、内容についてご迷惑をお掛けすることはありません。
4. 6月30日(木)までにこの用紙を同封の封筒に入れて、切手をはらずにご投函ください。
5. ご不明な点は、広聴広報課 市民の声グループ ☎(053)457-2023 へお問い合わせください。



## あなたはご存知ですか？

問1 次の項目について、あなたはご存知ですか。  
1～3のうちから1つ選んで○を付けてください。

	名称も内容も 知っている	名称だけは 知っている	知らない
<b>① 浜松市快適で良好な生活環境を確保する条例</b> <b>(通称：市民マナー条例)</b> ※歩きタバコ・ごみのポイ捨て・落書きの禁止や、飼い犬・ねこのふんの適正な処理、身体障害者用駐車場の適正な利用を定めた条例。	1	2	3
<b>② 浜松市川や湖を守る条例</b> ※市内にある天竜川や浜名湖など、美しく豊かな川や湖を次世代に継承するために、市民や事業者が守るべきこと、しなければならないことを定めた条例。	1	2	3
<b>③ 浜松市音・かおり・光環境創造条例</b> ※人に潤いや安らぎを与えてくれる音・かおり・光資源を保全するとともに、自らも人に不快感や嫌悪感を与える騒音、悪臭および光害の防止に取り組み、快適な生活環境創造のための条例。	1	2	3
<b>④ 11月11日は『ひとりひとりにいい声掛けデー』</b> ※浜松市では11月11日を全市統一の「ひとりひとりにいい声掛けデー」として、青少年へのあいさつ・声掛け活動を行っている。	1	2	3
<b>⑤ 浜松市制100周年</b> ※1911年(明治44年)7月1日市制が施行され、今年で100周年を迎える。その節目の年をお祝いするために、さまざまな記念事業を実施している。	1 知っている	/	2 知らない

	実践している	知っているが、 実践していない	知らない
<b>⑥ <sup>いち・いち・いち</sup>1・1・1運動</b> ※市民の健康維持や体力の向上を目指し、また、明るい地域社会を築くため、成人の『1週間に1回以上1スポーツをしよう』という取り組み。	1	2	3
	知っており、すでに活動に参加している	関心がある、または、今後活動に参加したいと思う	知らない、または、活動に参加したいと思わない
<b>⑦ 地区社会福祉協議会</b> ※連合自治会規模の圏域で活動する住民主導の組織。地域住民をはじめ、自治会や民生委員、ボランティア等で構成する身近な地域における福祉活動の啓発及び推進を行う。	1	2	3



## ユニバーサルデザインについて

問7 市では、ユニバーサルデザインの考え方を市政に取り入れています。ユニバーサルデザインとは、身体能力、年齢、国籍、性別などに関係なく、誰もが安全で安心な暮らしができるように環境づくりやまちづくりなどを行っていかこうとする考え方です。あなたは、ご存知でしたか。

(1つだけ○を付けてください)

- |                  |             |
|------------------|-------------|
| 1. 詳しく知っている      | 2. 知っている    |
| 3. 言葉だけは聞いたことがある | 4. まったく知らない |

問8 あなたのお住まいの地域は、歩道整備や交通機関など移動の面や、防災・防犯などの面から安全・安心に暮らすことのできる地域と感じますか。

(1つだけ○を付けてください)

- |        |            |         |          |
|--------|------------|---------|----------|
| 1. 感じる | 2. 部分的に感じる | 3. 感じない | 4. 分からない |
|--------|------------|---------|----------|

問9 あなたは、ユニバーサルデザインのまちづくりのために、どのようなことから取り組むべきだと思いますか。

(あてはまるもの3つまで○を付けてください)

- |                      |                     |
|----------------------|---------------------|
| 1. 思いやりの心を育てる教育の充実   | 2. わかりやすい市政情報の提供    |
| 3. 市民へのPR            | 4. 市職員の意識啓発         |
| 5. 誰もが参加できるイベントなどの開催 | 6. 安全で快適な歩道や自転車道の整備 |
| 7. 利用しやすい公共交通機関の普及   | 8. 地下道より楽な横断歩道の整備   |
| 9. わかりやすい案内表示の整備     | 10. 使いやすい建物や施設の整備   |
| 11. その他(具体的に: _____) |                     |

## 都心のまちづくりについて

問10 浜松市の都心(JR浜松駅周辺)の様子(道路、建物、公園、店舗、人の流れなど)について、5年前と比較してあなたはどのように感じますか。

(1つだけ○を付けてください)

- |           |          |          |
|-----------|----------|----------|
| 1. 変化している | 2. 変化がない | 3. 分からない |
|-----------|----------|----------|

問11 問10で「1. 変化している」とお答えの方に伺います。  
どのような点が変わっていると感じますか

(あてはまるものすべてに○を付けてください)

- |                       |
|-----------------------|
| 1. 道路・公園などの公共施設や公共の建物 |
| 2. 民間の施設や建物           |
| 3. テナント               |
| 4. 企業・事業所             |
| 5. イベント(内容や開催回数)      |
| 6. 人の流れ               |

問 12 問 10 で「2. 変化がない」とお答えの方に伺います。  
どのような点が変わらないと感じますか。

(あてはまるものすべてに○を付けてください)

1. 道路・公園などの公共施設や公共の建物
2. 民間の施設や建物
3. テナント
4. 企業・事業所
5. イベント（内容や開催回数）
6. 人の流れ

問 13 JR 浜松駅を中心とする都心エリアは、浜松城の城下町や、東海道の宿場町として栄えてきた歴史があります。都心において歴史や文化を活かしたまちづくりを進めるためにはどのようなテーマが重要だと思いますか。  
(1つだけ○を付けてください)

1. 浜松城や東海道を中心としたまちづくり
2. アートや音楽を中心としたまちづくり
3. 産業や匠の技術を中心としたまちづくり
4. 花や緑を中心としたまちづくり

## 家庭の情報化について

問 14 あなたのご家庭では、次のような情報通信機器を持っていますか。

(あてはまるものすべてに○を付けてください)

- |                      |                      |
|----------------------|----------------------|
| 1. パソコン              | 2. 携帯電話・PHSなどのモバイル端末 |
| 3. インターネットに接続できるゲーム機 | 4. インターネットに接続できるテレビ  |
| 5. インターネットに接続できる家電   | 6. その他（具体的に：_____）   |

問 15 あなたやあなたのご家族は、過去1年間にインターネット（情報通信機器によるメール送受信およびホームページ利用を含む）を利用したことがありますか。（1つだけ○を付けてください）

1. 少なくとも1人はインターネットを利用したことがある
2. だれもインターネットを利用したことがない

問 16 問 15 で「1. 少なくとも1人はインターネットを利用したことがある」とお答えの方に伺います。  
あなたやあなたのご家族は、どの情報通信機器でインターネットを利用していますか。

(あてはまるものすべてに○を付けてください)

- |                      |                      |
|----------------------|----------------------|
| 1. パソコン              | 2. 携帯電話・PHSなどのモバイル端末 |
| 3. インターネットに接続できるゲーム機 | 4. インターネットに接続できるテレビ  |
| 5. インターネットに接続できる家電   | 6. その他（具体的に：_____）   |

問 17 あなたのご家庭では、地上デジタル放送を視聴されていますか。

(1つだけ○を付けてください)

1. 視聴している
2. 視聴していない

## 広報はままつについて

問 18 「広報はままつ」は全市版と区版を合わせて月 2 回発行していますが、あなたはどの程度読んでいますか。  
(1つだけ○を付けてください)

- |              |                 |
|--------------|-----------------|
| 1. すべてじっくり読む | 2. 関心のあるところだけ読む |
| 3. あまり読まない   | 4. 全く読まない       |

問 19 「広報はままつ」の発行について、あなたの考えをお聞かせください。

(1つだけ○を付けてください)

- |                               |
|-------------------------------|
| 1. 今までどおり、全市版・区版の月 2 回発行してほしい |
| 2. 月 1 回、全市共通の内容でよい           |
| 3. 月 1 回でもよいが、区の内容も載せてほしい     |
| 4. 発行すること自体、必要ない              |
| 5. 分からない                      |

## 地球・自然環境について

問 20 あなたは日常生活において、省エネルギーなど地球温暖化防止の取り組みを行っていますか。

(1つだけ○を付けてください)

- |                |                |
|----------------|----------------|
| 1. 積極的に取り組んでいる | 2. ある程度取り組んでいる |
| 3. あまり取り組んでいない | 4. 全く取り組んでいない  |
| 5. 分からない       |                |

問 21 問 20 で「3. あまり取り組んでいない」「4. 全く取り組んでいない」とお答えの方に伺います。  
あなたが、省エネルギーなど地球温暖化防止の取り組みを行わない理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに○を付けてください)

- |                                       |
|---------------------------------------|
| 1. 日常生活の中で取り組んでも効果がないと思うから            |
| 2. 具体的にどのようなことに取り組めばよいのか分からないから       |
| 3. 自分の取り組みがどれぐらいの成果をあげているか分からないから     |
| 4. 地球温暖化防止に取り組む意識を持ち続けることが難しいから       |
| 5. 省エネルギー型の製品を買おうとすると、他の製品に比べて金額が高いから |
| 6. その他 (具体的に: _____)                  |

問 22 あなたは日常生活において、地球と財布にやさしいエコドライブの取り組みを行っていますか。

(1つだけ○を付けてください)

- |                |                |
|----------------|----------------|
| 1. 積極的に取り組んでいる | 2. ある程度取り組んでいる |
| 3. あまり取り組んでいない | 4. 全く取り組んでいない  |
| 5. 分からない       |                |

※エコドライブとは、やさしい発進を心がけるふんわりアクセルや早めのアクセルオフなどを行う運転方法です。

問 23 「生物多様性」という言葉を、あなたはご存知ですか。(1つだけ○を付けてください)

- |                  |             |
|------------------|-------------|
| 1. 詳しく知っている      | 2. 知っている    |
| 3. 言葉だけは聞いたことがある | 4. まったく知らない |

## 子育て支援について

急速な少子高齢化により、社会全体としての活力低下や社会保障制度の維持などの課題が指摘されています。こうしたなか、少子化の流れを変えようと、市では次世代を担う子どもの成長や子育てを支援する環境づくりを目指し、浜松市に暮らすすべての市民を対象とした施策（＝浜松市次世代育成支援行動計画）をまとめ、平成17年4月から施行しています。また、社会全体で子どもを健全に育成し支えていくための基本理念や、それぞれの役割などを定めた「浜松市子ども育成条例」を平成22年3月に制定しました。

問 24 あなたは、「浜松市子ども育成条例」をご存知ですか。

(1つだけ○を付けてください)

1. 名称も内容も知っている      2. 名称だけは知っている      3. 知らない

問 25 あなたは、「浜松市次世代育成支援行動計画」をご存知ですか。

(1つだけ○を付けてください)

1. 名称も内容も知っている      2. 名称だけは知っている      3. 知らない

問 26 あなたは、「子育て」に対して、現在、どのような関わり方をしていますか。

(1つだけ○を付けてください)

1. 子育て中である  
2. 孫の面倒を見ることがある  
3. 甥、姪の面倒を見ることがある  
4. 近所の子どもの面倒を見ることがある  
5. 子育てサークルに参加している  
6. 子育てに関するボランティアに参加している  
7. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）  
8. 特に関わっていない

問 27 市では、子育て広場やファミリーサポートセンターなど子育てに関するさまざまな支援※を行っています。あなたは、このような支援によって、子育てがしやすくなっていると思いますか。

(1つだけ○を付けてください)

1. 思う      2. 思わない      3. どちらともいえない      4. 分からない

※そのほかの子育て支援としては、なかよし館、育児サークル支援、放課後児童会などの事業を行っています。

問 28 問 27 で「1. 思う」とお答えの方に伺います。

あなたは、子育ては楽しいことだと感じますか。

(1つだけ○を付けてください)

1. 感じる      2. 感じない      3. どちらともいえない      4. 分からない

## 市政の満足度評価について

問 29 あなたは、浜松市がこれまで進めてきた取り組みについて日ごろどのように感じていますか。以下の各項目についてその評価を1～5のうちからそれぞれ1つだけ選び○を付けてください。

項 目	評 価					
	満 足	やや 満足	どちら も満足 しない	やや 不満	不 満	
1	住んでいる地域の住みやすさ	1	2	3	4	5
2	文化にふれ、活動できる環境	1	2	3	4	5
3	音楽のまちづくりをはじめとする文化事業の取り組み	1	2	3	4	5
4	スポーツに親しみやすい環境	1	2	3	4	5
5	子どもを健やかにはぐくむ地域の環境	1	2	3	4	5
6	子どもの個性をはぐくむきめ細かな学校教育	1	2	3	4	5
7	公民館、図書館などの生涯学習環境	1	2	3	4	5
8	男女がともにあらゆる分野に参画する男女共同参画社会づくり	1	2	3	4	5
9	人権を尊重したまちづくり（人権啓発の取り組み）	1	2	3	4	5
10	魅力ある雇用機会の確保	1	2	3	4	5
11	J R浜松駅周辺の魅力とにぎわい	1	2	3	4	5
12	浜名湖をはじめとする観光資源の整備、活用	1	2	3	4	5
13	外国人市民との相互理解や交流を深める共生社会づくり	1	2	3	4	5
14	施設予約や地域情報の提供などインターネットを活用した市民サービス	1	2	3	4	5
15	鉄道やバスなどの公共交通機関の利便性	1	2	3	4	5
16	身近な生活道路の管理状況や使いやすさ	1	2	3	4	5
17	快適に移動しやすい道路網の整備	1	2	3	4	5
18	休日、夜間などの救急医療体制	1	2	3	4	5
19	身近な地域における適切な医療サービスの提供	1	2	3	4	5
20	予防接種や健康相談など市民の健康づくり	1	2	3	4	5
21	高齢者にとっての暮らしやすさ	1	2	3	4	5
22	障がいのある人にとっての暮らしやすさ	1	2	3	4	5
23	子育てがしやすく楽しい環境	1	2	3	4	5
24	ごみ分別による、ごみ減量および資源化対策	1	2	3	4	5
25	湖沼や河川、海岸、森林などの自然環境に配慮した取り組み	1	2	3	4	5
26	環境教育、環境学習などの取り組み	1	2	3	4	5
27	地球温暖化対策に取り組む体制や情報の充実	1	2	3	4	5
28	緑豊かで花があふれる快適で美しいまちづくり	1	2	3	4	5
29	生活しやすい居住空間の整備と宅地や住宅の供給	1	2	3	4	5
30	地震・津波・火災などに対する防災体制の充実	1	2	3	4	5
31	水害や土砂災害の防止に向けた河川・排水路などの整備	1	2	3	4	5
32	ユニバーサルデザインによるまちづくり	1	2	3	4	5
33	浜松の魅力（技術や文化、自然環境など）の国内外への発信	1	2	3	4	5
34	世界の人々との活発な市民交流	1	2	3	4	5
35	市民協働による地域づくり	1	2	3	4	5
36	交差点の改良など交通安全対策	1	2	3	4	5
37	情報公開など行政の透明性の確保	1	2	3	4	5
38	分かりやすくきめ細かな市政情報の提供	1	2	3	4	5
39	市政を総合的に見た満足度	1	2	3	4	5

## 市政への要望について

問 30 あなたは、浜松市が積極的・重点的に取り組んでいくべき具体的な施策として、以下の各項目についてどの程度重要だと思いますか。各項目について重要度を1～4のうちからそれぞれ1つだけ選んで○を付けてください。

浜松市が取り組むべき施策	重 要 度			
	非 常 に 重 要	や や 重 要	あ ま り 重 要 で な い	全 く 重 要 で な い
<b>1. 産業・経済分野に対する取り組み</b>				
① 地場産品など地域特性を活かした農林水産業の振興	1	2	3	4
② 中小企業の経営基盤の強化に向けた支援の充実	1	2	3	4
③ 企業や工場、商業施設の誘致による雇用創出	1	2	3	4
④ 浜松市にふさわしいオフィス機能の集積や商業施設の充実	1	2	3	4
⑤ 国際会議の招致や大規模・集客イベントの開催など都心のにぎわい創出	1	2	3	4
⑥ 新産業の創出や起業しやすい環境の整備	1	2	3	4
⑦ 高齢者や障がいのある人などだれもが働きやすい環境づくり	1	2	3	4
⑧ 特色ある地域資源や地場産業を活かした観光の充実	1	2	3	4
<b>2. 教育、文化、スポーツに対する取り組み</b>				
① 生きる力を育てる学校教育の推進	1	2	3	4
② 生涯を通じた学習機会の提供	1	2	3	4
③ 心豊かな人づくりに向けた家庭教育の推進と地域の教育力の向上	1	2	3	4
④ 大学など高等教育の充実や高度な研究機関の設置・誘致	1	2	3	4
⑤ 外国語教育、外国の文化に関する教育の充実	1	2	3	4
⑥ 芸術家やスポーツ選手など世界にはばたく人材の育成	1	2	3	4
⑦ 市民が参加できるスポーツ大会や音楽イベントなどの開催	1	2	3	4
⑧ 質の高い芸術・文化・スポーツなどに親しむ機会の充実	1	2	3	4
⑨ 祭事や伝統行事など地域文化の伝承・活性化	1	2	3	4



浜松市が取り組むべき施策	重 要 度			
	非 常 に 重 要	や や 重 要	あ ま り 重 要 で な い	全 く 重 要 で な い
<b>3. 市民が安全・安心に暮らすための取り組み</b>				
① 地震や水害などの災害から生命と財産を守る防災対策の充実	1	2	3	4
② 地震や水害などの災害発生後の迅速な復旧対策の充実	1	2	3	4
③ 火災や交通事故などによる救急・救命活動の迅速化	1	2	3	4
④ 地域の防犯体制の整備や防犯活動の充実	1	2	3	4
⑤ 交通安全の意識啓発や環境整備など交通安全への取り組みの強化	1	2	3	4
⑥ 食品の安全性確保に向けた関係機関への情報提供の充実	1	2	3	4
⑦ 安心して生活していくための相談業務などの充実	1	2	3	4
⑧ NPOやボランティアなど市民活動への支援の充実	1	2	3	4
⑨ 地域コミュニティ（地域社会）の自立に向けた支援	1	2	3	4
<b>4. 環境に対する取り組み</b>				
① 企業や家庭における省エネルギー対策・支援	1	2	3	4
② 風力・太陽光発電などの新エネルギーや未利用資源の活用	1	2	3	4
③ ごみ減量対策や資源リサイクルの促進	1	2	3	4
④ 山林や河川、湖沼など自然環境の保全と生態系の維持	1	2	3	4
⑤ 地球温暖化対策の推進とCO <sub>2</sub> 排出削減	1	2	3	4
⑥ 郊外開発の抑制や農地の保全	1	2	3	4
⑦ 環境問題に対する市民・企業・市民団体への意識啓発と支援・協力	1	2	3	4
⑧ 大気・水質などのきめ細かい調査・分析と情報の公開	1	2	3	4

浜松市が取り組むべき施策	重要度			
	非常に重要	やや重要	あまり重要でない	全く重要でない
<b>5. 健康、福祉に対する取り組み</b>				
① 予防に重点を置いた健康づくり活動の充実・環境整備	1	2	3	4
② 身近な地域における医療・福祉サービスの充実	1	2	3	4
③ 医療・福祉における高度・専門的なサービスの充実	1	2	3	4
④ 高齢者や障がいのある人の社会参加機会の充実	1	2	3	4
⑤ 子育てに関わる支援制度の拡充など、子どもを生み育てやすい社会の形成	1	2	3	4
⑥ 互いに支え合う地域社会の形成	1	2	3	4
⑦ こころと身体の健康づくりのための環境整備	1	2	3	4
⑧ 健康・福祉に取り組む市民活動団体への支援・協力	1	2	3	4
<b>6. 都市・生活基盤の整備に対する取り組み</b>				
① 社会情勢に応じた都市計画の検討・見直し	1	2	3	4
② 住民発意による地域の実状に応じた土地利用の促進	1	2	3	4
③ 市街地や郊外地における適切な土地利用の規制・誘導	1	2	3	4
④ 公共交通網の整備・充実	1	2	3	4
⑤ 市都心部と周辺地域をつなぐ幹線道路網の整備・充実	1	2	3	4
⑥ 身近な地域の生活道路の整備・充実	1	2	3	4
⑦ 生活インフラ（上下水道、公園、公営住宅など）の整備・充実	1	2	3	4
⑧ 緑地保全・緑化推進や美しい景観づくりの強化	1	2	3	4
<b>7. 都市経営に対する取り組み</b>				
① 歳入の安定確保と市民サービスの向上	1	2	3	4
② 歳出の削減と行政が提供する市民サービスの縮小	1	2	3	4
③ 国籍や文化の違いを乗り越え、互いに認め合う多文化共生社会の形成	1	2	3	4
④ バリアフリー、ユニバーサルデザインの推進	1	2	3	4
⑤ 男女共同参画の推進	1	2	3	4
⑥ きめの細かい市政運営の推進	1	2	3	4
⑦ 徹底した行財政改革の推進	1	2	3	4
⑧ 高速・大容量の情報通信を可能とする高度情報通信網の整備	1	2	3	4

最後にあなたのことについて記入してください

(項目別に1つだけ○をつけてください)

性別	1. 男	2. 女																				
年齢	1. 20歳代	2. 30歳代	3. 40歳代	4. 50歳代	5. 60歳代	6. 70歳以上																
職業	1. 農林水産業（自営・家族従事者） 2. 商工・サービス・自由業（自営・家族従事者） 3. 勤め人						4. 専業主婦（主夫）	7. その他（ ）														
居住年数	あなたは浜松市（合併前の旧市町村当時からも含みます）に住んで何年になりますか 1. 3年未満						2. 3年以上5年未満	3. 5年以上10年未満	4. 10年以上20年未満	5. 20年以上												
家族数	あなたを含めて何人で住んでいますか 1. 1人						2. 2人	3. 3人	4. 4人	5. 5人	6. 6人以上											
居住形態	あなたのお住まいは 1. 持ち家						2. 借家	3. 賃貸アパート・マンション	4. 公営住宅	5. 社宅・寮	6. その他											
地区	あなたがお住まいの地区は 1. 中区						2. 東区	3. 西区（旧浜松市）	4. 西区舞阪町	5. 西区雄踏町	6. 南区	7. 北区（旧浜松市）	8. 北区細江町	9. 北区引佐町	10. 北区三ヶ日町	11. 浜北区	12. 天竜区（旧天竜市）	13. 天竜区春野町	14. 天竜区佐久間町	15. 天竜区水窪町	16. 天竜区龍山町	地区が分からない場合は、町名をご記入ください → （ ）

ご協力ありがとうございました。

お手数ですが、6月30日（木）までにご投函ください。

## 平成23年度 市民アンケート調査報告書

---

平成23年11月発行

浜松市企画調整部広聴広報課

〒430-8652 浜松市中区元城町103-2

電話 (053) 457-2023 FAX (053) 457-2028

e-mail koho2@city.hamamatsu.shizuoka.jp

URL <http://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp>

---